

滋賀医科大学外科  
同門会誌

2019年度

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会

# 目 次

## 巻 頭 言

1. 巻 頭 言	加藤 弘文	1
2. 巻 頭 言	谷 徹	2
3. 巻頭言 2019	小玉 正智	3
4. 巻頭言 2019	谷 眞至	4
5. 巻 頭 言	鈴木 友彰	5

## 2018年度 同門会各賞受賞のことは

1. 同門会賞受賞	木下 武	7
2. 理事長賞受賞	寺本 晃治	8
3. 若手医師奨励賞受賞	白鳥 琢也	9
4. 若手医師奨励賞受賞	寺田 好孝	10

## 同門会便り

1. 南京都病院	大塩麻友美	11
2. 湖東記念病院	南館 直志	12
3. 豊郷病院	横田 徹	13
4. マキノ病院	西村 彰一	14
5. 野洲病院	蔦本 慶裕	15
6. 金沢循環器病院	坂倉 玲欧	16
7. 京都医療センター	澤井 聡	17
8. 日野記念病院	仲 成幸	18

## 新入会員紹介

消化器外科	安川 大貴	19
消化器外科	松永 隆志	19
消化器外科	塩見 一徳	19
乳腺・一般外科	辰巳 征浩	20
消化器外科	前川 毅	20
消化器外科	村本 圭史	20
呼吸器外科	余田 誠	21
心臓血管外科	脇坂 穂高	21

## 学生海外自主研修報告

医学科 4 年生	山下 純平	22
----------	-------	----

## 教室業績

滋賀医科大学外科学講座 (消化器・乳腺・一般外科)	25
滋賀医科大学外科学講座 (心臓血管外科)	42
滋賀医科大学外科学講座 (呼吸器外科)	44
滋賀医科大学総合外科学講座	49
滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座	52
滋賀医科大学臨床看護学講座 (クリティカル)	53

## 関連病院業績

1. 赤穂市民病院 外科	55
2. 生田病院	55
3. 宇治徳洲会病院 外科	56
4. 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	57
5. 有明病院 消化器センター 大腸外科	57
6. 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科	60
7. 京都医療センター 呼吸器外科	62
8. 京都第一赤十字病院 乳腺外科	62
9. 草津総合病院 一般・消化器外科	64
10. 草津総合病院 呼吸器外科	66
11. 甲南病院 外科・消化器外科・肛門外科	67
12. 公立甲賀病院 呼吸器外科	68
13. 古賀病院 21 消化器外科	68
14. 滋賀県立総合病院 呼吸器内科	68
15. 滋賀病院 外科	71
16. 滋賀病院 乳腺外科	71
17. 静岡県立静岡がんセンター 食道外科	72
18. 第一東和会病院 内視鏡外科センター	74
19. 武田総合病院 呼吸器外科	74
20. 暁生会脳神経外科病院 外科	75
21. 長浜赤十字病院 外科	75
22. のじまバスキュラーアクセスクリニック	79
23. はえうち診療所	80
24. 東近江市立能登川病院	81
25. 東近江総合医療センター 外科	81
26. 東近江総合医療センター 呼吸器外科	85
27. 日野記念病院 外科	88
28. ベリタス病院 外科	89
29. ベルランド総合病院 外科	90
30. ベルランド総合病院 乳腺外科	90
31. 三菱京都病院 呼吸器外科	90
32. 南京都病院 呼吸器外科	91
33. 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科	91
34. 洛和会音羽病院 呼吸器外科	92

## 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

1. 役員一覧	93
2. 定款	94
3. 賛助会員一覧	97
4. 広告掲載ご協力	98

---

---

# 卷 頭 言

---

---

- |                       |         |       |
|-----------------------|---------|-------|
| 1. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事長     | 加藤 弘文 |
| 2. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 副理事長    | 谷 徹   |
| 3. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事・名誉会員 | 小玉 正智 |
| 4. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事      | 谷 眞至  |
| 5. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事      | 鈴木 友彰 |

## ◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 加藤 弘文

同門会の先生方に置かれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成31年には同門会が一般社団法人として第6回目の定例総会を行いました。心臓外科の驚異的な発展を導き、滋賀医科大学の副病院長に就任されておりました浅井 徹教授が東京の順天堂大学心臓胸部外科の教授に招請されました。世界的な外科医としてさらに飛躍されますようお祈りします。後任には鈴木友彰教授が誕生しました。5月1日からは令和元年と年号もあらたまりました。8月の祝賀会で、より良い手術成績をめざした着実な臨床的取り組みを示されました。同門会一同協力していきたいと思っております。

大学講座の使命 教育、臨床、研究についてその環境は厳しいものがあります。まず医学教育水準を上げる、特に卒業時に欧米の医学水準にも勝る知識ならびに資質が要求されています。また医療保険制度の中で多数の外科症例を正確に治療することからより成績の良い医療を提供する。一方なかなか成績が上がらない症例にはその原因の分析から解決する方法として新しい取り組みや基礎的アプローチもこなしていかなければならないでしょう。他領域、基礎医学部門との共同研究も必要です。

3年前に小玉理事長が指摘されているように、外科同門会として取り組む課題として

- 1) 外科医志望者の激減現象への対策と増加への努力。WORK-LIFE Balance を実現させながら確実な外科研修の実現、特に後期研修医の定着化への働きかけ。医学生たちに外科でしか治しえない技術と真摯な姿勢をしめす。
- 2) 大学で使命を果たし、質の高いレベルを維持するためにも、難しい課題ながら外科診療科領域の定員増加、また講座化を願っていきます。総合外科について、さらに呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、および小児外科が講座化できれば、大学と病院、および地域医療に強力な機能向上が期待されます。
- 3) 外科専門医制度は新しくスタートして、その枠組み、プログラム、さらにその実施については全国での地域的問題など様々なものが出てきています。これらはより若い外科医がより効率的に力をつけて国民の期待する外科医、時代にマッチした外科医が生まれるよう熟成させる必要があります。

外科医として認知される必須の資格となりますので大学教室と関連病院の密接な卒後研修プログラムのシステムの構築が必要です。より良いものにすべく会員皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## ◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長  
滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座

特任教授 谷 徹



現在、地球上の国および政府で漂流している所がある。近代の世界を席卷した大英帝国がEU 離脱を決められず漂流し、その後世界の警察官を担った米国が通常手法とは異なった政治を行い世界から孤立しつつある。また世界の多くの国が日本に倣って多額の債務を負って自国の発展を支えている。手本となっているわが国は債務の返済に目途が立たず、借金生活に流され、わが国の行く末が案じられる日々である。まさにわが国も漂流している。

加えて100年生きる時代を迎えるという勇ましい掛け声とともに、100歳まで生きた際の年金が2,000万から3,000万円足りないという話も出てきている。100歳まで生きるという考え前提は医療が貢献した結果でもあり誇りに思えるが、一方で長寿時代になると経済的な基盤が準備されていないことに気が付いてしまった。

我々医療人は古来医療において自然、疾病と戦い、人間の命を守ることに全力を挙げ、誇りにしてきた。しかしながら生きる経済環境が用意されていない年齢まで生命を死守することが社会にとって、個々の人間の人生にとって幸福であるかどうか考えなおす必要が出てきたということである。戦後順調にきたともいえる日本が高齢化社会に入ってこのような問題に立ち至るとは考えてもみなかったが、本来国家として想起しておくべきことであったと思われる。国家予算が返済目途の立たない借金を重ねている中、100歳まで生きる術また基盤が無くなっていくかもしれないというデータが出てきた状況下において、医師である我々は人の健康、寿命を守る名義体分を如何に思い考えていくか、正念場を迎えたように思われる。経済規模と連動しない生活価値観が教育・育成されることも考えられる。しかし医療を預かる我々の結論としては100歳までも働ける健康を確保することに尽きると考えられる。

今年も世界が揺れ動く中で、様々な情報交換が、同門会を通してなされることを期待して巻頭言とします。

## ◆ 巻 頭 言 2019



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事・名誉会員  
滋賀医科大学名誉教授 小玉 正智

2019年は、外科学講座にとって晴天の霹靂の幕開けであった。

2019年1月19日の一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の理事会、代議員会で、浅井徹教授が自ら順天堂大学心臓外科教授への異動を発表され、会員から驚の声があがり、多くの会員は予期していない出来事であった。

浅井教授は、2002年1月に本学第二外科学講座(心臓血管・呼吸器)の主任教授として赴任され、先生は心臓外科医としての卓越した技能と、またリーダーとしてのカリスマ性で、24時間いつでも、どんな患者にも対応する no refusal policy の信じ難い方針を貫き、瞬く間に滋賀医大の心臓血管外科を全国のトップレベルに引き上げ、多くの有能な外科医を育成されてきました。在籍17年間で7000例を超える症例を手術され、大学の発展に大きく貢献され輝かしい歴史を残されました。浅井先生は、順天堂大学 心臓血管外科学教授として2月1日に就任されましたが、東京の地で大きく飛躍されることを祈念します。心配していた後任教授の人事は、浅井教授が育ててこられた鈴木友彰准教授が選任され、関係者一同安堵し、鈴木教授のもと新しい体制での教室の発展を期待しております。

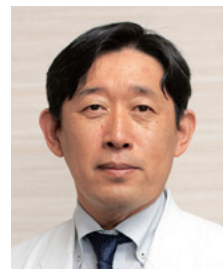
一般社団法人滋賀医科大学外科同門会は2013年3月31日創立以来、6年目を迎え、役員と会員の皆さまのご支援で充実してきました。

外科学講座は、内科学と同様に病院では診療科分野別でわかれています。診療分野での人材育成、最先端医療の充実、および診療実績向上のために、呼吸器外科、または乳腺・内分泌外科の講座昇格を実現したいものです。

今後、滋賀医科大学づけ附属病院が、滋賀県の基幹病院としてさらに充実・発展し、県下の開かれた外科専門医の生涯研修病院の中心になるためにも、ぜひ講座化が必要と思います。また、外科的治療は、日進月歩で変化しており、先端技術の開発と同時に難病への解明が必要であります。近未来的には、外科系手術は、殆どが鏡視鏡下手術になると予想され、現段階ではダヴィンチの利点が多く、大学で2台目を購入し、将来の遠隔手術発展も考え、この機器を自由に操れる熟練した医師を早急に育成し、日本各地で活躍してほしいと希望しています。

外科学講座と会員の皆様の益々の御活躍・発展を祈念します。

## ◆ 巻 頭 言 2019



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事  
滋賀医科大学 外科学講座(消化器・乳腺・一般外科)

教授 谷 眞 至

同門会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は外科学講座の活動にご理解をいただき誠に有難うございます。今後とも、倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

月並みではございますが、今年は改元の年に当たり、新たな時代「令和」の幕開けとなります。令和の典拠は、万葉集からとのことですが、確認される限りにおいて初めて漢籍ではなく日本の国書から選定されたということで、日本としてのアイデンティティを大事にする時代の幕開けといえるのかもしれませんが。また、令の文字が元号に加わるのも初めてということで、令和は多くの意味で新たな時代の幕開けといえます。

医療の分野、とくに腫瘍学の分野ではゲノム医療の本格的な幕開けを挙げることができます。まだまだ治療に使用できる薬物が少なく、治療薬を届けることができる患者さんは限られていますが、がん治療の大きな転換期になりました。がんの組織を用いて、多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う、まさにオーダーメイド医療の時代に入ってきました。現在、実施するための体制づくりが進められていますが、体制の構築だけでなく、費用や専門家の育成など行政を含めた今度の取り組みにも注意を払う必要があります。

外科学講座においても、新たな時代の幕開けとなりました。これまで心臓血管外科（と、いうか滋賀医大）を牽引してこられた浅井 徹教授が順天堂大学へ移動され、新たに鈴木友彰先生が心臓血管外科・呼吸器外科の責任者として教室を活性化していくことになりました。滋賀医大の no refusal policy の原点でもある浅井前教授の教えを外科学講座全員で再確認する必要があります。

消化器・乳腺・一般外科でこの1年の出来事と言えば、横田 徹先生、西村 彰一先生、仲 成幸先生3名の同門の先生が新たに院長に就任されました。まずはお祝いを申し上げます。様々な社会情勢の変化、行政の方向転換など、これまでにない大きな時代のうねりの中、まじめに医療を行う者にとっては厳しい時代となって参りました。今後の病院運営に携わる先生方を支えていくことが教室においても重要な時代となってきたといえます。どのような形で協力できるかを引き続き検討していきたいと思っております。また、滋賀医大のミッションは、地域に支えられ、地域に貢献し、世界にはばたく大学であることです。地域と密着するために、院長職を含む地域の指導的立場に外科学講座のメンバーが食い込んでいけるかが重要であり、その結果として、外科学講座ならびに地域医療を発展させることは間違いありません。医師余りの時代が来た時に、滋賀医大の他の講座はいらぬが外科学講座だけは地域医療に必要だといわれるような基礎作りに尽力したいと考えておりますので、同門会会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



## ◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事  
滋賀医科大学 外科学講座(心臓血管・呼吸器外科)

教授 鈴木 友彰



私が、滋賀医科大学心臓血管外科へと移籍してから14年が経過しました。電子メールの正しい使い方も分かっていなかった卒業後8年目の私が、浅井教授に直接メールし面談が実現しました。当時の所属医局には相談せず独断での行動でした。1月の土曜日、午前10時に浅井教授と医局前で待ち合わせをしました。すでに心臓外科医界でスーパースターであった浅井教授と直接話ができることに胸が高鳴っていました。浅井教授は、素性も分からない風貌も怪しい私を快く受け入れてくれました。所属していた医局はその時点で辞めました。とても円満とはいえない脱局でした。そして4月に滋賀医大の一員となりました。浅井教授の手術を体験したとき、衝撃でした。そして、自分もそのテクニックを手に入れることができるかもしれない、と思うとどんなことがあろうと耐えていけるような気がしました。

2019年3月に心臓血管・呼吸器外科講座の教授にいただきました。旧第二外科と呼ばれる教室です。残念ながら旧第二外科時代からの流れは途絶えており、恥ずかしながら名前と顔が一致しない先輩方がたくさんいます。そのような先輩方が大学医局のことをどのように思っておられるのか、もうすでに何も期待することなどないのかもしれませんが。私は、医師にとって、特に外科医にとっては、出身医局というものは、生まれ育った田舎の実家のようなものであるべきだと思っています。医局の仲間や後輩先輩にあうと実家に帰ってきたような気持ちになります。私も学生時代、実家に帰るときは一か月分の洗濯物をビニール袋に入れていき、父親のカードでガソリンを満タンに入れていました。私が主宰する大学医局は、そのような古き良き時代の先輩後輩のつながりを復活させたいと思っています。先輩方が、地域で仕事をしていくとき、なにか困難なことがあったり、あるいは拡充戦略をとるときなど、もし大学医局が何かできるのであれば、洗濯物を持って帰ってくるような気持ちで、お話を聞かせていただければ、大変幸せに思います。

---

---

## 2018年度 同門会各賞受賞のことば

---

---

1. 滋賀医科大学 外科学講座（心臓血管外科）  
同門会賞受賞 木 下 武  
Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T.  
Endothelial dysfunction of internal thoracic artery graft in patients  
with chronic kidney disease.  
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 153(2): 317-324, 2017
2. 滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座  
理事長賞受賞 寺 本 晃 治  
Teramoto K, Ozaki Y, Hanaoka J, Sawai S, Tezuka N, Fujino S, Daigo Y, Kontani K.  
Predictive biomarkers and effectiveness of MUC1-targeted dendritic-cell-based  
vaccine in patients with refractory non-small cell lung cancer.  
Therapeutic advances in medical oncology. 9(3): 147-157, 2017
3. 滋賀医科大学医学部附属病院 呼吸器外科  
若手医師奨励賞受賞 白 鳥 琢 也  
白鳥琢也, 花岡 淳, 藤田琢也, 橋本雅之, 大塩恭彦  
胸腺原発類基底細胞癌と診断した一例  
日本呼吸器外科学会雑誌 31 (2) : 233-237, 2017 年
4. 甲賀市立信楽中央病院  
若手医師奨励賞受賞 寺 田 好 孝  
寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至  
心身障害者の Crohn 病・回盲部膿瘍に腹腔鏡下回盲部切除術を行った 1 例  
日本外科系連合学会誌 42 (6) : 946-951, 2017 年

## ◎ 2018年度同門会 同門会賞受賞

滋賀医科大学 外科学講座（心臓血管外科）

木下 武（平成16年卒）



私は2004年に地元の鳥取大学を卒業後、NTT東日本関東病院の外科レジデントを経て、2006年に浅井徹先生が主宰する滋賀医科大学外科学第2講座に入局しました。早朝から夜遅くまで心臓血管外科の臨床に没頭できる日々を喜んでいましたが、入局して間もなく鈴木友彰先生から「一流の心臓外科医になるためには論文も書かなければならない」と言われ、論文の「ろ」の字も知らなかった自分にはとても新鮮だったことを覚えています。2009年に入学した大学院では冠動脈バイパス手術に関する複数の臨床論文が評価され3年生で学位を頂くことになり、多くの先生からお褒めのお言葉を頂戴しとても光栄でしたが、正直なところ周囲の人が評価するほど自分の成果に満足感を得ることができませんでした。おそらく心のどこかで自分が成し遂げた仕事を基にした論文ではない、と思っていたからです。ちょうどそのころ、薬理学講座の岡村富夫先生が血管の基礎研究をされていると聞き、すぐに門を叩きました。岡村先生は快く受け入れて下さり、私は冠動脈バイパス手術で使用する血管グラフトを対象にいくつかの仮説を立てました。術中に余剰となった小さな血管断片を冷却した保存液に入れすぐに実験を始めるのが理想でしたが、ほとんどの場合は夕方から夜にかけてようやく時間を捻出できるかどうかという日々でした。疲れてどうしようもないときは家で仮眠をとって夜中から実験を始めました。薬理学講座には確立された実験系がありましたが、ヒトの血管は扱いが難しく、半年から1年間は全く結果が出ず、何度も挫折しそうになりました。このたび同門会賞を頂いた論文は American Association for Thoracic Surgery の学会誌で胸部外科領域では最も歴史が長い Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery に掲載されました（Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T. Endothelial dysfunction of internal thoracic artery graft in patients with chronic kidney disease. J Thorac Cardiovasc Surg. 2017 Feb; 153(2): 317-324）。これまで慢性腎臓病患者の冠動脈バイパス術の長期成績が不良であることはわかっていましたが、グラフト血管の機能障害との関係性を検証する研究はありませんでした。本研究では、極めて優れた長期開存性を持ち最も信頼のおける血管グラフトである内胸動脈の長期開存性を支える内皮機能のうち一酸化窒素を産生・放出する能力が腎機能の増悪と共に悪化していくことをマグヌス管による張力検査で証明しました。この研究結果が出るまで約5年かかりましたが、acceptの報告を聞いてこれほど嬉しかった論文はありません。同門で共著者の相見良成先生には内皮細胞の形態学的評価方法を教えていただきました。励まし合って文句ひとつ言わずに夜遅くまで一緒に実験に付き合ってくれた薬理学講座の田和先生、秘書さん、皆に感謝です。地道に粘り強く継続していくことの大切さを改めて学ばせていただきました。ありがとうございました。

## ◎ 2018年度同門会 理事長賞受賞



滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座

寺本 晃治 (平成8年卒)

この度は、2017年に Therapeutic Advances in Medical Oncology 誌に掲載されました論文「Predictive biomarkers and effectiveness of MUC1-targeted dendritic-cell-based vaccine in patients with refractory non-small cell lung cancer」に対して、2018年度 滋賀医科大学外科同門会 理事長賞を授与して頂き、誠に有難うございます。

本論文は、滋賀医科大学 呼吸器外科で、厚生労働省の先進医療として実施しておりました免疫細胞療法、がん抗原 MUC1 を標的とした樹状細胞ワクチン療法の治療成績についてまとめ、治療効果を予測するためのバイオマーカーを探索したものです。

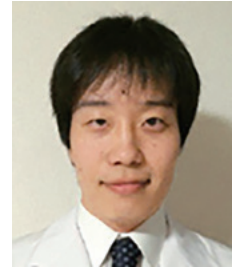
がん抗原 MUC1 は、非小細胞肺癌、乳がん、卵巣がん、膵がん、大腸がんなどの腺がんにおいて高発現し、その免疫原性の高さや HLA 非拘束性のユニークな免疫応答などから、がん免疫治療において有用な標的抗原と考えられてきました。早くから、がん抗原 MUC1 に着目された同門の紺谷桂一先生は、澤井聡先生とともに、がん抗原 MUC1 の MHC クラス I ペプチドを同定され、末梢血単核球から活性化した成熟樹状細胞を誘導する方法を開発されました。そして、厚生労働省の当時の高度先進医療として、非小細胞肺癌と乳がんを対象に、がん抗原 MUC1 を標的とした樹状細胞ワクチン療法を開始されました。先進医療に移行してからは、同門の尾崎良智先生が担当を引き継がれ、その後、先進医療の終了まで、私が引き継いで担当しました。

実施していました樹状細胞ワクチン療法の適格基準は、標準治療に不応、がん細胞の MUC1 高発現、Performance status 0 または 1 としました。アフエレシスで採取した末梢血単核球から樹状細胞を誘導して、これに MUC1 ペプチドをパルスして樹状細胞ワクチンを作製し、 $1 \times 10^6$  個の樹状細胞を腋窩または鎖骨上窩に隔週で皮下投与しました。非小細胞肺癌に対する実際の治療成績 (2005 年～2015 年,  $n = 40$ ) は、生存期間の中央値 (MST) が 7.4 ヶ月、1 年生存率は 25.0% でした。がんワクチンの治療効果が出現するまでに約 3 ヶ月、要することを考慮して、6 回の投与 (3 ヶ月の治療期間) を行った患者を対象に解析すると、MST は 9.5 ヶ月、1 年生存率は 39.3% でした。また、この患者群において、治療効果を予測するためのバイオマーカーを探索すると、免疫学的な有害事象を認めた患者群 (MST 12.6 vs. 6.7 ヶ月,  $p = 0.042$ )、治療開始前の末梢血のリンパ球分画が 20% 以上あった患者群 (MST 12.6 vs. 4.5 ヶ月,  $p = 0.014$ ) において有意に良好な治療成績を認めました。

がん免疫は、免疫チェックポイント阻害薬の登場により、現在では、特に注目される研究領域になっています。その一方で、腫瘍微小環境における抗腫瘍免疫応答は、がん細胞と多種類の免疫担当細胞、間質細胞の相互作用の影響があるため、その制御は複雑で一筋縄ではいきません。しかし、本治療法を開発された諸先生方の当時の情熱を鑑としながら、このような腫瘍微小環境におけるがん免疫応答を紐解き、さらに強力で複合的ながん免疫治療の研究開発に邁進したいと思います。

最後になりましたが、本治療法の開発に尽力され、深淵ながん免疫の世界に、私を誘って頂きました紺谷桂一先生、澤井聡先生、尾崎良智先生には、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

## ◎ 2018年度同門会 若手医師奨励賞受賞



滋賀医科大学医学部附属病院 呼吸器外科

白鳥 琢也 (平成 23 年卒)

滋賀医科大学外科同門会の皆様に於かれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。今回若手外科医賞という過大な賞をいただいたことは、鈴木先生、花岡先生をはじめとした大学の諸先生方、ならびに関連病院の先生方より日々ご指導頂きました結果であり、この場を借りてお礼を申したく僣越ながら拙筆を取らせていただきました。

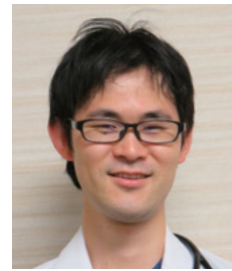
奨励賞でご評価頂いたのは、“胸腺原発類基底細胞癌と診断した一例”の論文執筆となります。

呼吸器外科では、原発性肺癌や転移性肺腫瘍などの肺疾患だけではなく、縦隔腫瘍が診療対象として含まれています。しかし、肺腫瘍と比較すると症例数は限られており、特に胸腺癌は胸腺腫瘍の中でも我々若手医師が接する機会は比較的低い症例となっております。今回投稿した症例は、手術時には胸腺腫と胸腺癌での診断が病理学的にも困難であり、繰り返しの病理部の先生方との討議の結果診断に至った経緯があります。その過程で、胸腺腫瘍の診断を困難さや疫学的な問題、治療経過への影響など様々な面での勉強をすることができ、今後の診療への経験を得ることができました。

希少な症例に於いて、実際に若手医師が臨床現場で出会い経験として積んでいく場面は非常に少ないと思われます。今回このような貴重な機会を得たことで、過去に先生方が積み重ねてこられた様々な経験を参考にさせていただいたこと、実際に論文を執筆し医療の進歩への一助となることの大切さを感じました。今後も日常臨床のみならず、執筆活動を通じて医療に貢献していくことができたらと思います。

最後にはなりませんが、このような研究発表を行うことができることは、日々ご指導頂く先生方と共に働く同僚の先生方あってのことだと改めて感謝致します。書中をもって御礼申し上げます。

## ◎ 2018年度同門会 若手医師奨励賞受賞



甲賀市立信楽中央病院  
寺田 好孝 (平成 22 年卒)

この度、若手医師奨励賞をいただき、誠にありがとうございます。このようなすばらしい賞を得られましたのも、諸先輩方のご指導いただいた結果で有り、心より感謝申し上げます。

今回受賞させていただいた「心身障害者の Crohn 病・回盲部膿瘍に腹腔鏡下回盲部切除術を行った 1 例」は心身障害を背景に持つ Crohn 患者の回腸末端部穿孔による回盲部膿瘍に対して保存的治療を先行することで低侵襲な腹腔鏡下手術を実施できた症例を論文報告したものです。日本語の学会雑誌で、恐縮する部分もありますが、大変名誉ある賞を頂けたことに大変うれしく思います。

大学での後期研修の始めに担当させていただいた症例でもあり、患者背景を考慮し、最適な治療方法を検討し、術前の全身管理を行うことで、より低侵襲に患者にとっての最適な手術を行うことができた症例でした。学会発表と論文までご指導いただき、大きな経験になりました。

ご指導いただいた際に、学会発表したものは論文報告までが一連と教わりました。まだ一連の最後までたどり着けていないものもありますが、今回の賞を励みにより一層精進したいと思っております。

繰り返しですが、このような大変名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。この賞を励みにこれからも頑張っていきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

---

---

# 同 門 会 便 り

---

---

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1. 独立行政法人国立病院機構 南京都病院        | 大塩麻友美 |
| 2. 医療社団法人昂会 湖東記念病院           | 南館 直志 |
| 3. 公益財団法人 豊郷病院               | 横田 徹  |
| 4. 医療法人 マキノ病院                | 西村 彰一 |
| 5. 市立野洲病院                    | 蔦本 慶裕 |
| 6. 医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター金沢循環器病院 | 坂倉 玲欧 |
| 7. 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター     | 澤井 聡  |
| 8. 医療法人社団昂会 日野記念病院           | 仲 成幸  |

## ● 独立行政法人国立病院機構 南京都病院

呼吸器センター 大塩 麻友美 (平成 15 年卒)

当院は昭和 14 年に傷痍軍人京都療養所として設立されました。昭和 20 年に厚生省に移管し国立京都療養所となり、昭和 44 年から 4 年間で重症心身障害児病床 120 床を設置しました。平成 16 年には全国 144 施設よりなる独立行政法人国立病院機構の一施設となりました。平成 24 年には 5 階建ての新病棟（西病棟 各棟 60 床）が完成し、1・2 階は重症心身障害児（者）病棟、3 階は主に脳神経内科病棟、4・5 階は呼吸器内科・呼吸器外科などの病棟となっています。平成 29 年より結核病床はユニット化し、5 階の 20 床を使用しています。平成 30 年には 3 階建ての新外来棟（手術室、放射線科、検査室、リハビリ室、医局を含む）が完成し、病院全体が一新されました。

結核の専門医療機関として戦前より長い歴史を持つ当院は、急性疾患主体の医療機関では対応が困難な疾患を対象にした結核を含む様々な呼吸器疾患、神経・筋疾患（神経難病）、成育医療、小児慢性疾患及び重症心身障害医療の専門医療機関として、診療機能の充実を図っています。

呼吸器外科は、平成 30 年 4 月より常勤医 1 名体制となりましたが、滋賀医科大学呼吸器外科学講座の全面協力のもと、大塩恭彦先生（主人です）に来て頂き、手術を行っております。夫婦で執刀という、おそらく他では経験できない貴重な体験をさせて頂いております。

当院は小規模な病院で、診療科も限られていますが、その分他科との風通しもよく、密接な連携を取りやすい環境にあります。実際、学会出張などで私が病院を不在にする際には、呼吸器内科の先生方が代診を快く引き受けて下さっています。また、重症 COPD 患者さんの手術をすることも多く、術後呼吸管理に難渋する際には、NPPV やネーザルハイフローの管理など、呼吸器内科の先生方が行って下さいます。まさに、「チーム医療」で日々の診療を行っています。

現状に満足することなく、病院理念である「分かりやすく、安全で、安心して受けられる、質の高い医療」を目指して日々精進して参りたいと思います。引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



〒 610-0113 京都府城陽市中芦原 11 電話：0774-52-0065



## ● 医療社団法人昂会 湖東記念病院

心臓血管外科 南館 直志 (平成 23 年卒)

湖東記念病院は平成 12 年に循環器疾患、脳疾患を中心とした救急疾患に対して充実した医療を提供するという理念のもとに設立されました。平成 16 年には滋賀ガンナイフセンター、平成 17 年には心臓血管センターが設立されました。平成 26 年 4 月に高島範之先生が筆頭となり、心臓血管外科が開設されました。

当科は、滋賀医科大学心臓血管外科講座のバックアップのもと、循環器内科医師や看護師、理学療法士などのコメディカルとハートチームを形成して、治療を行って参ります。病院の特長として、他科のスタッフの方や、コメディカルスタッフとすぐに相談できるような密な関係を築けていることがあげられます。治療対象は下肢静脈瘤、末梢血管病変、胸腹部のステントグラフト治療については自施設のみで治療可能です。滋賀医大のサポート下に行われる開心術に至っては冠動脈バイパス術、大動脈弁狭窄症といった症例の多い疾患から弓部大動脈置換術、複合手術や側胸部の開胸による下降置換術まで多岐にわたります。また急性大動脈解離、急性心筋梗塞といった緊急症例においてもスタッフ一丸となりスムーズな流れで緊急手術まで運べる環境になっており、地域の開業医の先生方からご紹介いただく症例も増えてきました。

年間の症例数はここ数年 85～100 例ほどで推移しています。成人心疾患を主に扱っているためやはり患者の高齢化が顕著にみられます。当院の医療圏も高齢化が進んできているため、今後より患者数は増えるものと予想されます。患者さんによる口コミで診察へ来られる方も多く、地域に密着した病院であることを実感しています。

2019 年 4 月より高島先生が滋賀医大へ転勤となり、榎本、南館の 2 人で診療にあたっています。今後も地域医療に貢献できるように日々診療にあたりたいと考えています。



〒 527-0134 滋賀県東近江市平松町 2-1 電話：0749-45-5000

## ● 公益財団法人 豊郷病院

院長 横田 徹 (昭和 62 年卒)

平成 30 年 8 月 1 日より公益財団法人豊郷病院の病院長に着任しました、昭和 62 年入局の横田 徹です。院長就任にあたり多くの外科同門会の恩師に御尽力を頂いたことに、心より感謝申し上げます。豊郷病院の歴史は古く、大正 14 年に九代目伊藤長兵衛の寄付により設立されました。当初は 18 床で始まりましたが、現在では一般病棟 186 床（一般病床 105、地域包括ケア病床 51、回復期リハビリテーション病床 30）、軽度認知症対応地域包括ケア病棟 32 床、精神病棟 120 床（精神急性期病床 60、療養病床 60）の合計 338 床で構成される総合病院かつ、精神科病棟も有する複合病院となっています。法人としては、介護老人保健施設パストラールとよさと（100 床）、グループホーム、訪問看護ステーション等の介護事業の運営に加えて、准看護学院と臨床精神医学研究所の教育研究事業も行なっております。豊郷町は滋賀でいちばん小さい地方自治体で人口は 7400 人、診療圏は愛荘町、甲良町、多賀町、豊郷町、彦根市の一部です。湖東は農業を中心とした平野ですが、冬の寒さは厳しく、地域での開業医の数も疎らです。このため以前より、かかりつけの開業医の様な役割も担っており、慢性呼吸器疾患、精神疾患が多い事が特長です。六代目伊藤長兵衛は初代伊藤忠兵衛（伊藤忠、丸紅の創始者）の実兄。九代目は六代目の娘婿で丸紅の初代社長です。（ネットでは誤って七代目と書かれていますが正確には九代目です）。創業からは丸紅との関係があるように思われていますが、現在は企業とのつながりは無く、医療・介護事業のみで運営されています。長く京大系の病院でしたが、同門会からは花澤一芳先生、龍田健先生が初めて外科関連病院として勤務され、その後多くの同門会の先生方が豊郷病院の外科を支えて来られました。現在は外科部長の井内武和先生と私の 2 名が常勤で、大学から谷眞至教授を始め多くの同門の先生方に応援を頂いております。歴史からも地元の信頼は厚く、地域を支える病院としての役割を担っています。今後とも同門会の御支援を宜しくお願い致します。



〒 529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目 12 電話：0749-35-3001

## ● 医療法人 マキノ病院

院長 西村 彰一（平成元年卒）

本年4月よりマキノ病院院長を拝命した9期生の西村彰一です。

マキノ病院は高島市北部の2次救急病院として120床（急性期病床36床 地域包括ケア病床24床 医療介護型病床60床）を有する病院です。多くの外科学講座の関連病院は急性期病院ですが、当院は病院機能的には慢性期よりの病院となります。マキノ町には桜で有名は海津大崎やメタセコイヤ並木などの観光名所があり、マキノ病院は知らなくともマキノ町を訪れた事のある方も多いのではないのでしょうか。

常勤医は8名（内科3名 整形外科2名 外科 小児科 皮膚科各1名）と少人数です。従って、すべての急性期医療を当院のみで完結するのは困難であり、高次医療機関との連携のもと高島市北部の急性期医療を支えています。

一方、回復期から慢性期の患者様は可能な限り受け入れ、高島市北部の地域包括ケアシステムを支える中心的な役割を果たしています。さらに訪問看護ステーション、小規模多機能居宅介護事業、デイケアセンターを整備、本年より訪問診療を開始し、医療、介護の垣根を越えて地域の住民の皆様が安心できる環境の創造を行っております。

外科の常勤医は私一人であり、設備的にも高度な外科治療は困難です。従って、手術に関しては前方アプローチの鼠径ヘルニア、肛門疾患手術などの小手術を中心に行っております。外科医としての仕事より、回復期から慢性期の患者様の診る、総合診療的な仕事をメインとしております。

高島市は滋賀県の中でも人口減少が進んでいる地域です。このような中、将来の地域医療を確保するため高島市民病院 今津病院 当院の3病院が協力し、地域医療連携推進法人滋賀高島が本年設立されました。裏を返せば高島市内の各病院が今後更に加速する人口減少、医療従事者の確保が困難となる中で危機感を募らせている表れでもあります。今後も地域のニーズを満たすよう柔軟に対応し、高島市の北部の地域になくてはならない病院としてあり続けられるよう頑張っていきたいと思っております。

今後とも、外科医局並びに関連病院の先生方のご支援をお願い申し上げます。



〒520-1822 滋賀県高島市マキノ町新保 1097 電話：0740-27-0099

## ● 市立野洲病院

副院長 蔦本 慶裕 (昭和60年卒)

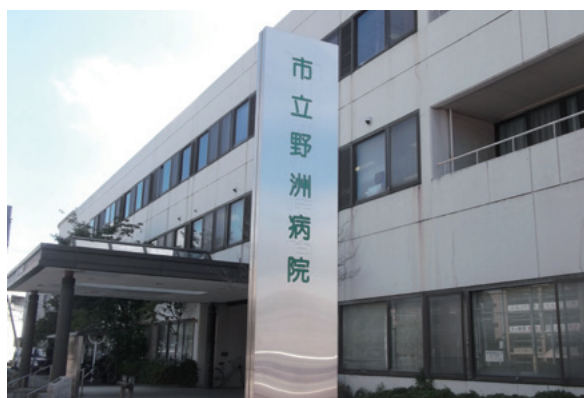
出身大学：滋賀医科大学 医学部 昭和60年卒

経 歴：滋賀医科研修医、松下記念病院研修医、西京都病院外科、八幡中央病院、甲南病院副院長、滋賀医科大学附属病院助教、古賀病院21診療部長、豊郷病院副院長、守山市民病院外科部長、琵琶湖大橋病院外科部長、市立野洲病院副院長

所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本内視鏡外科学会

認定資格：外科専門医、医学博士

私は昭和60年滋賀医科大学卒業し、卒後33年目、今年5月で還暦を迎えることとなりました。私は谷 眞至教授からの推薦にて本年4月から野洲市職員として採用され御上会野洲病院に副院長として出向しました。現職場の病院は7月から新しく、御上会野洲病院から市立野洲病院として門出しました。全国的には皆さまもご周知の通り自治体病院は変革を余儀なくされるのが現実です。そんな中、いろんな事情があり本院はこの時代の流れに逆らって市立病院を立ち上げることとなりました。今後、滋賀医大の協力なくして病院の存続は不可能と考えます。2021年には野洲市駅前に新病院設立を現 山仲市長が約束してくださいました。私も微力ながら、市立野洲病院で頑張っております。医師不足で困っております。滋賀医大からの医師派遣を切に望んでいます。何卒よろしくお願いいたします。



〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原 1094 電話：077-587-1332

## ● 医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター金沢循環器病院

心臓血管外科 坂倉 玲欧 (平成 17 年卒)

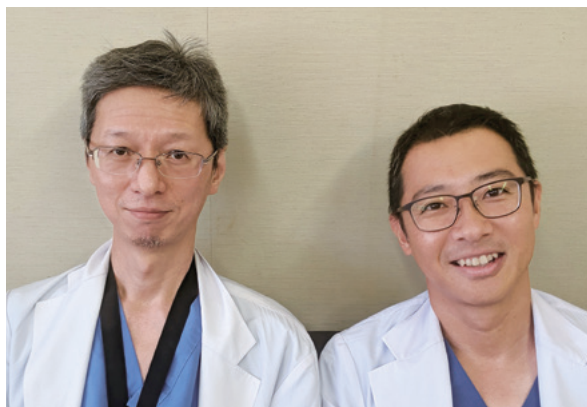
金沢循環器病院は 1991 年（平成 3 年）に開設された病床数 184 床の石川県では唯一の循環器専門病院です。当院は能登半島の玄関口にあたる金沢市北部に位置しており、金沢のみならず、能登半島全域から多くの患者様が受診されます。小回りの利く臨床第一線病院として一年 365 日 24 時間受け入れ体制を敷いており、急性心筋梗塞や急性大動脈解離といった緊急カテーテル治療、緊急手術が必要な状況に循環器内科、心臓血管外科が一丸となり速やかに対応しています。カテーテル治療、心臓大血管手術ともに県内有数の治療実績があります。

現在心臓血管外科スタッフは、上山克史部長と坂倉玲欧の 2 名体制で診療を行っています。冠動脈バイパス術、大動脈弁置換術、僧帽弁形成術、人工血管置換術をはじめとした心臓大血管手術、胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術など、あらゆる心臓血管疾患に対する外科治療が可能な体制を整えています。また当院は多汗症の治療である胸腔鏡下交感神経焼灼術を行う北陸唯一の病院であり、新潟県など遠方からも患者様が来られます。2018 年は心臓・胸部大血管手術 110 例、腹部大動脈瘤手術 23 例（ステントグラフト 16 例）、末梢動脈手術 20 例、下肢静脈瘤 88 例など、総手術件数は 250 例でした。

心臓血管領域における治療法の多様化に伴い、2016 年 3 月 19 日よりハイブリット手術室（手術室と血管造影室の異なる治療室を一つにした手術室）が稼働しています。2019 年 1 月よりそのハイブリット手術室を使用し TAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術）を開始しました。県内で 2 施設目となります。高齢などが理由で開胸手術が困難とされ苦しんでおられた多くの患者様をこの TAVI 治療により救えるようになりました。

近年当院では循環器内科、心臓血管外科ともに医師不足が深刻化してまいりました。一年 365 日 24 時間受け入れ体制を維持すべく若手、中堅医師のみならず、シニア医師も当直業務に関わらざるを得ない状況が続いています。滋賀医科大学心臓血管外科からも月に一度当直応援を頂いています。

今後も地域の方々のニーズに答えられるよう全力で診療にあたっていく所存です。今後とも御指導、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。



## ● 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター

呼吸器外科 澤井 聡 (昭和 63 年卒)

私が京都医療センターに赴任した 2006 年 12 月から早いもので、今年で 13 年目となりました。4 年前に同門会誌の関連病院便りで紹介させて頂いてから、当科スタッフのメンバーはがらりと変わり、今は、橋本雅之先生 (平 14 卒)、武田恵子先生 (平 21 卒)、堀本かな先生 (平 23 卒) と私の 4 人体制で診療にあたっております。

診療の特徴としては、何といても内科、外科が一緒になって呼吸器センターとして入院、外来を診ていることにあります。垣根が極めて低いということです。ご存じのように、肺癌治療は分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害剤出現後、大きく変化しております。その新しい治療法を内科と一緒にやって行えることは、最新の知見を得られるとともに、大変勉強になります。

手術は水・金曜日の 2 日で (金曜日には南京都病院の大塩麻友美先生に手術のお手伝いをいただいています)、昨年は全麻 174 件、肺癌手術 (診断含む) 90 件と例年より 20% 近く増加しました。私が赴任した当初からの目標、年間 200 件、肺癌 100 件の手術までまだ少しというところですが、着実に増加しているように思われますので、このまま引き続き頑張っていきたいと思っております。

トピックスとしては、何といても da Vinci によるロボット支援手術を始めたことです。呼吸器外科領域も保険収載され、ロボット支援手術を推し進めるという当院の方針もあり、橋本先生を中心に準備を進め昨年 12 月に第 1 例目の手術を無事行うことができました。この 7 月末までに 9 例の肺癌手術を da Vinci で行いました。今のところ大きな問題もなく経過良好で疼痛も少ない印象です。従来 of 胸腔鏡手術に比べてロボット支援手術の優位性を示すことはなかなか難しいところではありますが、今後も積極的に行い何らかのデータを示せるようになればと考えております。

今後とも同門会の皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。



## ● 医療法人社団 昂会 日野記念病院

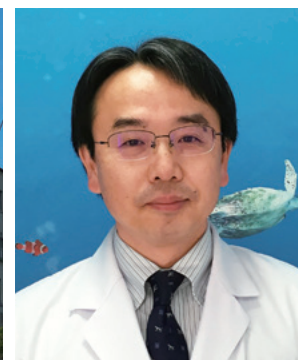
院長 仲 成 幸 (平成2年卒)

平成31年4月1日付けにて花澤一芳名誉院長の後任として院長に就任いたしました。当院は昭和60年に日野町の誘致により開設され、現在2つのセンターと24診療科、常勤医師29名が在籍しています。日野町を中心とした地域医療を土台として、各々の診療科では質の高い急性期専門医療にも力を入れています。「昂会消化器センター」では消化器内科・消化器外科・放射線科・病理診断科のそれぞれの専門医が診断および治療を行っています。日本がん治療認定医療機関認定研修施設としてがん治療に取り組み、認定看護師を中心とした「がん診療相談支援室」も開設しています。また、「滋賀脊椎センター」では県内最多の脊椎手術を行っています。

日野記念病院は東近江保健医療圏（人口23万人・面積728km<sup>2</sup>）の中で、日野町（人口2万2千人・面積117km<sup>2</sup>）唯一の病院として地域医療を支えています。人口減少と高齢化に伴う医療費の増加が見込まれる中、医療機関の機能分化と集約化の必要性が議論されています。しかし、過疎化が進む地方都市において、医療の質を担保しつつ地域住民の多様な医療ニーズに対応し、さらに医療の効率性を成り立たせるのは困難な状況にあります。そこで、医療法人社団 昂会では日野記念病院、湖東記念病院（心臓血管センター、脳神経外科センター、滋賀ガンマナイフセンター）、東近江市立能登川病院（昂会アイセンター）の3病院を医療圏内で水平に連結することにより、東近江保健医療圏において381床の医療機関として機能させ、地域医療と急性期専門医療の両立と経済的な効率性の向上も目指しています。医療圏の人口密度が低くなくても、分散した各々の病院が地元の住民に密着した地域医療を担い、専門機能の分化・集約と病院間の密な連携により、救急や専門医療に高い質を保ちながら効率的に対応できる体制作りに取り組んでいます。

江戸時代中期の武士の啓蒙書と言われる「葉隠」（佐賀鍋島藩士の山本常朝による口述記）に「武士の大括りの次第を申さば、先づ身命を主人に篤と奉るが根源なり、（中略）内には智仁勇を備ふる事なり」（岩波文庫「葉隠」上巻p.88）と述べられています。この智・仁・勇は儒教において三徳として大切にされ、「智：物事の道理を知り正しい判断を下す能力」、「仁：己に克ち、他に対するいたわりのある心」、「勇：心が強く、物事に恐れないこと」とされています。この三徳を兼備することは難しいように思われますが、「葉隠」では凡人にも以下の如く容易に出来ることであると述べられています。すなわち、「智は人に談合するばかりなり」（人に聞いたり、相談すればよい）、「仁は人の為になる事なり」（人のためになる事、自分より人がよい様にすればよい）、「勇は歯嚙なり」（後先を気にせず歯を食いしばってやり抜けばよい）。医療に携わる者の心構えとしても当てはまるのではないのでしょうか。職員全員が同じ思いを持ち日々の医療に取り組むたいと考えております。

これからも皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ● 新入会員紹介

### 消化器外科



#### 安川 大貴

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 22 年卒)

滋賀医科大学平成 22 年卒の安川大貴です。私は初期研修を大津赤十字病院、後期研修を西神戸医療センター、外科医員として天理よろづ相談所病院で 3 年間働きました。平成 30 年 4 月より、大学院への進学を機に、母校の消化器外科・乳腺一般外科に帰学致しました。昨年度は上部消化管、下部消化管、肝胆膵のチームにそれぞれ 3 ヶ月ずつローテーションし、高度な手術や厳格な病棟管理につき勉強させて頂きました。平成 31 年からは、薬理学講座でナルディライジンという分子を切り口に膵癌研究を行い、日々充実した生活を送っています。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



#### 松永 隆志

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 26 年卒)

2018 年度より同門会に入会致しました松永隆志と申します。

私は 2008 年に滋賀医科大学入学、在学中は剣道部に所属しておりました。2014 年に卒業後は大阪市の淀川キリスト教病院で初期研修、後期研修を行い 2018 年度より本学外科学講座に入局しました。2019 年度より堺市のベルランド総合病院で勤務しております。

大学病院で過ごした去年 1 年間は、非常にアットホームな雰囲気の中で楽しく、また充実した日々を過ごさせて頂きました。今年度も多くの手術に携わらせていただいております、外科医として成長できるよう、精進したいと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。



#### 塩見 一徳

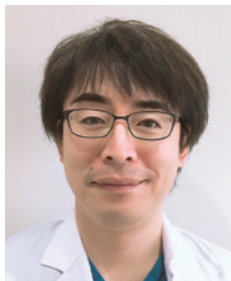
出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

初期研修を長浜赤十字病院で過ごし、2018 年度より滋賀医科大学でお世話になっております。幸い 3 年目、4 年目で 5 人の仲間に恵まれ日々切磋琢磨しながら外科道を進んでいます。市中病院では経験することのできない、大学ならではの先進医療や高難度手術を通じ、自身の外科手技の基礎を組み立てていきたいと思っております。我々若手医師が日々の手術・診療に全力を注げるのも同門会のご支援あってこそと思っております。

今後とも多くのご面倒をおかけすると思っておりますが、何卒ご指導・ご鞭撻のほど宜しく申し上げます。



## 乳腺・一般外科



### 辰巳 征浩

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

滋賀医科大学外科同門会の皆様、初めまして。滋賀医科大学消化器・乳腺・一般外科の辰巳と申します。栄えある滋賀医科大学外科同門会の末席に加えていただけてから、はや1年数か月が経過しました。元々は動物病院で獣医師として働いていましたが、手術が苦手な臨床を諦めたのが15年前。まさか自分が外科医になるとは夢にも思いませんでしたが、今は良き指導者方にも恵まれ、15年越しにようやく手術の面白さにも気づき始めました。

今のところ将来は乳腺外科を専門にしたいと考えています。少しでも長く現役で仕事を続けるために、健康にも十分留意して精進を続けて参る所存です。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

## 消化器外科



### 前川 毅

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

平成 28 年に滋賀医科大学を卒業、その後滋賀医科大学で初期研修を行い、消化器・乳腺・一般外科に入局いたしました。昨年度は長浜赤十字病院に1年間勤務し、現在は滋賀医科大学病院に勤務しております。手術を含めた集学的治療を駆使してがん治療に携わっていききたいと思い、当科を志望いたしました。一つ一つの症例を大切に、ご指導いただいている先生方のお役に立てるよう、頑張っていきたいと思っております。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### 村本 圭史

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

私は平成 28 年に滋賀医科大学を卒業し、同附属病院での初期研修を経て平成 30 年に外科学講座（消化器・乳腺一般外科）に入局致しました。本年度より、長浜赤十字病院に勤務し、外科専門医取得に向けて日々精進しております。初めての市中病院で実際に主治医となることも多く、毎日緊張の連続ですが、自らがメスを握ることへのワクワクとした気持ちを噛みしめております。同門会諸先輩方に置かれましたは今後の診療において益々お力添えを頂く機会も増えることと存じます。まだまだ未熟者ではありますが、何卒御指導御鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

## 呼吸器外科



### 余田 誠

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

平成 28 年滋賀医科大学を卒業後、草津総合病院、滋賀医科大学附属病院で 2 年間の初期研修を修了し平成 30 年 4 月より外科学講座に入局、呼吸器外科を専攻させて頂いております。先生方の厳しくも温かいご指導のもと、修練に励み充実した日々を過ごしています。外科医として必要な知識を身につけ、腕を磨いていくのと同時に、1 人の人間として患者さんと向き合い真摯な姿勢で診療にあたるよう心がけ、邁進してまいりますので今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 心臓血管外科



### 脇坂 穂高

出身大学：滋賀医科大学  
(平成 28 年卒)

平成 30 年度より心臓血管外科に入局させて頂きました脇坂穂高と申します。出身も大学も滋賀県で、初期研修は 1 年目に宇治徳洲会病院、2 年目に本学附属病院で行っておりました。慣れ親しんだ地で学生、研修医時にお世話になった先生方と共に仕事ができることを大変嬉しく思っています。忙しく大変な分野であることは覚悟していますが、学生時代は陸上部で長距離をしていたため体力には自信があります。少しでも早く患者さんに信頼され、先生方に頼りにされるよう、日々精進して参りたいと思いますのでご指導ご鞭撻の程、宜しく願い致します。

## ● 学生海外自主研修報告

### ロズウェルパーク癌センターにおける自主研修を終えて

医学科4年生 山下 純平

2018年9月1日から9月16日にかけて私は医学科4年生のカリキュラムの一環である自主研修として、アメリカのロズウェルパーク癌センター腫瘍免疫学の教室を訪問しました。センターは、アメリカで最も古いがん研究所として知られ、ナイアガラの滝やカナダとの国境近くに位置します。今回の研修では、本教室准教授であり、滋賀医科大学卒業生でもある、伊藤 史人先生が、受け入れ教員となってくださいました。

伊藤先生の研究室では、免疫チェックポイント阻害剤のバイオマーカー研究が一つの大きなテーマです。ロズウェルパーク癌センターには臨床棟と研究棟の両方が存在し、当センターのがん患者のT細胞を用いてフローサイトメトリーを行い、バイオマーカーと期待される分子が、免疫チェックポイント阻害剤の治療前後で、どのように変化するかを2週間かけて見学致しました。バイオマーカーを見つけるということはただ単にマーカーを同定すればよいのではなく、感度特異度が高く、またコストや侵襲が小さい面で優れているなど、より実用的なマーカーの同定にご尽力されており、バイオマーカー研究に対する考え方を学ぶと共に、様々な実験を見学致しました。その中で、今まで知らなかったアメリカの医療・研究の特徴に触れることができ、驚いたことをここで紹介したいと思います。

例えば、DNAのシーケンシングを行う場合、センター内にシーケンシングを行う部署があり、

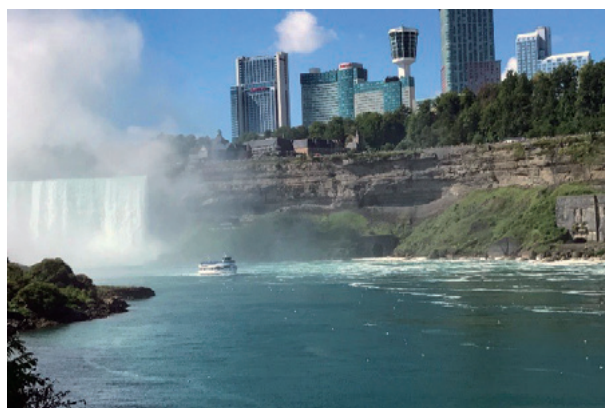
その部署にサンプルを提出すれば、専属の方がシーケンシングを行ってくれるというシステムがあります。フローサイトメトリーでも同様に専属の部署があり、シーケンシングやフローサイトメトリーを行いながら他の作業をすることができ、結果が出ればすぐに解析に移ることを可能にしています。また、患者さんの血液などを研究に利用する場合には、患者の同意を取らなければなりません。病院内に「研究を行うための同意を取る」部署も存在し、細かな役割分担がされていました。このように、研究に対するサポートシステム



ロズウェルパーク癌センター

が充実しており、臨床研究の最先端に行くアメリカならではの姿勢に驚かされました。

アメリカ人といえば、話し合いに積極的なイメージを持っていましたが、活発な質疑応答は想像を超えるものでした。アメリカの医師は、研修医が終わると研究を行うフェローを半年ほど務めるそうです。現地の研究棟では、週に一度フェローによる研究発表のミーティングが行



ナイアガラの滝と対岸のカナダの街並み

われており、私も参加致しました。ミーティングでは質疑応答が非常に活発で、各フェローが用意した発表の時間よりも、むしろ他の研究員からの質疑応答や議論の時間の方が長く、各研究員の熱意や積極性は模範にするべき姿勢だと感じました。

自主研修から帰国し、国家試験やまた医療人として生涯学習をしていく上で、また人として成長するためにも、臨床をイメージした学習、そして活発な意見交換などの面で大いに考えさせられました。また、海外における医療に関する興味も深まり、語学学習にも力を入れる必要性を感じております。これから、臨床実習、国家試験を踏んで医師となる上で、より一層の精進を重ねて参る所存です。

最後になりましたが、本研修を行うにあたりご多忙の中多大なご尽力を賜りました伊藤 史人先生に深く感謝致します。学内での担当教官となり、ご指導くださいました谷 眞至教授、清水智治准教授、秘書の中村さんには、今回の研修を実現させるにあたり大変お世話になりました。また、滋賀医科大学外科同門会のご支援と、このような報告の機会をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

---

---

# 教室業績

---

---

## 滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）

### 【論文発表】

〈英文学術論文〉

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T, Takebayashi K, Kodama H, Mekata E, Tani M.  
In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co-stimulation in vitro.  
Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

Yasukawa D, Aisu Y, Kimura Y, Takamatsu Y, Kitano T, Hori T.  
Which Therapeutic Option Is Optimal for Surgery-Related Perineal Hernia After Abdominoperineal Excision in Patients with Advanced Rectal Cancer? A Report of 3 Thought-Provoking Cases.  
Am J Case Rep. 19: 663-668, 2018

Mori H, Iida H, Maehira H, Tani M.  
Aberrant Right Posterior Hepatic Duct.  
Intern Med. 57(19): 2905, 2018

Ikuta D, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Mukaisho K, Tokuda A, Ueki T, Sugihara H, Tani M.  
Fibrosis in metastatic lymph nodes is clinically correlated to poor prognosis in colorectal cancer.  
Oncotarget. 9(51): 29574-29586, 2018

Kaida S, Yamaguchi T, Takebayashi K, Murata S, Miyake T, Iida H, Sonoda H, Shimizu T, Tani M.  
Classification of remnant stomach shape after distal gastrectomy with Billroth-I reconstruction and a comparison of the postoperative outcomes.  
Surg Today. 48(10): 909-915, 2018

Akabori H, Naka S, Tani T, Tani M.  
Early experience with a new integrated microwave surgical device, Acrosurg, for distal pancreatectomy.  
Asian J Surg. 41(4): 396-398, 2018

Inoue A, Ohta S, Nitta N, Yoshimura M, Sonoda H, Shimizu T, Tani M, Kushima R, Murata K.  
Ex vivo MR imaging of colorectal carcinoma before and after formalin fixation: correlation with histopathologic findings.  
Abdom Radiol (NY). 43(7): 1524-1530, 2018

Yamamoto H, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Ishida M, Kushima R, Tani M.  
Presence of cancer cells in the periarterial tissues of patients with advanced gastric cancer.  
Oncol Lett. 16(1): 1226-1230, 2018

Chatani S, Inoue A, Ohta S, Takaki K, Sato S, Iwai T, Murakami Y, Watanabe S, Sonoda A, Nitta N, Maehira H, Tani M, Murata K.  
Transcatheter Arterial Embolization for Postoperative Bleeding Following Abdominal Surgery.  
Cardiovasc Intervent Radiol. 41(9): 1346-1355, 2018

Hirono S, Kawai M, Okada K, Fujii T, Sho M, Satoi S, Amano R, Eguchi H, Mataka Y, Nakamura M, Matsumoto I, Baba H, Tani M, Kawabata Y, Nagakawa Y, Yamada S, Murakami Y, Shimokawa T, Yamaue H.  
MAPLE-PD trial (Mesenteric Approach vs. Conventional Approach for Pancreatic Cancer during Pancreaticoduodenectomy): study protocol for a multicenter randomized controlled trial of 354 patients with pancreatic ductal adenocarcinoma.  
Trials. 19(1): 613, 2018

Iida H, Shimizu T, Maehira H, Kitamura N, Mori H, Miyake T, Kaida S, Tani M.

A pilot study: The association between physical activity level using by accelerometer and postoperative complications after hepatic resection.

Exp Ther Med. 16(6): 4893-4899, 2018

Iida H, Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Kon M.

Ratio of mean platelet volume to platelet count is a potential surrogate marker predicting liver cirrhosis.

World J Hepatol. 10(1): 82-87, 2018

Tanaka S, Ueno M, Iida H, Kaibori M, Nomi T, Hirokawa F, Ikoma H, Nakai T, Eguchi H, Kubo S.

Preoperative assessment of frailty predicts age-related events after hepatic resection: a prospective multicenter study.

J Hepatobiliary Pancreat Sci. 25(8): 377-387, 2018

Yasukawa D, Hori T, Kadokawa Y, Kato S, Aisu Y, Hasegawa S.

Trans-perineal minimally invasive surgery during laparoscopic abdominoperineal resection for low rectal cancer.

Surg Endosc. 33(2): 437-447, 2019

Kitamura M, Nakayama T, Mukaisho K, Mori T, Umeda T, Moritani S, Kushima R, Tani M, Sugihara H.

Progression Potential of Ductal Carcinoma in situ Assessed by Genomic Copy Number Profiling.

Pathobiology. 86(2-3): 92-101, 2019

Maehira H, Iida H, Mori H, Kitamura N, Miyake T, Shimizu T, Tani M

Computed Tomography Enhancement Pattern of the Pancreatic Parenchyma Predicts Postoperative Pancreatic Fistula After Pancreaticoduodenectomy.

Pancreas. 48(2): 209-215, 2019

#### 〈和文学術論文〉

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 森 治樹, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 伴 宏光, 谷 眞至  
放射線外照射部位に認めた直腸癌に対し内視鏡的粘膜下層切開剥離術と経肛門式内視鏡下手術で治療し得た1例  
癌と化学療法 45(4): 740-742, 2018

坂井幸子, 久保田良浩, 加藤久尚, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至

壊死性腸炎術後に消化管アレルギーと腸内細菌異常増殖症の合併が疑われた超低出生体重児の1例

日本小児外科学会雑誌 54(4): 978-984, 2018

新田信人, 森 毅, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 谷 眞至

腹壁粘液線維肉腫の1例

日本臨床外科学会雑誌 79(8): 1788-1793, 2018

寺田好孝, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士,

前平博充, 森 治樹, 新田信人, 谷 眞至

肺癌小腸転移を先進部とした成人腸重積の1例

滋賀医科大学雑誌 31(1): 4-8, 2018

塩見尚礼, 清水智治, 佐藤浩一郎, 川崎誠康, 池添清彦, 東田宏明, 林 直樹, 井内武和, 熊野公東, 西村彰一,

内藤弘之, 新田信人, 葛本慶裕, 横田 徹, 一瀬真澄, 柿原直樹, 簀 洋三, 藤野光廣, 藤田益嗣, 神谷純広, 谷 眞至  
下部消化管穿孔に対する急性汎発性腹膜炎手術における創閉鎖の現況 アンケート調査結果

滋賀医科大学雑誌 31(1): 15-19, 2018

土橋洋史, 望月慶子, 東田宏明, 内藤弘之, 清水智治, 谷 眞至

Ventralex Hernia Patchを用いた腹腔鏡下閉鎖孔ヘルニア修復術の2例

滋賀医科大学雑誌 31(1): 20-23, 2018

島田加奈, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 岡野純子,  
鈴木義久, 目片英治, 谷 眞至  
診断に難渋した豊胸術後乳癌の1例  
滋賀医科大学雑誌 31(1): 24-29, 2018

全 有美, 三宅 亨, 寺田好孝, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美,  
谷 総一郎, 竹林克士, 前平博充, 森 治樹, 新田信人, 福田昌英, 九嶋亮治, 谷 眞至  
半年間で嚢胞壁肥厚を呈した仮性腸間膜嚢胞の1切除例  
滋賀医科大学雑誌 31(1): 30-33, 2018

村本圭史, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 園田寛道,  
森 毅, 清水智治, 園田明永, 大田信一, 新田哲久, 村田喜代史, 谷 眞至  
Covered stent留置により臓器血流温存しつつ治癒しえた胃癌術後膀胱瘻に伴う脾仮性動脈瘤の1例  
滋賀医科大学雑誌 31(1): 43-46, 2018

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至  
術前に卵巣腫瘍が疑われた巨大尿管膜管嚢胞の1例  
日本小児外科学会雑誌 54(7): 1342-1346, 2018

油木純一, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 清水智治, 米丸隼平, 森谷鈴子, 谷 眞至  
術前化学放射線療法により完全奏効が得られた局所進行直腸扁平上皮癌の2例  
日本消化器外科学会雑誌 51(12): 791-799, 2018

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 飯田洋也, 貝田佐知子, 竹林克士, 目片英治,  
遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至  
潰瘍性大腸炎におけるEndotoxin Activity Assay(EAA)  
エンドトキシン・自然免疫研究 21: 26-29, 2018

塩見尚礼, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠,  
前平充博, 飯田洋也, 北村尚美, 赤堀浩也, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至  
【術後胆道感染症】膵胆道疾患に対する術後胆管炎に関する検討  
日本外科感染症学会雑誌 15(4): 281-284, 2018

寺田好孝, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 森 治樹, 清水智治, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之,  
北村直美, 前平博充, 谷 総一郎, 谷 眞至  
切除し得た転移を有する後腹膜脂肪肉腫の1例  
癌と化学療法 45(13): 2108-2110, 2018

谷 総一郎, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
癌性腸閉塞に対する姑息的人工肛門造設術症例の検討  
癌と化学療法 45(13): 2339-2341, 2018

村上耕一郎, 龍田 健, 跡地春仁, 板垣成彦, 貝田佐知子, 植木智之, 村尾佳則, 小玉正智  
まれな材質の消化管異物の質的診断においてCTによる階調処理が有用であった1例  
日本腹部救急医学会雑誌 38(1): 129-132, 2018

富田 香, 河合由紀, 森 毅, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 清水智治, 梅田朋子, 辰巳征浩, 島田加奈, 谷 眞至  
ドセタキセル・ペルツズマブ・トラスツズマブ療法が著効した進行乳癌の2例  
癌と化学療法 45(13): 2435-2437, 2018

西川絢子, 寺村和也, 藤本徳毅, 加藤 威, 中西健史, 田中俊宏, 森 治樹, 三宅 亨, 谷 眞至  
鼠径郭清後に大腿ヘルニアを生じた下腿有棘細胞癌の1例  
日本皮膚外科学会誌 22(2)別冊: 219, 2018



飯田洋也, 上野昌樹, 井上善博, 竹村茂一, 生駒久視, 野見武男, 石崎守彦, 前平博充, 廣川文鋭, 田中肖吾, 北東大督, 松井康輔, 谷 眞至, 海堀昌樹, 久保正二  
外科・救急領域における特殊感染症 肝胆膵手術後Aeromonas hydrophila検出例の検討  
日本外科感染症学会雑誌 15(5): 503, 2018

井上明星, 大田信一, 赤堀浩也, 谷 眞至, 藤本剛英, 稲富 理, 九嶋亮治, 村田喜代史  
嚢胞性腫瘍の形態を示した膵神経内分泌腫瘍の1例  
臨床放射線 63(10): 1127-1131, 2018

油木純一, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至  
術中ICG蛍光法で腸管切除を回避し得た子宮広間膜裂孔ヘルニア嵌頓の1例  
日本腹部救急医学会雑誌 39(1): 43-46, 2019

前川 毅, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹, 谷 眞至  
脾摘後の門脈血栓を契機に出現した肝限局性結節性過形成の1例  
日本臨床外科学会雑誌 80(1): 115-121, 2019.

#### 【国際学会】

Mori H, Iida H, Kitamura N, Maehira H, Miyake T, Shimizu T, Tani M.  
Significance of Musie Mass Decreasing on Prognosis after Pancreatic Cancer Surgery.  
The 13th International Hepato-Pancreato Biliary Association World Congress, 2018, Geneva

Tani M, Maehira H, Iida H, Kitamura N, Mori H, Nitta N, Miyake T, Shimizu T.  
The Relationship with the Stapler Closure of Pancreatic Stump and Postoperative Pancreatic Fistula after Distal Pancreatectomy.  
The 13th International Hepato-Pancreato Biliary Association World Congress, 2018, Geneva

Maehira H, Iida H, Kitamura N, Mori H, Nitta N, Miyake T, Shimizu T, Tani M.  
CT Attenuation Ratio of Pancreatic Parenchyma Predict Postoperative Pancreatic Fistula after Pancreaticoduodenectomy.  
The 13th International Hepato-Pancreato Biliary Association World Congress, 2018, Geneva

Murata S, Takebayashi K, Yamaguchi T, Kaida S, Kodama H, Iida H, Kitamura N, Maehira H, Mori H, Shimizu T, Mekata E, Daigo Y, Tani M.  
Mechanism and treatment strategy for peritoneal recurrence after curative gastric cancer surgery.  
11th International Workshop on Peritoneal Surface Malignancy, 2018, Paris

Ikuta D, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Mukai-sho K, Tokuda A, Ueki T, Sugihara H, Tani M.  
Fibrosis in metastatic lymph nodes is clinically correlated to poor prognosis in colorectal cancer.  
11th AACR-JCA Joint Conference on Breakthroughs in Cancer Research: Biology to Precision Medicine, 2019, Maui

#### 【全国学会・研究会】

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 谷 眞至  
胃切除後のメタボリックフプロファイルに対する再建法の影響  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 寺田好孝, 森 治樹, 谷 総一郎, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当科Stage IV大腸癌におけるTNM分類第8版に準じたM分類についての検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

寺田好孝, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 前平博充, 森 治樹, 谷 眞至

DST(Double Stapling Technique)における側端吻合の導入

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

村上耕一郎, 山田篤史, 仲 成幸, 飯田洋也, 龍田 健, 植木智之, 貝田佐知子, 小玉正智, 谷 徹, 谷 眞至

VR シミュレーションによるポートセッティングを行った腹壁癒痕ヘルニア術後の胆嚢炎症例

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

森 毅, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 加藤久尚, 坂井幸子, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

当院における術前にlow grade DCISと診断された手術症例の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 徹, 北村直美, 飯田洋也, 三宅 亨, 貝田佐知子, 植木智之, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

新規マイクロ波手術機器“Acrosurg.”を用いた腓体尾部切除術の3例

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 竹林克士, 九嶋亮治, 谷 眞至

胃癌における浸潤最深部でのCD44陽性細胞癌幹細胞の予後への影響【British Journal of Cancer】

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 三宅 亨, 太田裕之, 飯田洋也, 植木智之, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子,

目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

大腸癌腹膜播種に対するmitomycin C, 5-fluorouracil, and oxaliplatin併用による術中温熱化学療法の臨床応用の可能性

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

河合由紀, 北村美奈, 富田 香, 森 毅, 梅田朋子, 加藤久尚, 坂井幸子, 清水智治, 村田 聡, 谷 眞至

乳癌術前化学療法におけるPegfilgrastimの有用性の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

腹部CT画像の腎周囲脂肪径を用いた腹腔鏡下結腸切除術の手術時間に影響を与える指標の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

北村直美, 清水智治, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 飯田洋也, 前平博充, 谷 眞至, 田畑貴久,

藤野和典, 松下美季子, 江口 豊

大腸憩室出血と再出血の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 谷 総一郎, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也,

山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

当科における切除可能進行再発直腸癌に対する術前化学療法

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

新田信人, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 園田寛道, 三宅 亨, 北村直美, 飯田洋也, 森 毅, 植木智之,

前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 全 有美, 清水智治, 谷 眞至

高齢者胃癌における腹腔鏡手術の開腹手術との比較検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 三宅 亨, 寺田好孝, 貝田佐知子, 竹林克士, 園田寛道, 山口 剛,

清水智治, 谷 眞至

腓がん術後に筋肉量の低下が予後に与える影響

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

村本圭史, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至  
術前化学療法後に根治切除しえた胃腺扁平上皮癌の1例  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

前川 毅, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 谷 眞至  
上行結腸癌術後傍大動脈リンパ節転移との鑑別に苦慮した傍神経節腫の1切除例  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
MSI 検査を施行した大腸癌症例の検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 前平博充, 谷 総一郎, 森 治樹, 寺田好孝, 新田信人, 森 毅, 谷 眞至  
胃癌術前化学療法症例の治療成績の検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 三宅 亨, 北村直美, 植木智之, 飯田洋也, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 生田大二, 谷 総一郎, 前平博充, 寺田好孝, 森 治樹, 新田信人, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
胃癌治療手術後がん再発予見バイオマーカーとしての, 腹腔内洗浄液がん細胞培養  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 新田信人, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也, 坂井幸子, 河合由紀, 北村直美, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 谷 総一郎, 寺田好孝, 森 治樹, 谷 眞至  
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の効果良好群と効果不良群の比較検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 寺田好孝, 谷 総一郎, 竹林克士, 加藤久尚, 坂井幸子, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 森 毅, 全 有美, 新田信人, 園田寛通, 清水智治, 谷 眞至  
腭実質造影パターンの定量化による腭頭十二指腸切除術後腭液瘦予測の可能性  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

飯田洋也, 谷 眞至, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 植木智之, 三宅 亨, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治  
肝切除後活動量変化パターンは肝切除後感染性合併症を予測する  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 寺田好孝, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹, 新田信人, 森 毅, 谷 眞至  
胃癌手術における細胞培養による腹腔内遊離癌細胞の検出  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

徳田 彩, 三宅 亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至  
大腸癌におけるFAP 発現の臨床的意義についての検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

生田大二, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 徳田 彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 山口 剛, 谷 眞至  
大腸癌腫瘍先進部における  $\alpha$  SMA と collagen の発現の臨床的意義についての検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

仲 成幸, 谷 総一郎, 山田篤史, 森 治樹, 児玉泰一, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 東田宏明, 谷 眞至, 谷 徹  
肝切除におけるマイクロ波手術デバイス Acrosurg. の有用性  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

児玉泰一, 仲成幸, 東田宏明, 迫裕孝, 花澤一芳, 谷眞至, 谷徹  
新規エネルギーデバイス「アクロサージ(Acrosurg)」の甲状腺手術における有用性  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

村田聡, Pham Minh Ngoc, 北村直美, 河合由紀, 梅田朋子, 目片英治, 森毅, 富田香, 北村美奈, 田中彰恵,  
清水智治, 谷眞至  
細胞移入後に担癌生体内で増殖できる腫瘍特異的CTL細胞療法  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

河合由紀, 清水智治, 木村文則, 富田香, 北村美奈, 森毅, 村田聡, 梅田朋子, 目片英治, 村上節, 谷眞至  
滋賀県における若年乳癌患者のがん・生殖医療システム構築と今後の展望  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

森毅, 北村美奈, 富田香, 坂井幸子, 三宅亨, 貝田佐知子, 北村直美, 河合由紀, 園田寛道, 清水智治, 谷眞至  
乳癌術後に腹膜播種再発を認めた3症例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

高橋征浩, 北村美奈, 島田加奈, 富田香, 坂井幸子, 河合由紀, 三宅亨, 貝田佐知子, 植木智之, 飯田洋也,  
北村直美, 山口剛, 園田寛道, 森毅, 清水智治, 谷眞至  
乳腺神経内分泌癌の1例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

北村美奈, 島田加奈, 富田香, 坂井幸子, 河合由紀, 三宅亨, 貝田佐知子, 植木智之, 北村直美, 飯田洋也,  
山口剛, 園田寛道, 森毅, 村田聡, 清水智治, 谷眞至  
葉状腫瘍内に併存した浸潤性乳管癌の1例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

梅田朋子, 内藤弘之, 竹林紀子, 森毅, 児玉創太, 八木俊和, 島田加奈, 高橋征浩, 北村美奈, 富田香,  
河合由紀, 清水智治, 安東勝宏, 谷眞至, 来見良誠  
当院における乳癌術後疼痛に関する検討  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

中井美里, 富田香, 河合由紀, 北村直美, 高橋征浩, 北村美奈, 坂井幸子, 森毅, 清水智治, 村田聡, 梅田朋子,  
目片英治, 谷眞至  
術前化学療法でCRとなり根治手術なしで長期無再発生存が得られたHER2陽性乳癌の1例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

富田香, 河合由紀, 高橋征浩, 島田加奈, 北村美奈, 坂井幸子, 森毅, 清水智治, 村田聡, 梅田朋子, 目片英治,  
谷眞至  
ドセタキセル・ペルツスマブ・トラスツスマブ療法が著効した進行乳癌の3例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

森治樹, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 谷総一郎, 清水智治, 谷眞至  
腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極を用いた肝離断法  
第72回 手術手技研究会, 2018年5月, 鳴門

飯田洋也, 森治樹, 北村直美, 前平博充, 谷総一郎, 清水智治, 谷眞至  
直腸癌術後多発肝転移に対する腹腔鏡下ALPPS手術  
第72回 手術手技研究会, 2018年5月, 鳴門

徳田彩, 三宅亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口剛, 谷眞至  
CT26大腸癌細胞由来エクソソームは腹膜播種を抑制する  
第27回 日本癌病態治療研究会, 2018年5月, 千葉

坂井幸子, 木村文則, 加藤久尚, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至  
当院における小児がん患者に対する卵巣組織凍結保存の取り組みと小児外科医の役割  
第55回 日本小児外科学会学術集会, 2018年5月, 新潟

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至  
広範囲交通性小腸重複症の1例  
第55回 日本小児外科学会学術集会, 2018年5月, 新潟

飯田洋也, 谷 眞至, 大崎理英, 藤本剛英, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 安藤 朗  
肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法と経皮的マイクロ波凝固療法との比較  
第54回 日本肝癌研究会, 2018年6月, 久留米

大崎理英, 飯田洋也, 松原垂季子, 大田信一, 森 治樹, 藤本剛英, 前平博充, 村田喜代史, 谷 眞至, 安藤 朗  
症例検討会2-4  
第54回 日本肝癌研究会, 2018年6月, 久留米

Tani M, Chairs.  
Tips and Tricks in Pancreatic Surgery.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

Iida H, Maehira H, Kitamura N, Mori H, Miyake T, Shimizu T, Tani M.  
The effect of preoperative synbiotic treatment to prevent surgical site infection in hepatic resection.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

Akabori H, Tani M, Maehira H, Mori H, Kitamura N, Iida H, Naka S.  
The anti-inflammatory effect of perioperative tight glycemic control using an artificial pancreas for  
pancreatectomized patient with impaired glucose tolerance.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

Maehira H, Iida H, Kitamura N, Mori H, Nitta N, Miyake T, Shimizu T, Tani M.  
The relationship of the staple cartridge for pancreatic dissection and postoperative pancreatic fistula after distal  
pancreatectomy.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

Mori H, Iida H, Maehira H, Kitamura N, Shimizu T, Miyake T, Nitta N, Tani M.  
Evaluation of liver function reserve using <sup>99m</sup>Tc-GSA scintigraphy and AZE Virtual Place fusion image.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

Nitta N, Maehira H, Iida H, Kitamura N, Mori H, Miyake T, Shimizu T, Tani M.  
Prediction of postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy by preoperative dynamic CT.  
第30回 日本肝胆膵外科学会, 2018年6月, 横浜

谷 総一郎, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
癌性腸閉塞に対する姑息的人工肛門造設術症例の検討  
第40回 日本癌局所療法研究会, 2018年6月, 東京

村本圭史, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 北村直美, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
卵巣癌孤立性大腸転移の1例  
第40回 日本癌局所療法研究会, 2018年6月, 東京

冨田 香, 河合由紀, 森 毅, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 清水智治, 梅田朋子, 高橋征浩, 島田加奈, 谷 眞至  
ドセタキセル・ペルツズマブ・トラスツズマブ療法が著効した進行乳癌の2例  
第40回 日本癌局所療法研究会, 2018年6月, 東京

寺田好孝, 谷 眞至

切除しえた転移を有する後腹膜脂肪肉腫の1例  
第40回 日本癌局所療法研究会, 2018年6月, 東京

山口 剛, Lee Wei-Jei, 谷 眞至

A fellowship training in bariatric/metabolic surgery at Min-Sheng General Hospital in Taiwan  
第36回 日本肥満症治療学会学術集会, 2018年6月, 東京

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 森野勝太郎, 卯木 智, 栗原美香, 秋定有紗, 上西祐輝, 小川陽子,  
安藤光子, 三浦美智子, 清水智治, 前川 聡, 谷 眞至  
腹腔鏡下袖状胃切除後, 減量効果は良好であったが手術を後悔された1例  
第36回 日本肥満症治療学会学術集会, 2018年6月, 東京

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 清水智治, 稲富 理, 安藤 朗, 谷 眞至  
膵実質CT値比率による造影効果の定量化と膵頭十二指腸切除術後膵液瘻の関連性の検討  
第49回 日本膵臓学会大会, 2018年6月, 和歌山

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 稲富 理, 安藤 朗, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至  
膵体尾部切除におけるステーブル高と術後膵液瘻との関連性  
第49回 日本膵臓学会大会, 2018年6月, 和歌山

飯田洋也, 谷 眞至, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 新田信人, 清水智治, 稲富 理, 安藤 朗  
膵頭十二指腸切除後の感染性合併症診断における血清プロカルシトニン値の意義  
第49回 日本膵臓学会大会, 2018年6月, 和歌山

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 谷 眞至  
定型化に向けた腹臥位胸腔鏡下食道切除の手術手技—中下縦隔操作における工夫—  
第43回 日本外科系連合学会学術集会, 2018年6月, 東京

貝田佐知子, 青木 健, 山口 剛, 竹林克士, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 村田喜代史, 谷 眞至  
集学的治療を行った食道悪性黒色腫の1例  
第72回 日本食道学会学術集会, 2018年6月, 宇都宮

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 谷 眞至  
頭頸部重複癌を伴う食道癌症例の検討  
第72回 日本食道学会学術集会, 2018年6月, 宇都宮

山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 清水智治, 鈴木友彰, 藤野 晋, 近藤康生, 村田 聡, 浅井 徹, 谷 眞至  
解離性大動脈瘤破裂に伴う食道穿孔に対し外科治療を行い治癒が得られた1例  
第72回 日本食道学会学術集会, 2018年6月, 宇都宮

坂井幸子, 加藤久尚, 富田 香, 北村美奈, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 谷 眞至  
精巣固定術時に精管欠損を認めたVACTER 連合の1例  
第27回 日本小児泌尿器科学会学術集会, 2018年6月, 金沢

長澤芳信, 園田寛道, 田中えり, 三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 九嶋亮治, 谷 眞至  
散発性MSI-highと考えられた回腸癌の1例  
第89回 日本大腸癌研究会, 2018年7月, 新潟

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 長澤芳信, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至  
T1大腸癌における内視鏡摘除後追加切除の適応基準についての検討  
第89回 日本大腸癌研究会, 2018年7月, 新潟

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当院における手術を施行した潰瘍性大腸炎の周術期成績  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 清水智治, 森 毅, 園田寛道, 飯田洋也, 谷 眞至  
腹腔鏡下スリーブ状胃切除を行うためのポイントと工夫—ガーゼをスパーサーとした胃の剥離授動と胃管の固定  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 飯田洋也, 貝田佐知子, 太田裕之, 目片英治, 谷 眞至  
大腸癌イレウスに対する外科治療の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 前平博充, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
化学療法施行後にconversion surgery を施行したStageIV 胃癌症例の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
膦実質CT 値比率と膦頭十二指腸切除術後膦液瘻との関連性の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

村上耕一郎, 山田篤史, 田中久富, 仲 成幸, 龍田 健, 小玉正智, 谷 徹, 谷 眞至  
腹腔鏡手術時のポート位置をシミュレートできるVR ソフトウェアの開発—非典型例を中心とした経過報告—  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 前平博充, 飯田洋也, 谷 眞至  
当院における腹臥位胸腔鏡下食道切除術の定型化に向けた上縦隔郭清の工夫  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

徳田 彩, 三宅 亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至  
予後因子としての大腸癌先進部の癌細胞におけるFAP 発現の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

全 有美, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当院におけるS状結腸捻転症12例の治療方針の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当院における下部直腸手術に対するTaTME の現状と将来展望  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
大腸癌高リンパ節転移株の樹立とリンパ節転移関連分子の解明  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 三宅 亨, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至  
99mTc-GSA シンチグラフィとAZE Virtual Place 融合画像を用いた肝予備能評価  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

新田信人, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 谷 眞至  
病理学的粘膜炎下層浸潤大腸癌におけるリンパ節転移の危険因子の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

田中肖吾, 上野昌樹, 飯田洋也, 海堀昌樹, 野見武男, 廣川文鋭, 生駒久視, 中居卓也, 江口英利, 久保正二  
フレイルが高齢者肝切除術後合併症に及ぼす影響に関する多施設共同研究  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年11月, 鹿児島

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹, 清水智治, 谷 眞至  
腹腔内リキッドバイオプシーを利用した消化器癌治療手術後の再発予見  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹, 三宅 亨, 清水智治, 仲 成幸, 谷 徹, 谷 眞至  
肝切除における新規エネルギーデバイス(Acrosurg.)の有用性  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

仲 成幸, 谷 徹, 谷 総一郎, 山田篤史, 児玉泰一, 東田宏明, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至  
マイクロ波手術支援デバイスの開発と臨床応用—開発の経過と今後の展開—  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

村本圭史

胃癌術後縫合不全による膵液瘻に伴う脾仮性動脈瘤に対しStent Graftが有用であった1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

前川 毅

肝転移で発見された回腸原発神経内分泌腫瘍の1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

永井 望

鼠径ヘルニア嚢内に発生した盲腸癌同時性大網転移の1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

園田寛道, 油木純一, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 清水智治, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也,  
山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至  
術前化学放射線療法により完全奏効が得られた局所進行直腸扁平上皮癌の2例  
第16回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2018年7月, 神戸

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 河合由紀, 寺本晃治, 住本秀敏, 園田文乃, 園田寛道, 醍醐弥太郎,  
谷 眞至  
胃癌腹膜転移発症とCD44 陽性癌幹細胞様細胞との関係について  
第16回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2018年7月, 神戸

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 谷 眞至  
膵体尾部切除における至適ステープラカートリッジの選択  
第45回 日本膵切研究会, 2018年8月, 札幌

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 安川大貴, 谷 眞至  
膵癌術後, 予後予測因子としての術前腫瘍マーカー陽性率の有用性  
第45回 日本膵切研究会, 2018年8月, 札幌

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 三宅 亨, 清水智治, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹,  
富田 香, 山本 寛, 醍醐弥太郎, 谷 眞至  
進行胃癌治療手術とadjuvant HIPECの治療効果  
日本ハイパーサーミア学会第35回大会, 2018年8月, 福井

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 谷 総一郎, 松永隆志, 森 治樹, 富田 香, 飯田洋也, 北村直美,  
三宅 亨, 清水智治, 醍醐弥太郎, 谷 眞至  
HIPECの抗腫瘍機構について  
日本ハイパーサーミア学会第35回大会, 2018年8月, 福井

赤堀浩也, 飯田洋也, 森 治樹, 前平博充, 仲 成幸, 谷 眞至  
遠位胆管癌の術後肝転移に対して, 化学療法後に肝切除を施行した1例  
第54回 日本胆道学会学術集会, 2018年9月, 千葉



飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 安川大貴, 北村直美, 谷 眞至  
膵頭十二指腸切除術前の胆道ドレナージが栄養状態と手術部位感染に及ぼす影響  
第54回 日本胆道学会学術集会, 2018年9月, 千葉

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 稲富 理, 久津見 弘, 安藤 朗, 谷 眞至  
広範な神経周囲浸潤を伴った遠位胆管原発粘液癌の1例  
第54回 日本胆道学会学術集会, 2018年9月, 千葉

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 三宅 亨, 生田大二, 徳田 彩, 園田寛道, 清水智治,  
日片英治, 醍醐弥太郎, 谷 眞至  
進行胃癌治療手術後の再発を予測する腹腔内リキッドバイオプシー  
第77回 日本癌学会学術総会, 2018年, 大阪

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 村田 聡, 向所賢一, 谷 眞至  
大腸癌高リンパ節転移株の樹立とリンパ節転移関連分子の解明  
第77回 日本癌学会学術総会, 2018年9月, 大阪

徳田 彩, 三宅 亨, 生田大二, 村田 聡, 向所賢一, 前平博充, 森 治樹, 谷 眞至  
マウス大腸癌細胞株由来エクソソームの腹膜播種抑制機構  
第77回 日本癌学会学術総会, 2018年9月, 大阪

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 安川大貴, 松永隆志, 村本圭史, 塩見一徳, 谷 眞至  
当科における腹腔鏡下系統的肝切除の経験とその定型化  
第31回 近畿内視鏡外科研究会, 2018年9月, 神戸

園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至  
Stage II-III 大腸癌における術前術後血清CEA 測定的重要性  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

森 治樹, 三宅 亨, 生田大二, 徳田 彩, 前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至  
大腸癌肝転移における腫瘍の進展形態と予後の解析  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

飯田洋也, 野田哲史, 大崎理英, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 藤本剛英, 平 大樹, 森田真也, 谷 眞至, 安藤 朗,  
寺田智祐  
肝細胞癌におけるソラフェニブ血中濃度モニタリングの有用性  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

貝田佐知子, Qin Changyuan, Dang Khiem, Horacio Cabral, 仲 成幸, 清水智治, 谷 眞至  
MR 造影剤と蛍光色素を含む高分子ポリマーによる可視化DDS の開発  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

前平博充, 三宅 亨, 生田大二, 徳田 彩, 森 治樹, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 貝田佐知子, 植木智之,  
山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
膵癌における腫瘍内間質  $\alpha$  SMA 発現の臨床的意義  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 赤堀浩也, 飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 三宅 亨,  
園田寛道, 北村直美, 谷 総一郎, 清水智治, 谷 眞至  
胃癌や膵癌治療手術後の再発バイオマーカーとしての腹腔内リキッドバイオプシー  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 谷 眞至

胃癌手術におけるCY 判定における細胞培養の有用性に関する検討  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
胃癌に対する幽門側胃切除術Billroth-I法再建後の残胃形態と残胃容積, 術後合併症, 栄養状態との関係  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

北村直美, 清水智治, 田畑貴久, 飯田洋也, 三宅 亨, 貝田佐知子, 植木智之, 園田寛道, 山口 剛, 前平博充, 谷 眞至, 江口 豊

癌患者における緊急手術の検討  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
待機的腹腔鏡下大腸手術術後におけるアセトアミノフェン定期静脈投与の鎮痛効果に関する後方視的検討  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 北村直美, 竹林克士, 前平博充, 谷 総一郎, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

大腸癌術後の予後に関するプロカルシトニンの意義  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
Stage 2-3大腸癌におけるTumor locationの意義

日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 飯田洋也, 前平博充, 谷 眞至  
複数のがん遺伝子増幅による胃癌切除後腹腔内洗浄液中の遊離癌細胞検出に関する検討

日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 石田光明, 三宅 亨, 北村直美, 植木智之, 飯田洋也, 谷 総一郎, 前平博充, 生田大二, 徳田 彩, 寺田好孝, 森 治樹, 園田寛道, 清水智治, 九嶋亮治, 谷 眞至

胃癌CD44陽性cancer stem-like cellと腹膜再発との関連  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

飯田洋也, 清水智治, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 谷 眞至

活動量変化パターンによる, 肝切除後合併症予測  
日本消化器関連学会週間(JDDW 2018), 2018年11月, 神戸

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当院における年齢層別化で比較した潰瘍性大腸炎手術症例の治療成績

第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 大田裕之, 日片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
当科におけるpStage II-III 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の成績と問題点

第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
下部直腸癌術後難治性直腸尿道瘻に対し, 経肛門括約筋的に直腸尿道瘻閉鎖術を施行した1例

第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 竹林克士, 村本圭史, 前川 毅, 全 有美, 島田加奈, 清水智治, 谷 眞至  
胃癌に対する幽門側胃切除術Billroth-I 法再建後の残胃の形態分類, 容積測定を試みと術後合併症, 栄養状態との関係  
第48回 胃外科・術後障害研究会, 2018年11月, 金沢

北村直美, 谷 眞至, 清水智治, 宮武秀光, 藤井恵美, 水野隆芳, 今宿康彦, 山根哲信, 辻田靖之, 江口 豊  
癌患者に対する緊急手術の検討  
第46回 日本救急医学会総会学術集会, 2018年11月, 横浜

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 清水智治, 園田寛道, 飯田洋也, 河合由紀, 三宅 亨,  
植木智之, 前平博充, 谷 総一郎, 松永隆志, 谷 眞至  
腹腔鏡下スリーブ状胃切除後減量効果予測因子の検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

飯田洋也, 海堀昌樹, 野田剛広, 廣川文鋭, 松本正孝, 田中肖吾, 石崎守彦, 江口英利, 井上義博, 中居卓也,  
谷 眞至, 久保正二  
切除不能大腸がん肝転移症例に対するConversionSurgeryの検討(多施設共同症例検討)  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 三宅 亨, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至  
バイポーラ型ラジオ波電極を用いた腹腔鏡下肝切除における肝実質切離(SynchronousAblativeTechnique)  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛,  
谷 眞至  
左側閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後腹腔鏡手術の有用性  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 谷 総一郎, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹, 生田大二,  
三宅 亨, 富田 香, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
難治性癌性腹水に対するHIPEC治療  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
周術期管理におけるアセトアミノフェン定期静脈投与に関する後方視的検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

植木智之, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子,  
飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
側端吻合によるDST導入後の周術期成績の検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 竹林克士, 松永隆志, 谷 総一郎, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 園田寛道,  
清水智治, 谷 眞至  
根治切除術を施行しえた食道胃接合部癌の臨床病理学的検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

塩見一徳, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛,  
谷 眞至  
Crohn病による痔瘻罹患期間6ヶ月で肛門管癌と診断し, 手術を施行した1例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美,  
前平博充, 谷 眞至  
胃癌手術における腹腔内洗浄液細胞培養の有用性に関する検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

松永隆志, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 総一郎, 飯田洋也, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 森 治樹, 前平博充, 北村直美, 村本圭史, 谷 眞至  
急速な肝不全, 腎不全の進行を伴った血管内大細胞型B細胞性リンパ腫(intravascular large Bcell lymphoma : IVLBL)の1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

北村美奈, 森 毅, 富田 香, 加藤久尚, 坂井幸子, 河合由紀, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
乳腺low-gradeadenosquamouscarcinoma(LGASC)の1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

梶原由紀子, 富田 香, 河合由紀, 北村美奈, 辰巳征浩, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至  
巨大腫瘍を形成したEncapsulatedpapillarycarcinomaの1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

安田登摩, 安川大貴, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 塩見一徳, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 前平博充, 竹林克士, 谷 眞至

正中仙骨動脈からの術後出血に対し, 血管内治療が奏効した直腸NETの1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

塩見尚礼, 清水智治, 東口貴之, 長門 優, 三宅 亨, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 清水智治, 下松谷 匠, 谷 眞至

下部消化管穿孔に対する急性汎発性腹膜炎手術における創閉鎖の現況—関連病院(SHISA)におけるアンケート調査結果—

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

飯田洋也, 上野昌樹, 井上善博, 竹村茂一, 生駒久視, 野見武男, 石崎守彦, 前平博充, 廣川文鋭, 田中肖吾, 北東大督, 松井康輔, 谷 眞至, 海堀昌樹, 久保正二

肝胆膵手術後Aeromonashydrophila検出例の検討

第31回 日本外科感染症学会学術集会, 2018年11月, 大阪

寺田好孝, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 前平博充, 谷 総一郎, 森 治樹, 安川大貴, 谷 眞至

大腸癌手術における創感染予防と費用低減を考慮した縫合糸の選択

第31回 日本外科感染症学会学術集会, 2018年11月, 大阪

貝田佐知子, 村上陽子, 山口 剛, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
腹腔鏡下胃切除術における術後早期肝障害と肝が投影される胃の体積との関連

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 安川大貴, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至

バイポーラ型ラジオ波電極を用いたSynchronousAblativeTechniqueによる腹腔鏡下肝切除

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 飯田洋也, 坂井幸子, 北村直美, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 谷 眞至

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の減量効果良好群と不良群の比較検討

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

植木智之, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
当院における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の検討

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

## 教室業績

---

北村直美, 飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至, 田畑貴久

腹腔鏡下手術における安全な腹直筋鞘ブロック

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 三宅 亨, 園田寛道, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至

腹腔鏡下ALPPS手術後にOutflowblockを来した1例

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

肥満症例における腹腔鏡下結腸癌手術の術後短期成績

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

安川大貴, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 塩見一徳, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 前平博充, 竹林克士, 谷 眞至

高齢大腸癌患者に対する腹腔鏡手術の有用性に関する検討

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 谷 眞至

定型化に向けた腹臥位胸腔鏡下食道切除の手術手技—反回神経周囲リンパ節郭清

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 竹林克士, 山口 剛, 谷 総一郎, 清水智治, 安川大貴, 村本圭史, 谷 眞至

高度肥満症例に対して腹腔鏡下脾温存腓尾側切除術(Warshaw手術)を施行した隣神経内分泌腫瘍の1例

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

三宅 亨, 生田大二, 清水智治, 園田寛道, 向所賢一, 徳田 彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

原発性大腸癌と転移リンパ節における間質線維化の臨床的意義

第31回 日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2018年12月, 東京

村田 聡, 下地みゆき, Sihombing Michael, 北村直美, 植木智之, 小島正継, 竹林克士, 児玉泰一, 生田大二, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至

担瘤生体内で機能維持できる腫瘍特異的CTL 免疫細胞療法

第31回 日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2018年12月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

当科で術前化学療法を行なった進行直腸癌の治療成績

第90回 大腸癌研究会, 2019年1月, 神戸

長澤芳信, 三宅 亨, 森 治樹, 安川大貴, 徳田 彩, 前平博充, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至

T1直腸癌手術成績に術前内視鏡治療が与える影響

第90回 大腸癌研究会, 2019年1月, 神戸

飯田洋也, 谷 眞至, 竹林克士, 安川大貴, 谷 総一郎, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 栗原美香, 馬場重樹, 佐々木雅也

肝切除術前シンバイオティクスが術後感染性合併症に及ぼす影響

第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2019年2月, 東京

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 安川大貴, 谷 総一郎, 清水智治, 馬場重樹, 佐々木雅也, 谷 眞至

当院における胸部食道癌周術期栄養管理

第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2019年2月, 東京

安川大貴, 飯田洋也, 竹林克士, 谷 総一郎, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 栗原美香, 馬場重樹, 佐々木雅也, 谷 眞至

膵頭十二指腸切除術前の胆道ドレナージによる栄養状態の変化と術後感染性合併症の検討

第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2019年2月, 東京

谷 総一郎, 飯田洋也, 竹林克士, 安川大貴, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 栗原美香, 馬場重樹, 佐々木雅也, 谷 眞至

肝切除術前のフレイルが術後短期成績に及ぼす影響

第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2019年2月, 東京

清水智治, 河村光子, 河田優子, 片山育子, 倉田順子, 八軒美由紀, 谷 眞至

回腸人工肛門閉鎖術後創に対する局所陰圧閉鎖療法の使用経験

第36回 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 2019年2月, 大阪

貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

当院におけるロボット支援腹腔鏡下胃切除術と腹腔鏡下胃切除術の検討

第91回 日本胃癌学会総会, 2019年2月, 沼津

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 飯田洋也, 谷 眞至

複数のがん遺伝子増幅による胃癌切除後腹腔内洗浄液中の遊離癌細胞検出

第91回 日本胃癌学会総会, 2019年2月, 沼津

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 安川大貴, 清水智治, 九嶋亮治, 醍醐弥太郎, 谷 眞至

腹膜播種による難治性腹水に対する腹腔内温熱化学療法

第91回 日本胃癌学会総会, 2019年2月, 沼津

塩見一徳, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 谷 総一郎, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

移動盲腸による続発性小腸軸捻転再発に対する1手術例

第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

左側閉塞性大腸癌に対するステント留置後腹腔鏡手術の有用性

第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 安川大貴, 前平博充, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

胃悪性腫瘍穿孔症例の検討

第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

北村直美, 前平博充, 貝田佐知子, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 田畑貴久, 江口 豊, 谷 眞至

癌患者における緊急手術の特徴

第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

森 治樹, 三宅 亨, 貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

移動盲腸による続発性小腸軸捻転再発に対する1手術例

第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

## 滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）

---

---

### 【著書】

鈴木友彰

第7章冠動脈手術(1)ーグラフト採取法 6ハーモニックスカルペルによる右胃大網動脈採取法  
心臓・大動脈外科手術 基本・コツ・勘所 小坂眞一・編. 医学書院, 135-137, 2018

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Asai T, Suzuki T, Kinoshita T.

The proximalization of the arch anastomosis.

J Vis Surg. 27; 4: 83, 2018

Hachiro K, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Surgical Repair of an Arteriovenous Fistula in the Posterior Wall of the Right Common Iliac Vein.

Annals of Vascular Diseases. 25; 11(1): 127-129, 2018

Suzuki T, Asai T, Kinoshita T.

Predictors for Late Reoperation After Surgical Repair of Acute Type A Aortic Dissection.

The Annals of Thoracic Surgery.1. pii: S0003-4975(18): 30258-3, 2018

Enomoto M, Kinoshita T, Kondo Y, Suzuki T, Asai T.

Cardiac Surgery Using Hypothermic Circulatory Arrest in a Case of Essential Thrombocythemia.

Ann Thorac Cardiovasc Surg. doi: 10.5761/atcs.cr.17-00241. [Epub ahead of print], 2018

Sakakura R, Asai T, Suzuki T, Kinoshita T, Enomoto M, Kondo Y, Shiraishi S.

Outcomes after aortic valve replacement for aortic valve stenosis, with or without concomitant coronary artery bypass grafting.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. doi: 10.1007/s11748-018-1053-4. [Epub ahead of print], 2018

Suzuki T, Asai T, Kinoshita T.

Emergency surgery for acute type A aortic dissection in octogenarians without patient selection.

Ann Thorac Surg.pii: S0003-4975(18): 31658-8, 2018

Suzuki T.

Optimal use of arterial grafts during current coronary artery bypass surgery.

Surg Today. 48(3): 264-273, 2018

〈和文学術論文〉

榎本匡秀, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

経皮的冠動脈形成術後急速に生じた左房内腔狭小化の1例(原著論文)

日本心臓血管外科学会雑誌 47(3): 118-122, 2018

近藤康生, 高島範之, 鈴木友彰, 浅井 徹

AVR術後に発症した遅延発症型ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)の1例(原著論文)

日本心臓血管外科学会雑誌 47(3): 113-117, 2018

近藤康生, 榎本匡秀, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

僧帽弁閉鎖不全症と冠状動脈病変を合併した成人期三心房心の1例

胸部外科 71(8): 610-614, 2018

【学会発表】

〈国際学会〉

Asai T.

Valve remodeling in degenerative mitral regurgitation.

MICS2018, 2018 Jun, Rome

Asai T.

Butterfly technique.

MICS2018, 2018 Jun, Romei

〈全国学会・地方会・その他〉

寺田真也, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 榎本匡秀, 近藤康生

冠動脈バイパス術における術中蛍光イメージングの有用性

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

鈴木友彰

3年間で5回再手術となり, 最終的にトランスロケーションした症例

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2018, 2018年4月, 大阪

浅井 徹

CABGのエコーで何がわかるか?

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2018, 2018年4月, 大阪

浅井 徹

「Degenerative Mitral Diseaseの病態変化と僧帽弁形成術」

福岡心臓外科ナイトフォーラム, 2018年6月, 福岡

浅井 徹

「至適サイズの弁を植え込むAVR」

heart valve expertise course—Advanced編一, 2018年6月, 東京

鈴木友彰

Overview of Current Mitral Valve Repair Techniques.

Edwards Mitral&Tricuspid Valve Repair Summit 2018, 2018年6月, 大阪

浅井 徹

AVRのMy Technique

TORANO ANA, 2018年6月, 東京

榎本匡秀, 木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰

右胃大網動脈グラフトにおけるflow competitionの予測因子

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山

鈴木友彰, 浅井 徹, 木下 武

VSPに対する右室アプローチダブルパッチ法

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山

鉢呂康平, 藤野 晋, 鈴木友彰, 浅井 徹

急性心筋梗塞に伴う心室中隔穿孔に対する治療介入

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山

木下 武

「20 Years of Intraoperative Graft Verification: from Hypothesis to Facts」

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山



宮下史寛, 西村 修, 松林景二

冠動脈バイパス術後6日目に発症した脳梗塞の1例

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山

脇坂穂高, 鉢呂康平, 住井陽介, 近藤康生, 榎本匡秀, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

右鎖骨下動脈閉塞を伴う大動脈炎症候群に心拍動下 冠動脈バイパス術, 大動脈—右腋窩動脈バイパス術を施行した1例

第23回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2018年7月, 和歌山

榎本匡秀, 木下 武, 脇坂穂高, 鉢呂康平, 住井陽介, 近藤康生, 藤野 晋, 鈴木友彰, 浅井 徹

僧帽弁位の活動期感染性心内膜炎における病変の複雑さの定量化

第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

木下 武, 吉田 均, 鈴木友彰, 浅井 徹

弓部大動脈置換術における下半身循環停止時の順行性選択的脳還流による脊椎還流

第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

高島範之, 南館直志, 鈴木友彰, 浅井 徹

ASに対するSurgical AVRの中短期成績からTAVI適応を考える

第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

鈴木友彰

急性A型解離手術をシンプルにする

CCT2018 Surgical, 2018年10月, 神戸

鉢呂康平

心室中隔穿孔に対する右室アプローチダブルパッチ法

第32回 日本冠疾患学会学術集会, 2018年11月, 熊本

鈴木友彰

「血管外科領域における手技の工夫—弓部置換術3時間を標準にするために—」

第33回 日本血管外科学会近畿地方会, 2019年3月, 奈良

## 滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）

---

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Hayashi K, Motoishi M, Horimoto K, Sawai S, Hanaoka J.

Left upper division segmentectomy with a simultaneous displaced bronchus and pulmonary arteriovenous anomalies: a case report.

Journal of Cardiothoracic Surgery. 13(1): 40, 2018

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Igarashi T, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Ishida M.

Diagnosis of thoracic endometriosis with immunohistochemistry.

Thorac Dis. 10(6): 3468-3472, 2018

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Igarashi T, Kataoka Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K.

A risk score to predict postoperative complications after lobectomy in elderly lung cancer patients.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 66(9): 537-542, 2018 PMID: 29956048

- Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Hanaoka J.  
Hemothorax after emphysematous bullectomy using a linear staple device with bioabsorbable polyglycolic acid felt.  
Journal of Surgical Case Reports. 10: 1-3, 2018
- Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Hanaoka J.  
Adjacent schwannomas originating from intercostal and sympathetic nerves.  
BMJ Case Reports, 2018 doi:10.1136
- Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Hanaoka J.  
Insertion of a Dumon Y-stent via a permanent tracheostoma without using a rigid bronchoscope.  
BMJ Case Reports, 11: e226500, 2018
- Nagatani Y, Takahashi M, Ikeda M, Nitta N, Miyata K, Hanaoka J, Nakano Y, Matsuo S, Hamada Y, Sonoda A, Otani H, Ushio N, Ohta S, Murakami Y, Kaneko C, Inoue A, Kida T, Murata K.  
Sub-solid nodule detectability in seven observers of seventy-nine clinical cases: comparison between ultra-low-dose chest digital tomosynthesis with iterative reconstruction and chest radiography by receiver-operating characteristics analysis.  
European Journal of Radiology. 107: 166-174, 2018
- Okamoto K, Ichinose M, Hanaoka J.  
Traumatic hemothorax due to chance fracture requiring emergency surgical management: A report of two cases.  
SAGE Open Medical Case Reports. 6: 1-4, 2018
- Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Yoden M.  
Patient Survival after Surgical Management in Intrathoracic Pseudomyxoma peritonei.  
Annals of Surgical Oncology January. 26(1): 238-243, 2019
- Okamoto K, Hanaoka J.  
Surgical outcome of combined subsegmentectomy in the right upper lobe for GGO -dominant early stage lung cancer: Analysis of 7 cases.  
Respiratory Medicine Case Reports. 26: 123-125, 2019
- Hayashi K, Hanaoka J, Ohshio Y, Igarashi T.  
Chylothorax secondary to a pleuroperitoneal communicateon and chylous ascites after pancreatic resection.  
Journal of Surgical Case Reports. 1: 1-4, 2019
- 〈和文学術論文〉  
岡本圭伍, 一瀬増太郎  
EWS長期留置後に抜去困難に陥った1例  
気管支学 40 : 232-235, 2018
- 岡本圭伍, 花岡 淳  
胸腔鏡下複合亜区域切除術の検討  
胸部外科 1 : 45-49, 2019
- 岡本圭伍, 林 一喜, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳  
術前精神疾患を併存する呼吸器外科手術症例の検討  
日本呼吸器外科学会雑誌 33(2) : 122-126, 2019

**【学会発表】**

〈国際学会〉

Kataoka Y, Ohshio Y, Igarashi T, Teramoto K, Hanaoka J.

OVEREXPRESSION OF GALECTIN-3 IN CANCER-ASSOCIATED FIBROBLASTS SERVES AS A PROGNOSTIC FACTOR IN INVASIVE PULMONARY ADENOCARCOMA.

THE 26th ESTS Meeting, 2018, Ljubljana

〈全国学会・地方会・その他〉

五十嵐知之, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口庸, 大塩恭彦, 寺本晃治, 花岡淳  
肺がん手術における術後肺炎の危険因子の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

林一喜, 花岡淳, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 川口庸

当院における先天性嚢胞性腺腫様奇形の治療経験と今後

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

大塩恭彦, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡淳

胸腔鏡手術での肺末梢小型肺癌の同定におけるICG蛍光内視鏡システムの応用

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

川口庸, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡淳

cN2症例における, リンパ節転移の有無と画像・臨床因子の関連

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

白鳥琢也, 藤田琢也

若年自然気胸に対する補強材付き自動縫合器の有用性の検討

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

福永健太郎, 入山朋子, 加藤悠人, 河島暁, 村山恒峻, 柏木裕美子, 内田泰樹, 樋上雄一, 山口将史, 長尾大志,  
橋本雅之, 五十嵐知之, 花岡淳, 中野恭幸

ニンテダニブ休薬後に結節影が増大した特発性肺線維症合併非小細胞肺癌の1例

第58回 日本呼吸器学会学術講演会, 2018年4月, 大阪

白鳥琢也(公立甲賀病院), 藤田琢也

若年自然気胸に対する補強材付き自動縫合器の有用性の検討

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

片岡瑛子, 大塩恭彦, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口庸, 五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡淳

肺がんの低酸素応答による浸潤のメカニズム

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

川口庸, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡淳, 山中晃

異なる手術手順で行った胸腔鏡下S3+舌区域切除の2例

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡淳, 澤井聡

限局性胸膜癒着または隣接臓器浸潤に対する術前評価: 超低線量4次元CTの有用性

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

賀来良輔, 林一喜, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 花岡淳

当科におけるCOPD合併肺癌に対する肺切除術の検討

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

花岡 淳, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦  
原発性肺癌術後の二次性肺癌症例に対する外科治療の意義  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

五十嵐知之, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 寺本晃治, 大塩恭彦, 花岡 淳  
IV期非小細胞肺癌に対する肺切除術の役割  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

岡本圭伍, 林 一喜, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
術前精神疾患を併存する呼吸器外科手術症例の検討  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

一瀬増太郎, 上田桂子, 岡本圭伍, 味水 瞳, 森川 昇, 中西陽祐, 坂口 才, 土谷美知子, 長坂行雄  
高度気道狭窄に対し挿入した自己拡張型金属ステントの逸脱により, 起立性低血圧を生じた1例  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

大塩恭彦, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
肺癌患者の血漿cfDNA濃度とCT値を利用した腫瘍仮想重量との関連についての検討  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

内田泰樹, 加藤悠人, 村山恒峻, 河島 暁, 松尾裕美子, 行村瑠里子, 仲川宏昭, 樋上雄一, 福永健太郎, 黄瀬大輔,  
山口将史, 大澤 真, 中野恭幸, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
アレルギー性気管支肺真菌症との合併との鑑別に苦慮した気管支狭窄を伴う気管支閉鎖の1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

岡本圭伍, 林 一喜, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
肺葉切除後の気管支狭窄に対して気管支鏡下に拡張術を施行した1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

大塩恭彦, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
胸腔鏡手術時の病変同定におけるICG内視鏡の術中ナビゲーションとしての可能性  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

川口 庸, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 山中 晃  
気管支鏡下処置で気管支壁を損傷した2例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

五十嵐知之, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩恭彦, 寺本晃治, 河島 暁, 松尾裕美子,  
行村瑠里子, 内田泰樹, 樋上雄一, 福永健太郎, 山口将史, 大澤 真, 中野恭幸, 花岡 淳  
内視鏡下に摘出した気管分岐部下中縦隔腫瘍の2例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

賀来良輔, 林 一喜, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
肺結核合併小型肺癌に対して根治的肺切除術を施行した症例  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

白鳥琢也, 藤田琢也  
肺癌と非結核性抗酸菌症の合併症例の検討  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
肺部分切除後の経過観察中に壊死型虚血性腸炎を発症し救命できた1例  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

五十嵐知之, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩恭彦, 寺本晃治, 花岡 淳

肺尖部肺癌術後乳び胸に対して, リビオドールによる鼠径リンパ節造影を施行した1例  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

花岡 淳, 五十嵐知之, 大内政嗣

結核性気管狭窄に対してバルーン拡張術後を施行した1例  
第93回 日本結核病学会総会, 2018年6月, 大阪

岡本圭伍, 余田 誠, 林 一喜, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

術後再発に対してTKI治療を行った2症例  
Lung Cancer Meeting for Thoracic Surgeons, 2018年8月, 京都

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

椎体先行処理をおこなった椎体合併右上葉切除の症例  
第57回 近江呼吸器疾患研究会, 2018年9月, 京都

片岡瑛子, 藤田琢也, 花岡 淳

非小細胞肺癌におけるCD271の発現意義  
第57回 近江呼吸器疾患研究会, 2018年9月, 京都

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳

肺腺癌における仮想腫瘍重量と臨床病理学的因子との関連についての検討  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 五十嵐知之, 大塩恭彦

Extended sleeve lobectomyを行った原発性肺癌手術症例の検討  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

岡本圭伍, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

肺切除患者の周術期におけるFeNOを用いた気道炎症の定量化と術後アウトカムの検討  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

川口 庸, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

切除可能な臨床病期3B期非小細胞肺癌に対する手術療法  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

片岡瑛子, 五十嵐知之, 藤田琢也, 花岡 淳

非小細胞肺癌におけるCD271の発現意義  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

花岡 淳

晴嵐荘から学んだこと  
国立病院機構茨城東病院院内学会, 2018年10月, ひたちなか

花岡 淳

肺癌の外科的治療—最近の話題—  
茨城県北胸部疾患フォーラム, 2018年10月, ひたちなか

花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 五十嵐知之, 大塩恭彦

末梢発生cT1N0M0非小細胞肺癌に対する区域切除の遠隔期成績  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳  
術前化学療法が奏功し右肺全摘術を回避しえたcT4局所進行肺腺癌の1例  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

川口 庸, 花岡 淳  
イレウスを有する肺癌患者に対する分子標的治療薬の使用経験  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
肺腺癌手術症例における血漿cfDNA濃度と仮想腫瘍重量との関連についての検討  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

川口 庸, 花岡 淳  
免疫チェックポイント阻害薬による有害事象を発生した3例の検討  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

大塩恭彦, 林 一喜, 白鳥琢也, 大塩麻友美, 花岡 淳  
胸腔鏡下肺切除術におけるロボティック硬性鏡コントロールシステムSOLOassist IIの使用経験  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

花岡 淳  
臨床現場の免疫療法「免疫チェックポイント阻害剤」  
第10回 滋賀県がん医療フォーラム, 2019年1月, 大津

花岡 淳  
肺癌の外科治療  
市民公開講座 肺がん治療の最前線!!～みんなで学ぼう～in京都, 2019年3月, 京都

## 滋賀医科大学 総合外科学講座

### 【著書】

辻川知之, 小島正継  
インフリキシマブ投与後も徐々に悪化し手術を要した高齢者腸管ペーチェット病(疑い)の1例  
腸管ペーチェット病のすべてがわかる診療ハンドブック 190-191, 2018(株式会社先端医学社)

朝日信一, 南山啓吾, 宮城暢子, 坂野祐司, 本田富得, 河合 実, 瀬戸山 博, 目片英治  
がん性疼痛緩和パスによるチーム医療の見える化  
医薬ジャーナル 54(11): 133-139, 2018(医薬ジャーナル社)

### 【論文発表】

〈英文学術論文〉

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T.  
In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co- stimulation in vitro.  
Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明  
樹脂製手術器具の開発 続報  
第118回 日本外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
MSI検査を施行した大腸癌症例の検討  
第118回 日本外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

Inoue A, Ohta S, Furukawa A, Kojima M, Akabori H, Ohta H, Mekata E, Saotome T, Tsujikawa T, Murata K.  
MR Imaging of Acute Abdomen Correlated with CT Imaging:A Pictorial Essay.  
The 77th Annual Meeting of the Japan Radiological Society, 2018年4月, 横浜

本原功二郎, 菊地克久, 中村 陽, 森 幹士  
ビスフォスフォネート製剤長期服用者に生じた非定型尺骨骨折の1例  
第130回 中部日本整形外科災害外科学会, 2018年4月, 愛媛

本原功二郎, 菊地克久, 中村 陽, 森 幹士  
ビスフォスフォネート製剤長期服用者に生じた非定型尺骨骨折(自験例を含めた過去の症例報告の考察)  
第61回 日本手外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

井上明星, 大田信一, 茶谷祥平, 神谷 梓, 関 晃吉, 永野冬樹, 佐藤滋高, 村田喜代史, 小島正継, 赤堀浩也,  
太田裕之, 岡内 博, 目片英治, 辻川知之, 飯田洋也, 谷 眞至, 太田えり, 森谷鈴子, 九嶋亮治  
腹部悪性中皮腫の2例  
第32回 日本腹部放射線学会, 2018年5月, 神奈川

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 谷 眞至  
リンチ症候群のスクリーニング目的としてMSI検査を施行した大腸癌症例の検討  
第24回 日本家族性腫瘍学会学術集会, 2018年6月, 神戸

井上明星, 田中克典, 星野絵美, 奥野計寿人, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治  
小児腹痛患者に対するMRI診断の初期経験  
第54回 日本小児放射線学会学術集会, 2018年6月, 東京

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明  
カーボン樹脂製手術器具の開発 続報  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治  
閉塞性大腸癌に対してステント留置後に切除術を施行した症例の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継  
大腸癌サルベージライン化学療法に関する考察  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

小島正継, 太田裕之, 岡内 博, 赤堀浩也, 目片英治  
十二指腸癌を合併したLynch症候群の1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

高山 悟, 横田 望, 杉本俊郎, 小島正継, 神田暁博, 辻川知之, 國府 拓, 藤本徳毅  
両下肢の浮腫から診断に至った印環細胞癌の1例  
日本皮膚科学会第457回京滋地方会, 2018年9月, 大津

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 瀬戸山 博, 茶谷元晴, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦,  
仲 成幸, 辻川知之, 目片英治  
2次化学療法後にR0切除が得られた局所進行膵がんの2切除例  
第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

井上明星, 高木 海, 新田哲久, 全 有美, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治, 五月女隆男  
急性虫垂炎のMRI診断における拡散強調像とADC値の臨床的意義  
第47回 断層映像研究会, 2018年10月, 北海道

鶴飼佳子, 高山 悟, 湯上幸子, 國溪 郁, 続宗敬子, 岡本美佳, 向井領子, 畠中真由, 藤野能久, 郭 翔志,  
小島正継, 太田裕之, 目片英治, 藤本徳毅  
手術中に生じたDTI(deep tissue injury)の3症例～その後の当院での取り組みについて～  
第69回 日本皮膚科学会中部支部学術大会:P-45ポスター:大阪(大阪国際会議場):2018/10/27, 2018年10月, 大阪

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
閉塞性大腸癌に対するステント留置後切除術症例の検討  
第26回 日本消化器関連学会週間(JDDW2018), 2018年11月, 神戸

小森菜津子, 田中妥典, 大西正人, 太田裕之, 井上明星  
The case of remarkable pericardial effusion did not result in definite diagnosis of malignant mesothelioma.  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

朝日信一, 南山啓吾, 長谷川英利, 松井駿亮, 本田富得, 河合 実, 宮城暢子, 堺 恵, 端穂乃花, 村井智絵,  
横山京子, 赤堀浩也, 坂野祐司, 目片英治  
がん性疼痛緩和ユニットパスの評価～アンケート結果から～  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 目片英治  
2次化学療法後にconversion surgeryを施行した局所進行腺がんの2切除例  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

井上明星, 五月女隆男, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 全 有美, 小島正継, 赤堀浩也,  
太田裕之, 目片英治, 田中克典, 星野絵美, 奥野計寿人, 高木 海, 新田哲久, 村田喜代史  
急性虫垂炎のMRI診断—拡散強調像と見かけの拡散係数(ADC)の意義について—  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
当院における大腸穿孔手術症例の臨床学的検討  
第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 目片英治  
手術後にカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)を検出した2例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
敗血症性ショック, DICなどを来し, 術前に診断し得た壊疽性虫垂憩室炎の1例  
第31回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2018年11月, 大阪

奥村法昭, 川崎拓, 菊地克久, 三村朋大, 熊谷康佑, 今井晋二  
リウマトイド因子の変化率と疾患活動性との関係  
第46回 日本関節病学会, 2018年11月, 岡山

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
食後に腹痛と目眩を繰り返し, 腹腔鏡下修復術を施行した左傍十二指腸ヘルニアの1例  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

水田寛郎, 大槻晋士, 神田暁博, 小島正継, 伊藤明彦, 五月女隆男, 目片英治, 辻川知之  
化学療法中に腸管穿孔した単形成上皮向性腸管T細胞リンパ腫の1例  
日本消化器病学会近畿支部第110回例会, 2019年2月, 京都



## 滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座

---

---

### 【論文発表】

〈英文学術論文〉

Tani T, Naka S, Tani S, Shiomi H, Murakami K, Yamada A, Dang KT.

The invention of microwave surgical scissors for seamless coagulation and cutting.

Surgery Today 48(9): 856-864, 2018

Tanaka R, Tani T, Nitta N, Tabata T, Matsutani N, Muraoka S, Yoneyama T, Sanada S.

Pulmonary function diagnosis based on respiratory changes in lung density with dynamic flat-panel detector imaging: An animal-based study.

Investigative Radiology 53(7): 417-423, 2018

Yamada A, Naka S, Nitta N, Morikawa S, Tani T.

A Loop-Shaped Flexible Mechanism for Robotic Needle Steering.

IEEE Robotics and Automation Letters 3(2): 648-655, 2018

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Tani T.

Microwave application to the medical field -Surgery assisting devices and magnetic resonance compatible energy devices-.

2018 Asia-Pacific Microwave Conferenc(APMC 2018), 2018年11月, 京都

Nitta N, Yamada A, Sonoda A, Ota S, Naka S, Morikawa S, Tani T, Murata K.

Dexterity assessment of a novel endovascular snare system based on a loop-formed torque-command wire.

CIRSE 2018, 2018 Sep, Lisbon

Dang TK, Tani T, Naka S, Yamada A, Tani S.

Comparative Study of Novel Microwave Coagulation Surgical Instruments and Currently Commercialized Energy Devices in an Animal Model.

The 7th International Conference on Biomedical Engineering in Vietnam (BME7), 2018 Jun, Ho Chi Minh City

Tani T, Yamada A, Dang TK, Naka S, Tani S, Vinh NQ.

Overview of Our less Invasive Operation System: - Development of Three Dimensional Real-time MR Image Guided Operation System Using Microwave Devices and Relating Technologies -.

The 7th International Conference on Biomedical Engineering in Vietnam (BME7), 2018 Jun, Ho Chi Minh City

Yamada A, Nitta N, Naka S, Dang TK, Morikawa S, Tani T.

Design and Implementation of Loop Shaped Steering Mechanisms for Flexible Needles

The 7th International Conference on Biomedical Engineering in Vietnam (BME7), 2018 Jun, Ho Chi Minh City

Yamada A, Naka S, Dang TK, Morikawa S, Tani T.

Development of a MR-Compatible High Definition Flexible Endoscope for Real-Time MR Image-Guided Microwave Ablation.

The 7th International Conference on Biomedical Engineering in Vietnam (BME7), 2018 Jun, Ho Chi Minh City

〈全国学会・地方会・その他〉

山田篤史

革新的医療機器・システム研究開発講座における弾性機構の研究

日本ロボット学会ソフトロボティクス研究専門委員会第5回研究会, 2019年3月, 名古屋

谷 徹, 田中利恵, 真田 茂, 田畑貴久, 新田哲久, 島田二郎, 山田篤史, 谷 総一郎, Dang Tran Kheim, 米山 努, 村岡慎太郎

デジタル胸部X線写真情報を利用した肺血流や心肺機能の可視化

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

山田篤史, 新田哲久, 仲 成幸, 谷 徹

ループ型トルクワイヤを用いた血管内異物除去用スネアシステムの操作性評価

第27回 日本コンピュータ外科学会大会, 2018年11月, 奈良

谷 徹, 村田 聡, 竹林克士, 山田篤史, Dang Tran Kheim, 仲 成幸, 谷 眞至

予後改善を目指す鏡視下, ロボット手術法のコンセプト—がん手術におけるリンパ網シーリングとエネルギーデバイス選択—

第56回 日本人工臓器学会大会, 2018年11月, 東京

谷 徹

胸部X線動態画像因子と循環系パラメータの相関性検討(動物実験)動態撮影に基づく手術適用評価, 他

X線動態画像セミナー, 2018年10月, 東京

谷 徹, 山田篤史, Dang Tran Khiem, 仲 成幸, 谷 総一郎

ハサミ型マイクロ波器具による血管シーリング過程の病理学的検討

第37回 Microwave Surgery研究会, 2018年8月, 東京

Nitta N, Yamada A, Watanabe S, Sonoda A, Inoue A, Takaki K, Otha S, Naka S, Morikawa S, Tani T, Murata K  
Development of a Steerable Transjugular Intrahepatic Portosystemic Shunt (TIPS) Needle Based on a Loop-Shaped Flexible Mechanism.

第77回 日本医学放射線学会総会, 2018年4月, 横浜

#### 【対外活動】

谷 徹

体を透視しながら手術する次世代の手術システムの開発

かわさき市民アカデミー2018年度後期ののちの科学講座「広がる生命科学の世界」, 2018年10月, 川崎

#### 【対外活動 (テレビ放送)】

予約殺到! スゴ腕の専門外来スペシャル・第10弾 最先端医療③”切っても血が出ないメス”,

2018年4月10日, TBSテレビ(MBS)

## 滋賀医科大学臨床看護学講座 (クリティカル)

#### 【著書】

遠藤善裕

血液浄化療法入門—原理と臨床の基礎を知る—【血液浄化療法の臨床効果の特徴と治療指標】血液吸着療法  
クリニカルエンジニアリング 29 442-450, 2018

#### 【論文発表】

〈英文学術論文〉

Okayama H, Ninomiya S, Naito K, Endo Y, Morikawa S.

Effects of wearing supportive underwear versus pelvic floor muscle training or no treatment in women with symptoms of stress urinary incontinence: an assessor-blinded randomized control trial.

International urogynecology journal 30(7): 1093-1099, 2019

〈和文学術論文〉

内藤紀代子, 二宮早苗, 岡山久代, 遠藤善裕, 古川洋子, 森川茂廣  
磁気共鳴(MR)画像を用いた骨盤底筋体操指導用動画の利用の試み  
看護理工学会誌 5(2): 127-135, 2018年

植木智之, 園田寛道, 三宅 亮, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子,  
飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
側端吻合によるDST導入後の周術期成績の検討  
日本臨床外科学会雑誌 79(増刊): 493, 2018年

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 谷 総一郎, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也,  
山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
当科における切除可能進行再発直腸癌に対する術前化学療法  
日本外科学会定期学術集会(Web). 2018. 118th. ROMBUNNO.PS-084-1(WEB ONLY), 2018年

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
MSI検査を施行した大腸癌症例の検討  
日本外科学会定期学術集会(Web). 2018. 118th. ROMBUNNO.PS-082-6(WEB ONLY), 2018年

清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 三宅 亨, 太田裕之, 飯田洋也, 植木智之, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子,  
目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
大腸癌腹膜播種に対するmitomycin C, 5-fluorouracil, and oxaliplatin併用による術中温熱化学療法の臨床応用の可能性  
日本外科学会定期学術集会(Web). 2018. 118th. ROMBUNNO.PS-003-6(WEB ONLY), 2018年

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
当科における pStage II-III 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の成績と問題点  
第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

遠藤善裕

口演 「血液浄化法・患者管理1」  
第63回 日本透析医学会学術集会・総会, 2018年6月, 神戸

遠藤善裕

「Critical領域でのアフエレーシスーガイドライン作成に向けて」  
第39回 日本アフエレーシス学会学術大会, 2018年10月, 岡山

遠藤善裕

Asian Session.  
第39回 日本アフエレーシス学会学術大会, 2018年10月, 岡山

遠藤善裕

急性血液浄化療法施行時の看護の視点, シンポジウム4  
第29回 日本急性血液浄化学会, 2018年10月, 名古屋

遠藤善裕

人工腎臓：鉄液透析・血液透析濾過, 一般口演10  
第56回 日本人工臓器学会大会, 2018年11月, 東京

---

---

## 關連病院業績

---

---

## 赤穂市民病院 外科

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

近藤祐平, 高原秀典, 赤神正敏, 西澤弘泰, 横山 正  
閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置によるbridge to surgeryの治療成績  
第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

## 医療法人社団美松会 生田病院

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Ikuta D, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Mukaisho K, Tokuda A, Ueki T, Sugihara H, Tani M.  
Fibrosis in metastatic lymph nodes is clinically correlated to poor prognosis in colorectal cancer.  
Oncotarget 9(51): 29574-29586, 2018

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Ikuta D, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Mukaisho K, Tokuda A, Ueki T, Sugihara H, Tani M.  
Fibrosis in metastatic lymph nodes is clinically correlated to poor prognosis in colorectal cancer.  
11th AACR-JCA Joint Conference, 2019 Feb, Maui

〈全国学会・地方会・その他〉

生田大二, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 徳田 彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 山口 剛,  
谷 眞至  
大腸癌腫瘍先進部における  $\alpha$  SMAとcollagenの発現の臨床的意義についての検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
大腸癌高リンパ節転移株の樹立とリンパ節転移関連分子の解明  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 村田 聡, 向所賢一, 谷 眞至

Establishment of murine colon cancer cell lines with high metastatic ability to mesenteric lymph nodes.  
第77回 日本癌学会学術集会, 2018年9月, 大阪

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至  
Claudin-9 is involved in colorectal cancer lymph node metastasis.  
滋賀医大シンポジウム, 2018年12月, 大津

生田大二, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 徳田 彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 山口 剛,  
谷 眞至

転移リンパ節の線維化は大腸癌における予後不良因子である  
第52回 制癌剤適応研究会, 2019年3月, 神戸

## 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Takagishi T, Niimi Y, Matsuki G, Nagano S, Hinami J, Kajiwara M, Kaneko K, Kubota Y, Nakai O.  
Successful use of a multidisciplinary approach to treat a perforated duodenal malignant lymphoma in an elderly patient.

Hindawi, Case Reports in Oncological Medicine. Volume 2018, Article ID 2326459: 6, 2018

Takagishi T, Niimi Y, Matsuki G, Nagano S, Hinami J, Kajiwara M, Kaneko K, Kubota Y, Nakai O.  
Laparoscopic repair of right paraduodenal hernia in adult patients: Case report and literature review.  
Hindawi, Case Reports in Surgery. Volume 2018, Article ID 9691689: 5, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

高岸智子, 久保田良浩, 松木豪志, 新美雄大, 長野心太, 仲原英人, 日並淳介, 梶原正章, 金児 潔, 仲井 理  
イレウスに対する高気圧酸素療法の有効性および治療方法の検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

日並淳介

紛争地域での銃創症例の診療経験

第32回 日本外傷学会総会学術集会, 2018年6月, 京都

長野心太, 久保田良浩, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 伊東真哉, 金児 潔, 三瀬圭一,  
仲井 理

食道閉鎖症術後に拘束性換気障害をきたした乳糜瘻の1例

第54回 日本小児外科学会近畿地方会, 2018年8月, 神戸

久保田良浩, 長野心太

大腸全摘となった8才女児—今後の治療方針は？

第80回 小児外科わからん会, 2018年9月, 大阪

高岸智子, 久保田良浩, 新美雄大, 長野心太, 金児 潔, 三瀬圭一, 仲井 理, 増田道彦

ワーファリン抵抗性下肢静脈血栓症によりTrousseau症候群及び肺塞栓を起こした腹膜偽粘液腫の症例の管理について

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

長野心太, 久保田良浩, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷 匠,  
仲井 理

妊娠中期に発症した中腸軸捻転の1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

新美雄大, 松木豪志, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷 匠, 久保田良浩,  
仲井 理

腸閉塞を来した回盲部子宮内膜症に対して緊急手術加療を要した1例

第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

高岸智子, 日並淳介, 金児 潔

腹腔鏡下傍十二指腸ヘルニアの術式の検討

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

伊東真哉, 板野秀樹, 竹田隆之

胸部異常影を契機に発見された神経鞘腫症の1例

第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年12月, 東京

日並淳介

ERにて緊急開胸開腹し救命し得た重症多発外傷の2例  
第21回 京都南部外科集談会, 2018年12月, 京都

長野心太, 松木豪志, 新美雄大, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷 匠, 久保田良浩  
大腸閉塞解除後, Bacterial Translocationの関与が示唆された敗血症性ショックの3例  
第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

新美雄大, 久保田良浩, 松木豪志, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 伊東真哉, 下松谷 匠, 三瀬圭一,  
金児 潔, 仲井 理, 増田道彦  
食道裂孔ヘルニアに起因したと考えられる空腸憩室穿孔を来した1例  
第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

## 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

西村 修, 宮下史寛, 松林景二

無症候性両側鎖骨下動脈閉塞および腕頭動脈高度狭窄病変に対する血行再建の1例  
第46回 日本血管外科学会学術総会, 2018年5月, 山形

宮下史寛, 西村 修, 松林景二

維持血液透析患者に発症したCarcified Amorphous Tumor(CAT)の1例  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

宮下史寛, 西村 修, 松林景二

冠動脈バイパス術後6日目に発症した脳梗塞の1例  
第23回 日本冠動脈外科学会学術集会, 2018年7月, 和歌山

## 公益社団法人がん研究会 有明病院 消化器センター 大腸外科

### 【著書】

Yamaguchi T, Kinugasa Y.

Robotic-assisted Laparoscopic Surgery for Rectal Cancer.

Recent Advances in the Treatment of Colorectal Cancer. Springer. 2019. 5: 49-57, 2018

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furutani A, Manabe S, Yamaoka Y, Hino H.

Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for locally advanced lower rectal cancer.

Surg Endosc. 2018. 32(11): 4498-4505, 2018

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furuatni A, Manabe S, Yamaoka Y, Hino H.

Short- and long-term outcomes of robotic-assisted laparoscopic surgery for rectal cancer: results of a single high-volume center in Japan.

Int J Colorectal Dis. 2018. 33(12): 1755-1762, 2018

Numata M, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furuatni A, Manabe S, Yamaoka Y, Torii K, Kato S.

Safety and feasibility of laparoscopic reoperation for treating anastomotic leakage after laparoscopic colorectal cancer surgery.

Asian J Endosc Surg. 2018. 11(3): 227-232, 2018

Yamaoka Y, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furutani A, Manabe S, Torii K, Koido K, Mori K.

Mesorectal Fat Area as a Useful Predictor of the Difficulty of Robotic-Assisted Laparoscopic Total Mesorectal Excision for Rectal Cancer.

Surg Endosc. 2019. 33: 557-566, 2019

Yabuuchi Y, Imai K, Hotta K, Ito S, Kishida Y, Yamaguchi T, Shiomi A, Kinugasa Y, Yoshida M, Tanaka M, Kawata N, Kakushima N, Takizawa K, Ishiwatari H, Matsubayashi H, Ono H.

Higher incidence of metachronous advanced neoplasia in patients with synchronous advanced neoplasia and left-sided colorectal resection for colorectal cancer.

Gastrointest Endosc. 2018. 88(2): 348-359, 2018

Nagasaki T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Tominaga T, Yamaguchi T, Konishi T, Fujim to Y, Nagayama S, Ueno M.

The Short- and Long-Term Feasibility of Laparoscopic Surgery in Colon Cancer Patients with Bulky Tumors.

J Gastrointest Surg. 2019 Jan 31. doi: 10.1007/s11605-019-04114-2, 2019

Nagasaki T, Mise Y, Honma S, Sato T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Tominaga T, Nagaoka T, Yamaguchi T, Ueno M. Simultaneous laparoscopic left hemicolectomy and spleen-preserving distal pancreatectomy for descending colon cancer with pancreatic invasion.

Asian J Endosc Surg. 2018 Sep 27. doi: 10.1111/ases. 12655, 2018

#### 〈和文学術論文〉

古谷晃伸, 塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康

ロボット支援下腹腔鏡下低位前方切除術を施行した多脾症候群を伴う直腸癌の1例

癌と化学療法 45(1): 163-165, 2018

#### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 山岡雄祐, 眞部祥一, 日野仁嗣, 長澤芳信,

大木悠輔, 鳥居 翔, 鈴木卓弥, 加藤俊一郎, 小井土耕平, 杉浦禎一, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

下部進行直腸癌に対する治療戦略

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

山口智弘, 富永哲郎, 永岡智之, 本間 理, 松井信平, 南 宏典, 宮成 淳, 長壽寿矢, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西 毅,

長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

直腸癌に対するロボット支援下手術～電気メスの安全な使用方法～

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

山口智弘, 富永哲郎, 永岡智之, 本間 理, 松井信平, 南 宏典, 宮成 淳, 長壽寿矢, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西 毅,

長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

当院におけるロボット支援下直腸癌手術の導入と実際

第11回 日本ロボット外科学会, 2019年1月, 名古屋

山口智弘

ロボット手術が保険適応となり直腸癌治療はどのように変わっていくか?

大腸癌治療セミナー, 2018年5月, 山形



山口智弘  
 右側結腸癌の手術のポイント  
 がん研アカデミー腹腔鏡下大腸切除術スキルアップコース, 2018年6月, 東京

山口智弘  
 直腸癌の外科治療 開腹からロボット手術まで  
 科研製薬 社内講義, 2018年6月, 東京

山口智弘  
 日本内視鏡外科学会技術認定医取得のコツ  
 Next generation's conference of colorectal cancer in Kanagawa, 2018年6月, 横浜

山口智弘  
 腹腔鏡下直腸癌手術のコツ  
 TOKYO SoTM Conference For Colorectal surgery, 2018年7月, 東京

山口智弘  
 若手外科医へのメッセージ ロボット手術との出会い  
 第850回 外科集談会, 2018年9月, 東京

山口智弘  
 超音波凝固切開装置の原理と使用法  
 Tokyo SoTM Conference For Colorectal surgery, 2018年11月, 東京

山口智弘  
 Robotic Surgery for Rectal Cancer.  
 Laparoscopic Rectal Cancer Operation Observation & Meeting, 2018年11月, 東京

山口智弘  
 ロボット手術の実際  
 公益財団法人がん研究会主催第17回評議員会, 2018年12月, 東京

山口智弘  
 当院におけるロボット直腸がん手術の導入と今後の展望  
 第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

山口智弘  
 わからん会  
 第6回 消化器外科手術わからん会, 2019年1月, 滋賀

山口智弘  
 ダビンチ手術について  
 公益財団法人がん研究会主催第88回理事会, 2019年1月, 東京

山口智弘  
 ロボット手術の実際と今後の展望  
 第4回 MIOS(Minimally Invasive Ophthalmic Surgery)の会, 2019年2月, 横浜

山口智弘  
 直腸癌に対する最新の手術手技について  
 武庫川大腸癌セミナー, 2019年2月, 大阪

山口智弘  
 保険適用となったロボット支援下直腸がん手術  
 第3回 がん研・海上ビル診療所合同セミナー, 2019年2月, 東京

山口智弘

超音波凝固切開装置の原理と使用法

Tokyo SoTM Conference For Colorectal surgery, 2019年3月, 東京

山口智弘

〈導入期〉ルーティン化(ラーニングカーブ, 患者へのIC, 導入期の工夫)

第1回 ロボット大腸切除術勉強会, 2019年3月, 東京

## 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科

---

### 【学会発表】

〈国際学会〉

薦岡成年

The PETTICOAT Technique for Aortic Dissection:a Single-Center Experience.

The 26th ASCVTS 2018 MOSCOW, 2018年5月, モスクワ

降矢温一

Long-Term Result of CABG in Patients with Low Left Ventricular Function.On-Pump Arrest On-Pump Beating vs Off-Pump.

The 26th ASCVTS 2018 MOSCOW, 2018年5月, モスクワ

薦岡成年

The false lumen occlusion concept after PETTICOAT technique for typeB aortic dissection.

27th ASCVTS & 65th IACTSCON, 2019年2月, インド

〈全国学会・地方会・その他〉

畔柳智司

弓部大動脈に対する現在の治療方針と成績

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

薦岡成年

大動脈解離に対するPETTICOAT technique

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

畔柳智司

上行大動脈ラッピング術併施の有効性と注意点

第46回 日本血管外科学会学術総会, 2018年5月, 山形

薦岡成年

当科における弓部大動脈瘤へのTEVARの適応と成績

第46回 日本血管外科学会学術総会, 2018年5月, 山形

畔柳智司

A型急性大動脈解離の手術成績と長期生存評価

第61回 関西胸部外科学会, 2018年6月, 名古屋

薦岡成年

PETTICOAT法における大動脈remodeling, 腹腔内分枝形態, re-interventionへ

第61回 関西胸部外科学会, 2018年6月, 名古屋

降矢温一

80歳以上高齢者に対するCABG成績

第61回 関西胸部外科学会, 2018年6月, 名古屋

畔柳智司

LAD領域に対する橈骨動脈グラフトの長期成績  
第23回 日本冠動脈外科学会学術集会, 2018年7月, 和歌山

薦岡成年

大動脈炎症候群に伴う冠動脈病変へのCABG  
第23回 日本冠動脈外科学会学術集会, 2018年7月, 和歌山

降矢温一

onlay patch technique を用いた#3~#4PD/4AV分岐部切開吻合  
第23回 日本冠動脈外科学会学術集会, 2018年7月, 和歌山

畔柳智司

Hemiarchを基本とした当院のA型解離の治療方針と成績  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

薦岡成年

弓部大動脈瘤へのhybrid TEVARの適応と成績  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

降矢温一

大伏在静脈バイパスのグラフトデザイン別成績—Sequential vs Y composite—  
第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

畔柳智司

当院のA型解離に対する治療方針と成績  
第59回 日本脈管学会総会, 2018年10月, 広島

薦岡成年

Stanford B型大動脈解離に対するPETTICOAT法とre-intervention  
第59回 日本脈管学会総会, 2018年10月, 広島

畔柳智司

LAD領域に対する橈骨動脈グラフトの長期成績  
第32回 日本冠疾患学会学術集会, 2018年11月, 熊本

降矢温一

性状不良冠動脈病変に対するlong onlay patch grafting  
第32回 日本冠疾患学会学術集会, 2018年11月, 熊本

畔柳智司

当院の感染性心内膜炎の治療方法と成績  
第49回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2019年2月, 岡山

薦岡成年

大動脈解離に対するPETTICOAT法とre-intervention  
第49回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2019年2月, 岡山

降矢温一

内胸動脈に次ぐグラフト選択 橈骨動脈は有効か  
第49回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2019年2月, 岡山

## 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Hanaoka J.

Hemothorax after emphysematous bullectomy using a linear stapler device with bioabsorbable polyglycolic acid felt. Journal of Surgical Case Reports, 2018. 10: 1-3, 2018

Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Hanaoka J.

Insertion of a Dumon Y-stent via a permanent tracheostoma without using a rigid bronchoscope. BMJ Case Rep, 2018. 11: e226500, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

橋本雅之, 大塩泰彦, 花岡 淳, 澤井 聡

限局性胸膜癒着または隣接臓器浸潤に対する術前評価：超低線量4次元CTの有用性  
第35回 日本呼吸器外科学会総会, 2018年5月, 千葉

元石 充, 堀 哲雄, 山下直己, 堀本かんな, 澤井 聡

高齢者非小細胞肺癌切除症例において術前HbA1c値は独立した予後因子である  
第35回 日本呼吸器外科学会総会, 2018年5月, 千葉

橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 澤井 聡

呼吸器外科術後心臓合併症に対する当院での取り組み—心筋トロポニンIの有用性—  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

堀本かんな, 橋本雅之, 澤井 聡

非結核性抗酸菌症を合併した原発性肺癌の1切除例  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年12月, 東京

橋本雅之, 堀本かんな, 澤井 聡, 大塩麻友美, 白鳥琢也, 林 一喜, 五十嵐知之, 大塩泰彦, 花岡 淳

左肺癌術後に生じた縦隔リンパ節再発に対し右胸腔鏡下縦隔リンパ節切除を施行した1例  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

橋本雅之, 堀本かんな, 澤井 聡

当院でのAtezolizumabの使用経験  
第57回 近江呼吸器疾患研究会, 2018年9月, 京都

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡

胸腔鏡下に手術を施行した奇静脈瘤の症例  
第58回 近江呼吸器疾患研究会, 2019年3月, 京都

## 京都第一赤十字病院 乳腺外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Yamashiro H, Sawaki M, Masuda N, Okumura Y, Takano T, Tokunaga E, Saito T, Sagara Y, Yamazaki K, Kawaguchi Y, Tecchuu Lee, Ozaki S, Yamagami K, Yamamoto N, Kuroi K, Suwa H, Ohtani S, Ito T, Yasuno S, Morita S, Ohno S, Toi M.

Survival Outcomes of Retreatment with Trastuzumab and Cytotoxic Chemotherapy for HER2-Positive Recurrent Patients With Breast Cancer Who Had Been Treated with Neo/adjuvant Trastuzumab Plus Multidrug Chemotherapy: A Japanese Multicenter Observational Study.  
Breast Cancer : Basic and Clinical Research Volume 12: 1-7, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

李 哲柱

厳選口演19 外科治療

第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

李 哲柱, 小谷達也, 糸井尚子, 本田晶子, 北野早映

当院における乳房温存療法後10年以上経過した症例の長期成績

第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

糸井尚子, 北野早映, 本田晶子, 小谷達也, 李 哲柱

HER2陰性転移再発乳癌に対するエリプリンの治療効果の検討

第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

本田晶子, 北野早映, 糸井尚子, 小谷達也, 李 哲柱

当院におけるセンチネルリンパ節生検の色素法単独と併用法との比較

第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

北野早映, 李 哲柱, 本田晶子, 糸井尚子, 小谷達也

nab-paclitaxel投与中に黄斑部浮腫を認めた1例

第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

李 哲柱

平易な解説 疫学・乳腺の構造・診断・治療

市民公開講座“乳がんをいかに早く見つけるか”, “乳がんと遺伝”, 2018年5月, 京都

李 哲柱

座長：特別講演1・2

Kyoto Breast Cancer Symposium 2018 in summer, 2018年7月, 京都

本田晶子

当院におけるCDK4/6阻害剤の使用経験

第74回 京滋乳癌研究会, 2018年9月, 京都

糸井尚子

総合司会

第18回 京都第一赤十字病院 乳腺フォーラム, 2018年9月, 京都

李 哲柱

Meet The Expert in Kyoto

HR陽性再発乳がんの治療戦略を考える, 2018年9月, 京都

李 哲柱

乳がん診療 いま・未来

第17回 京都府立医科大学形成外科集談会, 2018年10月, 京都

李 哲柱, 北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 小谷達也

閉経後ER陽性HER2陰性進行再発乳癌に対するバルボシクリブの19例の使用経験

第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

李 哲柱

Session1 一般講演

Breast Cancer Expert Meeting in Kyoto, 2018年11月, 京都

李 哲柱, 小谷達也, 糸井尚子, 本田晶子, 北野早映  
当院における乳房温存療法後局所再発12例の検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

李 哲柱  
座長：一般講演・特別講演  
第17回 京都乳癌座談会, 2018年11月, 京都

本田晶子  
当院における乳房温存療法の成績一局所再発を中心に—  
第18回 京都乳癌座談会, 2018年11月, 京都

李 哲柱  
聞いてナットク, 一乳がんのお話し— ~乳がんを知れば命危うからず~  
市民公開講座, 2018年12月, 京都

李 哲柱  
司会：基調講演・特別講演  
Kyoto Breast Cancer Symposium 2019 in winter, 京都

## 社会医療法人誠光会 草津総合病院 一般・消化器外科

---

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Ishida M, Kushima R, Tan M.  
Presence of cancer cells in the periarterial tissues of patients with advanced gastric cancer.  
ONCOLOGY LETTERS. 16: 1226-1230, 2018

〈和文学術論文〉

水本明良, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 基 俊介, 森河内 豊, 平野正満, 米村 豊  
腹膜偽粘液腫  
産婦人科の実際 67(7), 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

水本明良  
腹膜偽粘液腫に対する腹膜切除術の術後合併症の検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

山本 寛  
胃切除後のメタボリックプロファイルに対する再建法の影響  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

水本明良  
当院における大腸癌腹膜播種症例の手術成績  
第104回 日本消化器病学会総会, 2018年4月, 東京

山本 寛  
肥満外科治療の費用対効果  
第36回 日本肥満症治療学会 学術集会, 2018年6月, 東京

山本 寛

診断・治療に難渋した食道重複嚢胞の1例  
第72回 日本食道学会学術集会, 2018年6月, 栃木

一瀬真澄

内鼠径ヘルニアに対しIPOM法を施行したのち再発した1例  
第16回 日本ヘルニア学会学術集会, 2018年6月, 北海道

山本 寛

いくつかのpractical tipsを要した腹腔鏡下スリーブ状胃切除の1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

水本明良

P3大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術と温熱化学療法の手術成績  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

高尾信行

腹膜偽粘液腫に対する腹腔鏡下温熱化学療法の有用性の検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

野口耕右

当院における腹膜中皮腫に対する外科的治療の成績  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

水本明良

腹膜切除と温熱化学療法の術後合併症  
日本ハイパーサーミア学会 第35回大会, 2018年8月, 福井

一瀬真澄

腹腔鏡下温熱化学療法の方法と合併症  
日本ハイパーサーミア学会 第35回大会, 2018年9月, 福井

山本 寛

cineMRIを用いた消化管運動の評価—スリーブ状胃切除術および大建中湯投与による効果—  
JDDW2018KOBE第26回 日本消化器関連学会週間, 2018年11月, 兵庫

基 俊介

腹膜播種を伴う胃痛に対する腹膜切除術前審査腹腔鏡の有用性  
JDDW2018KOBE第26回 日本消化器関連学会週間, 2018年11月, 兵庫

水本明良

Peritoneal cancer index と本邦P分類から見た大腸癌腹膜播種の手術成績  
第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

山本 寛

肥満外科手術認定施設の要件とその意図するものについて考える  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

水本明良

腹膜偽粘液腫に対するcytoreductive surgeryと温熱化学療法の治療成績  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

基 俊介

結腸全摘術を伴う腹膜切除術後に在宅中心静脈栄養となる因子の検討  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

山本 寛

肥満外科手術の導入時に検討すべきこと

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

基 俊介

腹腔鏡下回腸部分切除術で摘出した回腸腸間膜血管腫の1例

第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

一瀬真澄

腹膜偽粘液腫の術後の栄養管理—胃全摘結腸全摘症例におけるHPNの長期成績—

第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会 JSPEN2019, 2019年2月, 東京

## 社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科

---

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Oshio Y, Igarashi T, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Mitsuaki I.  
Diagnosis of thoracic endometriosis with immunohistochemistry.

J Thorac Dis. 10(6): 3468-3472, 2018

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Oshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Yoden M.

A risk score to predict postoperative complications after lobectomy in elderly lung cancer patients.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Sep. 66(9): 537-542, 2018

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Oshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Yoden M.

Patient survival following surgical management in intrathoracic pseudomyxoma peritonei.

Ann Surg Oncol. 2019 Jan. 26(1): 238-243, 2019

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川口 庸, 鈴木孝世, 荒木美咲, 帆足 萌, 野口和子, 山本仁美, 伊賀規子

イレウスを有する肺癌患者に対する新規分子標的治療剤(オシメルチニブ)の使用経験

第29回 滋賀癌化学療法研究会, 2019年2月, 大津

川口 庸, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

cN2症例における, リンパ節転移の有無と画像・臨床因子の関連

第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

異なる手術手順で行った胸腔鏡下S3+舌区域切除の2例

第35回 日本呼吸器外科学会総会, 2018年5月, 千葉

川口 庸, 花岡 淳

気管支鏡下処置で気管支壁を損傷した2例

第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年6月, 東京

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

自然気胸術後疼痛に関する検討

第22回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2018年9月, 岡山

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

切除可能な臨床病期c3B期非小細胞肺癌に対する手術療法

第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京



川口 庸, 花岡 淳  
 免疫チェックポイント阻害薬による有害事象を発症した3例の検討  
 第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年10月, 東京

川口 庸, 花岡 淳  
 イレウスを有する肺癌患者に対する分子標的薬の使用経験  
 第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年10月, 東京

## 医療法人社団仁生会 甲南病院 外科・消化器外科・肛門外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Ishida M, Kushima R, Tani M.  
 Presence of cancer cells in the periarterial tissues of patients with advanced gastric cancer.  
 ONCOLOGY LETTERS. 16: 1226-1230, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 島本和己, 中村文泰, 竹村しづき, 水本明良, 平野正満  
 診断・治療に難渋した食道重複嚢胞の1例  
 第72回 日本食道学会学術集会 特別企画 2.クリニカルボード～良性疾患検討会～, 2018年6月, 宇都宮

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 基 俊介, 野口耕右, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 平野正満  
 肥満外科手術の導入時に検討すべきこと  
 第31回 日本内視鏡外科学会, 2018年12月, 福岡

山本 寛, 戸川 剛, 大江康光, 小座本雄軌, 萩原明於, 東 長佳, 手塚裕司, 山本有香子, 小林 純, 鷺山美樹,  
 巖西真規, 柏木厚典, 有馬久富, 村澤秀樹, 下妻晃二郎  
 肥満外科治療の費用対効果  
 第36回 日本肥満症治療学会学術集会, 2018年6月, 東京

Yamamoto H, Ooe Y, Ozamoto Y, Togawa T, Motoi S, Noguchi K, Ichinose M, Takao N, Mizumoto A, Hirano M.  
 A case of laparoscopic sleeve gastrectomy requiring several practical tips.  
 The 73rd General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery, 2018年7月, 鹿児島

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 基 俊介, 野口耕右, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 平野正満  
 肥満外科手術認定施設の要件とその意図するものについて考える  
 第80回 日本臨床外科学会, 2018年11月, 東京

山本 寛, 大江康光, 小座本雄軌, 戸川 剛, 萩原明於, 谷 眞至  
 胃切除後のメタボリックプロファイルに対する再建法の影響  
 第118回 日本外科学会, 2018年4月, 東京

山本 寛  
 減量手術の医療経済効果をどのように評価するか  
 第10回 肥満症総合治療セミナー, 2019年3月, 東京

## 公立甲賀病院 呼吸器外科

---

---

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Kataoka Y, Ohshio Y, Teramoto K, Igarashi T, Asai T, Hanaoka J.

Hypoxia-induced galectin-3 enhances RhoA function to activate the motility of tumor cells in non-small cell lung cancer.

Oncology Reports, 2019 Feb. 41(2): 853-862, 2018

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Kataoka Y, Ohshio Y, Igarashi T, Teramoto K, Hanaoka J.

OVEREXPRESSION OF GALECTIN-3 IN CANCER-ASSOCIATED FIBROBLASTS SERVES AS A PROGNOSTIC FACTOR IN INVASIVE PULMONARY ADENOCARCINOMA.

26th Meeting of the European Society of Thoracic Surgeons, 2018 May, Ljubljana, Slovenia

〈全国学会・地方会・その他〉

片岡瑛子, 大塩恭彦, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡 淳  
肺がんの低酸素応答における浸潤のメカニズム

第35回 日本呼吸器外科学会総会, 2018年5月, 千葉

片岡瑛子, 五十嵐知之, 藤田琢也, 花岡 淳

非小細胞肺がんにおけるCD271の発現意義

第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

藤田琢也, 片岡瑛子

Pembrolizumab投与後に重篤な心筋炎を発症した肺多型癌の1例

第59回 日本肺癌学会, 2018年11月, 東京

## 社会医療法人天神会 古賀病院 21 消化器外科

---

---

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

池添清彦, 田中亮介, 山口方規, 磯本浩晴, 小野 研, 山口彩子, 徳永 蔵

動脈塞栓療法後に腹腔鏡補助下腫瘍切除を行った後腹膜脂肪肉腫の1例

第16回 日本消化器外科学会大会, 2018年11月, 神戸

## 滋賀県立総合病院 呼吸器内科

---

---

### 【論文】

〈和文学術論文〉

塩田哲広

施設紹介 滋賀県立総合病院 呼吸器内科

気管支学 40(5): 526-7, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

塩田哲広

Driver mutationはICIの適応からはずしていいの？

京滋北陸Immuno-Oncology Expert Semonar, 2018年4月, 金沢

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
局所麻酔下胸腔鏡検査100例の臨床的検討  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規  
AEROステントの臨床的検討  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広  
悪性胸膜中皮腫診断における局所麻酔下胸腔鏡検査の意義  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 河野文彦, 山本喜啓, 新宅雅幸, 稲葉洋美, 西村みゆき  
悪性胸膜中皮腫における細胞診の意義  
第59回 日本臨床細胞学会総会, 2018年6月, 札幌

橋本健太郎  
CTガイド下生検357例の検討  
第2回 西日本呼吸器疾患研究交流会, 2018年6月, 神戸

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
CTガイド下生検で診断した末梢発生径9mmの小細胞肺癌の1例  
第108回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2018年6月, 大阪

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広  
気道病変を伴った肺MALTリンパ腫の1例  
第108回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2018年6月, 大阪

木村佳代, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
悪性気道狭窄にAEROステントを留置した1例  
第91回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年7月, 神戸

橋本健太郎, 木村佳代, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
11年の経過で次第に増大した過誤腫の1例  
第91回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年7月, 神戸

石床 学, 木村佳代, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広  
当院におけるCTガイド下生検296例の合併症の検討  
第91回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年7月, 神戸

橋本健太郎, 木村佳代, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
スネアで完全切除した左上葉気管支原発乳頭腫の1例  
第91回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年7月, 神戸

塩田哲広  
時代はがん免疫療法へ・・・  
第1回 がん免疫療法連携セミナー, 2018年7月, 守山

塩田哲広  
何故タバコはやめられないんだろう？禁煙外来でやめられるタバコとやめられないタバコ あなたはどっち？  
滋賀県立総合病院 平成30年度 健康教室, 2018年7月, 守山

木村佳代, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
悪性気道狭窄にAEROステントを留置した1例  
第103回 日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2018年7月, 大阪

勝永泰章, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
抗凝固療法施行中に咯血を来した気管支結石の1例  
第221回 日本内科学会近畿地方会, 2018年9月, 大阪

渡邊壽規  
肺がんの上手につきあうには?  
第20回 守山野洲医師会 市民健康教育講座, 2018年10月, 守山

石床 学  
遺伝子変異陽性肺癌に対するICI治療の可能性  
Immuno-Oncology Forum in SHIGA, 2018年10月, 大津

橋本健太郎  
私達がCTガイド下生検にこだわる3つの理由  
第10回 胸部腫瘍セミナー, 2018年10月, 京都

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 山本喜啓, 新宅雅幸, 杉山栄里, 富樫庸介, 西川博嘉  
悪性胸膜中皮腫における腫瘍内浸潤リンパ球の検討肺癌  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 戸矢崎利也, 菊地柳太郎, 川上賢三  
当院におけるEGFR uncommon mutation症例の臨床的検討  
第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
局所麻酔下胸腔鏡検査で診断したsmall lymphocytic lymphomaの1例  
第122回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年12月, 奈良

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広  
ベンラリズマブが著効した難治性気管支喘息の1例  
第122回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年12月, 奈良

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広  
人工気胸下に気管分岐部リンパ節のCTガイド下生検を施行した1例  
第122回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2018年12月, 奈良

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 杉山栄里, 富樫庸介, 西川博嘉  
悪性胸膜中皮腫の内視鏡所見, 細胞診と腫瘍内浸潤リンパ球  
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 第14期総会, 2019年2月, 京都

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 奥山智緒  
肺非定型カルチノイド治療にソマトスタチン受容体シンチグラフィーが有用であった1例  
第109回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2019年2月, 大阪

塩田哲広  
COPD患者の呼吸を見る  
第59回 京都呼吸器研究会, 2019年3月, 京都

塩田哲広  
当院における生物学的製剤の使用経験について  
Severe Asthma Symposium in Shiga, 2019年3月, 大津

## 独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科

### 【著書】

八木俊和  
地域医療における 外科の役割について  
大津市医師会雑誌 41(6), 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

八木俊和, 児玉創太, 梅田朋子, 内藤弘之, 安東勝宏, 来見良誠, 大江正士郎, 竹村しづき  
髄外性形質細胞腫の空調転移再発に対して腹腔鏡補助下に切除を行った1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

八木俊和, 長澤芳信, 児玉創太, 梅田朋子, 内藤弘之, 安東勝宏, 来見良誠  
大腸EMR後に発症した消化管穿孔を伴わない気腹症の1例  
第113回 滋賀県外科医会, 2018年6月, 大津

児玉創太, 長澤芳信, 八木俊和, 内藤弘之, 来見良誠  
保存的加療にて良好な経過をたどった大腸憩室穿孔の1例  
第26回 JDDW(第16回日本消化器外科学会大会), 2018年11月, 神戸

児玉創太, 長澤芳信, 八木俊和, 内藤弘之, 来見良誠  
S状結腸膀胱瘻に対し腹腔鏡下S状結腸切除術を施行した1例  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

## 独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 乳腺外科

### 【著書】

梅田朋子  
乳がんの早期発見, 治療について～再発のない乳癌治療をめざして  
大津市医師会雑誌 41(1), 2018

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Kitamura M, Nakayama T, Mukaisho KI, Mori T, Umeda T, Moritani S, Kushima R, Tani M, Sugihara H.  
Progression Potential of Ductal Carcinoma in situ Assessed by Genomic Copy Number Profiling.  
Pathobiology. 17: 1-10, 2018

〈和文学術論文〉

富田 香, 河合由紀, 森 毅, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 清水智治, 梅田朋子, 辰巳征浩, 島田加奈, 谷 眞至  
ドセタキセル・ペルツズマブ・トラスツズマブ療法が著効した進行乳癌の2例  
癌と化学療法 45(13): 2435-2437, 2018

島田加奈, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 岡野純子,  
鈴木義久, 目片英治, 谷 眞至  
診断に難渋した豊胸術後乳癌の1例  
滋賀医科大学雑誌 31(1): 24-29, 2018

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

梅田朋子, 内藤弘之, 竹林紀子, 森 毅, 児玉創太, 八木俊和, 島田加奈, 高橋征浩, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 安東勝宏, 谷 眞至, 来見良誠  
当院における乳癌術後疼痛に関する検討  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

河合由紀, 清水智治, 木村文則, 富田 香, 北村美奈, 森 毅, 村田 聡, 梅田朋子, 目片英治, 村上 節, 谷 眞至  
滋賀県における若年乳癌患者のがん・生殖医療システム構築と今後の展望  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

村田 聡, Pham Minh Ngoc, 北村直美, 河合由紀, 梅田朋子, 目片英治, 森 毅, 北村美奈, 田中彰恵, 清水智治, 谷 眞至  
細胞移入後に担癌生体内で増殖できる腫瘍特異的CTL細胞療法  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

中井美里, 富田 香, 河合由紀, 北村直美, 高橋征浩, 北村美奈, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 村田 聡, 梅田朋子, 目片英治, 谷 眞至  
術前化学療法でCRとなり根治手術なしで長期無再発生存が得られたHER2陽性乳癌の1例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

富田 香, 河合由紀, 高橋征浩, 島田加奈, 北村美奈, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 村田 聡, 梅田朋子, 目片英治, 谷 眞至  
ドセタキセル・ペルツズマブ・トラスツズマブ療法が著効した進行乳癌の3例  
第26回 日本乳癌学会学術総会, 2018年5月, 京都

富田香, 河合由紀, 高橋征浩, 島田加奈, 北村美奈, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 村田 聡, 梅田朋子, 目片英治, 谷 眞至  
乳癌術前化学療法に置けるPegfilgrastimの有用性の検討  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

八木俊和, 児玉創太, 梅田朋子, 内藤弘之, 安東勝宏, 来見良誠, 大江正士郎, 竹村しづき  
髄外性形質細胞腫の空調転移再発に対して腹腔鏡補助下に切除を行った1例  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

梶原由紀子, 富田 香, 河合由紀, 北村美奈, 辰巳征浩, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至  
巨大腫瘍を形成したEncapsulated papillary carcinomaの1例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

## 静岡県立静岡がんセンター 食道外科

---

**【論文】**

〈英文学術論文〉

Yokota T, Serizawa M, Hosokawa A, Kusafuka K, Mori K, Sugiyama T, Tsubosa Y, Koh Y.  
PIK3CA mutation is a favorable prognostic factor in esophageal cancer: molecular profile by next-generation sequencing using surgically resected formalin-fixed, paraffin-embedded tissue.  
BMC Cancer, 2018.

Yamada Y, Yurikusa T, Furukawa K, Tsubosa Y, Niihara M, Mori K, Asoda S, Kawana H, Kitagawa Y, Nakagawa T.  
The Effect of Improving Oral Hygiene through Professional Oral Care to Reduce the Incidence of Pneumonia Post-esophagectomy in Esophageal Cancer.  
Keio J Med, 2019.

〈和文学術論文〉

石井賢二郎, 坪佐恭宏  
食道癌の治療 外科治療 食道胃接合部癌に対する手術 左開胸開腹食道切除術  
日本臨床 76(8): 296-299, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

宮本剛士, 坪佐恭宏 他  
食道原発悪性黒色腫8例の検討  
第73回 日本食道学会, 2018年6月, 宇都宮

新原正大, 坪佐恭宏 他  
胸部食道癌手術症例に対して退院後の経腸栄養継続と筋肉量の推移に関する検討  
第73回 日本食道学会, 2018年6月, 宇都宮

中村健一, 坪佐恭宏 他  
胸部食道癌術後患者における運動負荷試験による運動能力の推移に関する検討  
第73回 日本食道学会, 2018年6月, 宇都宮

坪佐恭宏, 新原正大 他  
胸部食道がんの周術期チーム医療 栄養管理およびせん妄対策の新たな取り組み  
第74回 日本消化器外科学会, 2018年7月, 鹿児島

新原正大, 坪佐恭宏 他  
胸部食道癌サルベージ食道切除の治療成績および起動関連合併症回避の工夫  
第74回 日本消化器外科学会, 2018年7月, 鹿児島

佐藤 弘, 坪佐恭宏 他  
胸部食道癌の周術期チーム医療と今後の課題  
第74回 日本消化器外科学会, 2018年7月, 鹿児島

坪佐恭宏, 新原正大 他  
食道癌術後合併症予防を目指した手術術式  
第80回 日本臨床外科学会, 2018年11月, 東京

赤井俊也, 坪佐恭宏 他  
原発不明腺扁平上皮癌腹腔内リンパ節転移に対し, 集学的治療により長期生存を得た1症例  
第80回 日本臨床外科学会, 2018年11月, 東京

新原正大, 坪佐恭宏 他  
術前加療後の食道切除症例における血清p53抗体の推移と術後再発に関する検討  
第56回 日本癌治療学会, 2018年10月, 横浜

赤井俊也, 坪佐恭宏 他  
食道切除後胸骨後胃管再建患者に対する経皮的胃瘻増設の経験  
第56回 日本癌治療学会, 2018年10月, 横浜

石井賢二郎, 坪佐恭宏 他  
根治的食道切除術を施行された後期高齢者の術後栄養状態の実際  
第56回 日本癌治療学会, 2018年10月, 横浜

中村健一, 坪佐恭宏 他  
食道癌に対する術前加療の効果予測, 予後予測におけるNLRの有用性に関する検討  
第56回 日本癌治療学会, 2018年10月, 横浜

石井賢二郎, 坪佐恭宏 他  
食道胃接合部癌における胸腔鏡下切除での縦隔郭清の実際  
第31回 日本内視鏡外科学会, 2018年12月, 福岡

赤井俊也, 坪佐恭宏 他  
左側臥位胸腔鏡下食道癌手術における術野展開の工夫および治療成績  
第31回 日本内視鏡外科学会, 2018年12月, 福岡

曾根田亘, 坪佐恭宏 他  
胸腔鏡下食道癌手術における胸管切除と術後輸液管理の検討  
第31回 日本内視鏡外科学会, 2018年12月, 福岡

---

## 医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科センター

---

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Chino Y et.al.

The essential role of transcystic duct tube (C-tube) during laparoscopic common bile duct exploration(LCBDE).  
SAGES2018, 2018 Apr. Seattle

〈全国学会・地方会・その他〉

Chino Y et.al.

Surgery techniques designed to spread TEP procedures in Japan.  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

千野佳秀 他

当院におけるTEP手技の教育—膨潤麻酔を用いた手術の定型化—  
第16回 日本ヘルニア学会学術集会, 2018年6月, 札幌

千野佳秀 他

総胆管結石症に対する腹腔鏡手術の現状と課題どうすれば、総胆管結石症の治療を外科のものにできるのか?  
第8回 腹腔鏡下胆道手術研究会(LABS), 2019年2月, 沖縄

---

## 医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

---

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰

胸腔鏡下に胸腺全摘出術, 心膜合併切除施行した胸腺癌の1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰

直腸癌右肺転移術後に左気管支転移を認めた1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

鈴木雄治, 北村将司, 赤澤 彰

導入化学療法後に気管支肺動脈形成を伴う左肺上葉切除術を施行した肺癌の2例  
第53回 京都病院学会, 2018年6月, 京都



北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰  
 脳転移巣摘出術および全身化学療法後にサルベージ手術施行し良好に経過している肺癌の2例  
 第59回 日本肺癌学会総会, 2018年11月, 東京

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰  
 胸腺腫術後胸腔内再発に対して8年間で3度の再手術を施行し良好に経過している1例  
 第59回 日本肺癌学会総会, 2018年11月, 東京

## 社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Yamashiro K, Goto A, Shiomi H, Murakami K.  
 Construct of Learning Model for Laparoscopic Surgery.  
 20th International Conference on Human-Computer Interaction, 2018 Jul, Las Vegas, USA

〈全国学会・地方会・その他〉

村上耕一郎, 山田篤史, 仲 成幸, 飯田洋也, 龍田 健, 植木智之, 貝田佐知子, 田中 久富, 小玉正智, 谷 徹,  
 谷 眞至  
 VRシミュレーションによるポートセッティングを行った腹壁瘢痕ヘルニア術後の胆嚢炎症例  
 第118回 日本外科学会総会, 2018年4月, 東京

村上耕一郎, 山田篤史, 田中久富, 仲 成幸, 龍田 健, 小玉正智, 谷 徹, 谷 眞至  
 腹腔鏡手術時のポート位置をエミュレートできるVRソフトウェアの開発—胆嚢炎症例と移動性盲腸症例—  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

村上耕一郎, 龍田 健, 跡地春仁, 板垣成彦, 田中久富, 村尾佳則  
 透析患者に発症した脳出血の治療中に虚血性結腸壊死を来した症例  
 第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

跡地春仁, 松尾彩加, 森本瑞代, 井之上佐由利, 山口郁恵, 竹采京子, 金城奉軒, 村上耕一郎  
 経胃瘻的空腸瘻(十二指腸瘻)への交換により, 胃瘻挿入部からの栄養剤リークおよび嘔吐が減少した5症例  
 第34回 日本静脈経腸栄養学会, 2019年2月, 東京

森本瑞代, 井之上佐由利, 松尾彩加, 竹采京子, 山口郁恵, 金城奉軒, 村上耕一郎, 高橋 朗, 跡地春仁  
 当院での診療科別のMNA-SFの有用性についての検討  
 第34回 日本静脈経腸栄養学会, 2019年2月, 東京

井之上佐由利, 森本瑞代, 松尾彩加, 竹采京子, 山口郁恵, 金城奉軒, 村上耕一郎, 跡地春仁, 高橋 朗  
 低亜鉛血症を呈する透析患者に対する亜鉛補充療法後の銅欠乏についての検討  
 第34回 日本静脈経腸栄養学会, 2019年2月, 東京

## 長浜赤十字病院 外科

### 【論文】

〈和文学術論文〉

塩見尚礼, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠,  
 前平博充, 飯田洋也, 北村尚美, 赤堀浩也, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至  
 膽胆道疾患に対する術後胆管炎に関する検討  
 日本外科感染症学会雑誌 15(4): 281-284, 2018

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

塩見尚礼, 仲 成幸, 山田篤史, 谷 総一郎, 谷 興至, 谷 徹

マイクロ波細径内視鏡手術デバイスの開発

第18回 NEEDLE SCOPIC SURGERY MEETING, 2018年2月, 京都

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 田辺浩喜,

横田佳大, 佐藤祐斗, 新谷修平, 井上博登, 馬場弘道, 駒井康伸

肝細胞癌治療後の難治性胸水に対して胸腔腹腔シャントを造設した1例

第80回 滋賀消化器研究会, 2018年2月, 大津

丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠, 佐藤祐斗, 嶋田功太郎

腫瘍出血により準緊急脾頭十二指腸切除術を行った十二指腸GISTの1例

第80回 滋賀消化器研究会, 2018年2月, 大津

横田佳大, 佐藤祐斗, 新谷修平, 井上博登, 田辺浩喜, 馬場弘道, 駒井康伸, 丹後泰久, 塩見尚礼, 下松谷 匠

Solid pseudopapillary neoplasmの1例

第80回 滋賀消化器研究会, 2018年2月, 大津

中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠, 駒井康伸

胃過形成ポリープの経過観察中に急速に進展した進行胃癌の1例

第80回 滋賀消化器研究会, 2018年2月, 大津

塩見尚礼

急性虫垂炎の臨床～診断と治療の最近の話題～

第37回 日本画像医学会, 2018年2月, 東京

塩見尚礼

進行がんの治療について

赤十字県民大学, 2018年5月, 米原

塩見尚礼, 丹後泰久

Usefulness of microwave surgical device (AcroSurg. TM) in hepatectomy.

第30回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2018年6月, 横浜

丹後泰久, 塩見尚礼

A case of solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas in the male patient.

第30回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2018年6月, 横浜

塩見尚礼

腫瘍マーカーってなあに?～その意味から最新情報まで～

長浜赤十字病院 がん講演会, 2018年6月, 長浜

中村一郎, 垣見留美子, 富永治美, 高山さなえ, 沖野剛志, 堀 敦雄, 川寄真太郎, 寺村育美, 鈴木真理, 武田庄索, 武田八千代

非がん(慢性腎不全血液透析)患者が積極的延命加療を否定し, 在宅生活を希望された1症例

第23回 日本緩和医療学会学術大会, 2018年6月, 神戸

垣見留美子, 富永治美, 高山さなえ, 中村一郎, 沖野剛志, 堀 敦雄, 川寄真太郎, 寺村育美, 鈴木真理, 武田庄索, 武田八千代

「セルフチェックプログラムに参加して, 緩和ケアチーム活動の振り返りの大切さを知る」

第23回 日本緩和医療学会学術大会, 2018年6月, 神戸

谷口正展, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
腸回転異常に併存した大腸癌肝転移の1例  
第113回 滋賀県外科医会, 2018月6月, 大津

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 横田佳大, 新谷修平,  
佐藤祐斗, 井上博登, 田辺浩喜, 馬場弘道, 駒井康伸, 行岡直哉, 下松谷 匠  
急性膵炎を契機に診断された十二指腸乳頭部癌の2切除例  
第49回 日本膵臓学会大会, 2018月6月, 和歌山

塩見尚礼, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠,  
奈倉道和, 木藤克之, 楠井 隆, 嶋田功太郎, 行岡直哉  
妊娠を契機に発見された脾臓病変の1例  
滋賀肝胆膵勉強会, 2018月7月, 草津

中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
高齢者胃癌患者に対する周術期アルブミン投与の意義  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018月7月, 鹿児島

塩見尚礼, 丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠  
新規マイクロ波メスAcro Surg. を用いた肝切除法  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018月7月, 鹿児島

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼  
大動脈周囲リンパ節転移を伴う胃癌症例に対する術前化学療法への検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018月7月, 鹿児島

東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
当院にて難治性腹水に対して施行したデンバーシャント留置の有効性に対する検討  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018月7月, 鹿児島

塩見尚礼  
がん診療をスムーズに橋渡しする仕組み  
湖北がんフォーラム2018, 2018月7月, 長浜

谷口正展, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
長浜赤十字病院でできること内視鏡治療からロボット手術まで  
湖北がんフォーラム2018, 2018月7月, 長浜

塩見尚礼  
膵癌の治療について  
湖北医師会 学術講演, 2018月8月, 長浜

塩見尚礼  
「Acrosurg, 半端ないって！」—肝胆膵以外の手術への導入—  
第37回 Microwave Surgery研究会 共催セミナー2, 2018月9月, 東京

塩見尚礼, 丹後泰久, 馬場弘道, 駒井康伸  
胆管空腸吻合施行症例における術後胆管炎の現状と治療  
第54回 日本胆道学会学術集会, 2018月9月, 千葉

塩見尚礼, 東口貴之, 丹後泰久, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠  
当院におけるリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下膵体尾部切除術の手術手技と術後成績  
第16回 日本消化器外科学会大会(JDDW2018), 2018月11月, 神戸

丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
腫瘍出血により準緊急脾頭十二指腸切除術を施行した2例  
第16回 日本消化器外科学会大会(JDDW2018), 2018年11月, 神戸

谷口正展, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
当院で検討したstageⅣ大腸癌に対する原発巣切除の意義  
第16回 日本消化器外科学会大会(JDDW2018), 2018年11月, 神戸

中村一郎, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼  
当院におけるロボット支援下手術の導入と短期成績  
第114回 滋賀外科医会, 2018年11月, 大津

丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
腸重積をきたした大腸癌に対して整復を行い腹腔鏡下切除術を行った2例  
第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

塩見尚礼, 中村誠昌, 西嶋道子, 東口貴之, 丹後泰久, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 斎藤 晃,  
下松谷 匠  
当院救命センターにおけるヒヤリハット解析とノンテクニカルスキルの重要性  
第54回 日本赤十字医学会総会, 2018年11月, 名古屋

木村友美, 鈴木真理, 中村一郎, 長門 優  
救急病棟における人工呼吸器管理患者に対する経腸栄養剤開始の実態調査  
第54回 日本赤十字社医学会総会, 2018年11月, 名古屋

中村忠之, 塩見尚礼, 奥野佐千子, 西嶋道子, 小川幸子, 野上幸代, 坪井洋子, 吉田哲広  
現場改善に繋がった部署別に開催したBLS研修の取り組み  
第54回 日本赤十字社医学会総会, 2018年11月, 名古屋

谷口正展, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
腹腔鏡下直腸手術における縫合不全のリスク因子の検討  
第25回 滋賀内視鏡手術研究会, 2018年11月, 大津

塩見尚礼  
がんちゃんの冒険  
長浜市立高月中学 がん教育講演会, 2018年11月, 長浜

東口貴之, 前川 毅, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
下部消化管穿孔に対する緊急手術時の計画的陰圧閉鎖療法の有用性  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

中村一郎, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
鏡視下食道空腸吻合における合併症軽減にむけて  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

塩見尚礼, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠  
妊娠を契機に診断された脾過誤腫の1例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

塩見尚礼, 清水智治, 佐藤浩一郎, 川崎誠康, 池添清彦, 東田宏明, 林 直樹, 井内武和, 熊野公東, 西村彰一,  
内藤弘之, 新田信人, 薦本慶裕, 横田 徹, 一瀬真澄, 柿原直樹, 籠 洋三, 藤野光廣, 藤田益嗣, 神谷純広, 谷 眞至  
下部消化管穿孔に対する急性汎発性腹膜炎手術における創閉鎖の現況—関連病院(SHISA)におけるアンケート調査  
結果—  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

谷口正展, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
 当院での直腸脱手術の現状 最適な手術方法とは  
 第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠  
 精嚢浸潤を伴った孤立性腹膜外膀胱直腸窩転移を治療切除しえた盲腸癌の1例  
 第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

中村一郎, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼  
 左臍動脈索炎を合併した尿管管遺残に対する単孔式腹腔鏡手術の1例  
 第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

中村一郎, 谷口正展  
 噴門側胃切除術における腹腔鏡手術と開腹手術の比較による胃切除術後栄養の評価  
 第91回 日本胃癌学会総会, 2019年2月, 沼津

中村一郎, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼  
 胃癌に対するロボット支援下手術の導入期における短期成績  
 第82回 滋賀消化器研究会, 2019年3月, 大津

塩見尚礼, 丹後泰久, 東口貴之, 前川 毅, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 嶋田功太郎,  
 楠井 隆  
 当院における脾切除後仮性動脈瘤の治療経験  
 第55回 日本腹部救急医学会総会, 2019年3月, 仙台

中村一郎, 前川 毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼  
 当院における胃癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験  
 第29回 滋賀がん化学療法研究会, 2019年3月, 大津

## 医療法人社団医伸会 のじまバスキュラーアクセスクリニック

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Nojjima T, Motomiya Y.

Graft Inclusion Technique: A New Flow Reduction Procedure for High Flow Arteriovenous Fistulae.  
 Annals of Vascular Disease. 11(2): 202-209, 2018

〈和文学術論文〉

野島武久, 本宮康樹

シャント作製時のピットフォールと対策

腎と透析 85 : 138-139, 2018

野島武久

最近のバスキュラーアクセスの進歩とその合併症対策 手術・手技の進歩 内シャント形成術  
 腎と透析 84(1) : 13-17, 2018

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

野島武久

肘部流出路閉塞にかかわる諸問題

第7回 究道会, 2018年5月, 大阪

野島武久, 本宮康樹

VAIVTに関わる諸問題

第63回 日本透析医学会学術集会・総会 VAIVTカンファレンス, 2018年6月, 神戸

野島武久, 本宮康樹

【VAエコーだけではもったいない！透析施設でのエコー活用術】VAIVTでのエコーの活用

第63回 日本透析医学会学術集会・総会, 2018年6月, 神戸

野島武久

こんなシャントはナンセンス —DM, MBDの血管に負けてどうする—

奈良透析合併症講演会, 2018年9月, 橿原

野島武久, 本宮康樹

シャント作製困難例の原因と対策

第22回 日本アクセス研究会学術集会・総会, 2018年10月, 広島

本宮康樹, 田中賢治, 野島武久

リージョンスリップは特徴あるバルーンしか抑制できない

第22回 日本アクセス研究会学術集会・総会, 2018年10月, 広島

中村峻輔, 藤本竜平, 中西浩之, 野島武久

シャントPTA時の穿刺部静脈スパズムにニトロールがが著効した1例

第22回 日本アクセス研究会学術集会・総会, 2018年10月, 広島

野島武久

ご紹介いただいた症例から透析シャントを考える

第7回 地域のシャントを考える会, 2018年11月, 神戸

野島武久

エコーがなくてもここまでわかるシャントトラブル ～閉塞 狭窄 血管石灰化の病態～

第7回 地域のシャントを考える会, 2018年11月, 神戸

野島武久

VAIVTにより急性閉塞をきたしたAVG症例

第8回 究道会, 2018年11月, 大阪

野島武久

血管アクセス手術—動画で見る作製と修復—

第25回 広島透析アクセス懇話会, 2019年1月, 広島

野島武久

閉塞病変に対するE-VAC血栓吸引カテーテルの選択と実際

第24回 透析VAIVT治療研究会, 2019年3月, 東京

## はえうち診療所

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

生内一夫

便秘診療 当院の取り組み

第25回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2019年6月, 草津

## 医療法人社団 東近江市立能登川病院

### 【論文】

〈和文学術論文〉

油木純一, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 清水智治, 米丸隼平, 森谷鈴子, 谷 眞至  
術前化学放射線療法により完全奏効が得られた局所進行直腸扁平上皮癌の2例  
日本消化器外科学会雑誌 51(12): 791-799, 2018

油木純一, 長谷川 均  
盲腸穿孔による二次性虫垂炎の1例  
日本腹部救急医学会雑誌 38(7): 1145-1148, 2019

油木純一, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至  
術中ICG蛍光法にて腸管切除を回避し得た子宮広間膜裂孔ヘルニア嵌頓の1例  
日本腹部救急医学会雑誌 39(1): 43-46, 2019

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

油木純一, 長谷川 均  
患側下腹部のポート孔で修復した左鼠径ヘルニアに対するTAPPの1症例  
第16回 日本ヘルニア学会学術集会, 2018年6月, 札幌

油木純一, 長谷川 均  
盲腸穿孔による二次性虫垂炎の1例  
第80回 日本臨床外科学会, 2018年11月, 東京

長谷川 均, 油木純一  
穿孔と穿通を合併した盲腸奇形の1例  
第80回 日本臨床外科学会, 2018年11月, 東京

油木純一, 長谷川 均  
当院におけるTAPPでの腹膜縫合の工夫  
第18回 滋賀ヘルニア研究会, 2018年7月, 大津

油木純一, 長谷川 均  
AYA世代の鼠径部ヘルニアに関する当院の経験  
第26回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2018年12月, 大津

## 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 外科

### 【著書】

辻川知之, 小島正継  
インフリキシマブ投与後も徐々に悪化し手術を要した高齢者腸管ペーチェット病(疑い)の1例  
腸管ペーチェット病のすべてがわかる診療ハンドブック: 190-191, 2018(株式会社先端医学社)

朝日信一, 南山啓吾, 宮城暢子, 坂野祐司, 本田富得, 河合 実, 瀬戸山 博, 目片英治  
がん性疼痛緩和パスによるチーム医療の見える化  
医薬ジャーナル 54(11): 133-139, 2018(医薬ジャーナル社)

**【論文】**

〈英文学術論文〉

Pham Minh N, Murata S, Kitamura N, Ueki T, Kojima M, Miyake T.

In vivo antitumor function of tumor antigen-specific CTLs generated in the presence of OX40 co-stimulation in vitro.

Int J Cancer. 142(11): 2335-2343, 2018

Akabori H, Naka S, Tani T, Tani M.

Early experience with a new integrated microwave surgical device, Acrosurg, for distal pancreatectomy.

Asian Journal of Surgery. 41: 369-398, 2018

〈和文学術論文〉

井上明星, 大田信一, 赤堀浩也, 谷 眞至, 藤本剛英, 稲富 理, 九嶋亮治, 村田喜代史

嚢胞性腫瘍の形態を示した膵神経内分泌腫瘍の1例

臨床放射線 63(10): 1127-1131, 2018(金原出版)

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明  
樹脂製手術器具の開発 続報

第118回 日本外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至  
MSI検査を施行した大腸癌症例の検討

第118回 日本外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 徹, 北村直美, 飯田洋也, 三宅 亨, 貝田佐知子, 植木智之, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道,  
清水智治, 谷 眞至

新規マイクロ波手術機器“Acrosurg.”を用いた膵体尾部切除術の3例

第118回 日本外科学会学術集会, 2018年4月, 東京

Inoue A, Ohta S, Furukawa A, Kojima M, Akabori H, Ohta H, Mekata E, Saotome T, Tomoyuki T, Murata K.

MR Imaging of Acute Abdomen Correlated with CT Imaging: A Pictorial Essay.

The 77th Annual Meeting of the Japan Radiological Society, 2018年4月, 横浜

井上明星, 大田信一, 茶谷祥平, 神谷 梓, 関 晃吉, 永野冬樹, 佐藤滋高, 村田喜代史, 小島正継, 赤堀浩也,

太田裕之, 岡内 博, 目片英治, 辻川知之, 飯田洋也, 谷 眞至, 太田えり, 森谷鈴子, 九嶋亮治

腹部悪性中皮腫の2例

第32回 日本腹部放射線学会, 2018年5月, 神奈川

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治, 谷 眞至

リンチ症候群のスクリーニング目的としてMSI検査を施行した大腸癌症例の検討

第24回 日本家族性腫瘍学会学術集会, 2018年6月, 神戸

Akabori H, Tani M, Maehira H, Mori H, Kitamura N, Iida H, Naka S.

The anti-inflammatory effect of perioperative tight glycemic control using an artificial pancreas for pancreatectomized patient with impaired glucose tolerance.

第30回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2018年6月, 横浜

井上明星, 田中克典, 星野絵美, 奥野計寿人, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治

小児腹痛患者に対するMRI診断の初期経験

第54回 日本小児放射線学会学術集会, 2018年6月, 東京



赤堀浩也, 谷 眞至, 前平博充, 森 治樹, 北村直美, 飯田洋也, 仲 成幸  
 膵切除術における周術期人工膵臓を用いた血糖管理がもたらす抗炎症効果  
 第49回 日本膵臓学会大会, 2018年6月, 和歌山

全 有美, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 三宅 亨, 清水智治, 稲富 理, 安藤 朗, 九嶋亮二, 谷 眞至  
 膵粘液性嚢胞腫瘍と鑑別困難であった膵神経内分泌腫瘍の1例  
 第49回 日本膵臓学会大会, 2018年6月, 和歌山

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 田畑貴久, 清水智治, 梶山隆啓, 島垣昌明  
 カーボン樹脂製手術器具の開発 続報  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 目片英治  
 閉塞性大腸癌に対してステント留置後に切除術を施行した症例の検討  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

全 有美, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至  
 当院におけるS状結腸捻転症12例の治療方針の検討  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継  
 大腸癌サルベージライン化学療法に関する考察  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

小島正継, 太田裕之, 岡内 博, 赤堀浩也, 目片英治  
 十二指腸癌を合併したLynch症候群の1例  
 第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

高山 悟, 横田 望, 杉本俊郎, 小島正継, 神田暁博, 辻川知之, 國府 拓, 藤本徳毅  
 両下肢の浮腫から診断に至った印環細胞癌の1例  
 日本皮膚科学会第457回京滋地方会, 2018年9月, 大津

赤堀浩也, 飯田洋也, 森 治樹, 前平博充, 仲 成幸, 谷 眞至  
 遠位胆管癌の術後肝転移に対して, 化学療法後に肝切除を施行した1例  
 第54回 胆道学会学術集会, 2018年9月, 幕張

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 赤堀浩也, 飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 三宅 亨,  
 園田寛道, 北村直美, 谷 総一郎, 清水智治, 谷 眞至  
 胃癌や膵癌治療手術後の再発バイオマーカーとしての腹腔内リキッドバイオプシー  
 第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 瀬戸山 博, 茶谷元晴, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦,  
 仲 成幸, 辻川知之, 目片英治  
 2次化学療法後にR0切除が得られた局所進行膵がんの2切除例  
 第56回 日本癌治療学会学術集会, 2018年10月, 横浜

井上明星, 高木 海, 新田哲久, 全 有美, 小島正継, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治, 五月女隆男  
 急性虫垂炎のMRI診断における拡散強調像とADC値の臨床的意義  
 第47回 断層映像研究会, 2018年10月, 北海道

鶴飼佳子, 高山 悟, 湯上幸子, 國溪 郁, 続宗敬子, 岡本美佳, 向井領子, 畠中真由, 藤野能久, 郭 翔志,  
 小島正継, 太田裕之, 目片英治, 藤本徳毅  
 手術中に生じたDTI(deep tissue injury)の3症例～その後の当院での取り組みについて～  
 第69回 日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2018年10月, 大阪

太田裕之, 小島正継, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
閉塞性大腸痛に対するステント留置後切除術症例の検討  
第26回 日本消化器関連学会週間(JDDW2018), 2018年11月, 神戸

小森菜津子, 田中妥典, 大西正人, 太田裕之, 井上明星  
The case of remarkable pericardial effusion did not result in definite diagnosis of malignant mesothelioma.  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

朝日信一, 南山啓吾, 長谷川英利, 松井駿亮, 本田富得, 河合 実, 宮城暢子, 堺 恵, 端穂乃花, 村井智絵,  
横山京子, 赤堀浩也, 坂野祐司, 目片英治  
がん性疼痛緩和ユニットパスの評価～アンケート結果から～  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

全 有美, 大西正人, 五月女隆男, 鮎本美夏, 山代早織, 原 克子  
市販の眠気防止剤の大量服用でカフェイン中毒をきたした1例  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 目片英治  
2次化学療法後にconversion surgery を施行した局所進行腺がんの2切除例  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

井上明星, 五月女隆男, 大槻晋士, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 全 有美, 小島正継, 赤堀浩也,  
太田裕之, 目片英治, 田中克典, 星野絵美, 奥野計寿人, 高木 海, 新田哲久, 村田喜代史  
急性虫垂炎のMRI診断—拡散強調臓と見かけの拡散係数(ADC)の意義について—  
第72回 国立病院総合医学会, 2018年11月, 神戸

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
当院における大腸穿孔手術症例の臨床学的検討  
第73回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2018年11月, 東京

赤堀浩也, 小島正継, 太田裕之, 全 有美, 目片英治  
手術後にカルバベネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)を検出した2例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
敗血症性ショック, DICなどを来し, 術前に診断し得た壊疽性虫垂憩室炎の1例  
第31回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2018年11月, 大阪

水田寛郎, 大槻晋士, 神田暁博, 小島正継, 伊藤明彦, 五月女隆男, 目片英治, 辻川知之  
化学療法中に腸管穿孔した単形成上皮向性腸管T細胞リンパ腫の1例  
日本消化器病学会近畿支部第110回例会, 2019年2月, 京都

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治  
食後に腹痛と目眩を繰り返し, 腹腔鏡下修復術を施行した左傍十二指腸ヘルニアの1例  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

## 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Miyajima M, Atsushi W, Sato T, Teramukai S, Ebina M, Kishi K, Sugiyama Y, Kondo H, Kobayashi S, Takahashi Y, Ito H, Yamamoto R, Sawada S, Fujimori H, Okabe K, Arikura J, Shintani Y, Nakamura H, Toyooka S, Hasumi T, Watanabe T, Hata Y, Iwata H, Aoki M, Funai K, Inoue S, Kawashima O, Iida T, Date H.

What factors determine the survival of patients with an acute exacerbation of interstitial lung disease after lung cancer resection?

Surgery Today. 48(4): 404-415, 2018

〈和文学術論文〉

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹, 上田桂子

胸膜癒着療法と内視鏡的経鼻腭管ドレナージで臍切除術を回避できた腭管胸膜癒の1例

日本呼吸器学会誌 7(4): 267-271, 2018

### 【学会発表】

〈国際学会〉

Ohuchi M, Inoue S, Ozaki Y, Namura Y, Wada H, Sakashita T.

Single-trocar video-assisted flexible thoracoscopic debridement under local abesthesia for multiloculated parapneumonic empyema.

Respirology. 23(Suppl.2): 71, 2018 Nov, TAIPEI

〈全国学会・地方会・その他〉

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹

タグリッソ錠の役割と再生検の重要性について

滋賀肺がん病理セミナー, 2018年4月, 草津

尾崎良智

座長: 独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター呼吸器外科部長・尾崎良智

演者: 「長浜地区におけるICIのチーム医療の取り組み(NICE:Nagahama irAE Cooperation Enhancement)」市立長浜病院呼吸器内科責任部長・野口哲男

滋賀北部 肺がん免疫療法セミナー, 2018年5月, 米原

苗村佑樹, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣

胸壁血管腫の2例

第201回 近畿外科学会, 2018年5月, 大阪

大内政嗣, 高木順平, 八木由生, 山口将史

滋賀県肺癌学術講演会～肺癌診療 Up to Date～

特別講演: 「ガイドラインを踏まえた上での実臨床における肺がん診療をどうすべきか」: 帝京大学医学部附属病院病院教授・関 順彦

司会: 滋賀医科大学医学部臨床腫瘍学講座教授・醍醐弥太郎

滋賀県肺癌学術講演会～肺癌診療 Up to Date～, 2018年5月, 草津

尾崎良智

第23回 東近江がん診療セミナー 特別講演: 「看護師だからできる疼痛マネジメント」滋賀医科大学医学部附属病院がん看護専門看護師: 木村由梨

第23回 東近江がん診療セミナー, 2018年6月, 東近江

尾崎良智, 金田千明

①免疫チェックポイント阻害剤の基礎知識と肺がんでの使用経験: 尾崎良智

②免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策: 金田千明

第1回 東近江ICI勉強会, 2018年6月, 東近江

井上修平

第38回 東近江総合医療センター臨床談話会 閉会の辞  
第38回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2018年8月, 八日市

井上修平

(滋賀の話題)滋賀県病院協会の役割について  
滋賀医大同窓会「湖医会」第4回滋賀支部会, 2018年8月, 草津

苗村佑樹, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平

巨大縦隔嚢胞の2例  
第57回 近江呼吸器疾患研究会, 2018年9月, 京都

井上修平

Closing Remarks Lung Cancer Seminar in Shiga 2018 特別講演: 順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学教授;  
高橋和久「非小細胞肺癌治療におけるベストシークエンスとは」  
タグリッソ Lung Cancer Seminar in Shiga 2018, 2018年9月, 大津

井上修平

肺がんの早期発見と治療まで  
近江八幡市蒲生郡医師会主催講演会 第27回住民のための健康公開講座, 2018年9月, 近江八幡

井上修平

開会挨拶: 第5回東近江内科集中セミナー2018(臨床研修医向け)  
第5回 東近江内科集中セミナー2018(臨床研修医向け), 2018年9月, 東近江

井上修平

特別講演座長: 「京大病院における肺炎診療向上への挑戦」京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科講師・伊藤功朗  
第16回 滋賀耐性菌研究会, 2018年10月, 草津

井上修平

紹介状と問診票から導く画像処理を含めた新患カルテの作成法  
東近江総合医療センター研修医対象ランチセミナー, 2018年10月, 東近江

井上修平

閉会あいさつ: 第9回東近江医療圏がん診療公開講座  
第9回 東近江医療圏がん診療公開講座, 2018年11月, 東近江

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹

東近江総合医療センターにおけるICI治療の現況と取り組み  
湖東・湖北エリア がん免疫療法セミナー, 2018年11月, 米原

尾崎良智

特別講演座長: 「免疫チェックポイント阻害剤のiRAE対策と多職種連携」演者: 京都大学医学部附属病院 腫瘍内科:  
野村基雄  
第2回 東近江ICI勉強会, 2018年12月, 東近江

井上修平

開会の辞: 東近江敗血症診療セミナー  
東近江敗血症診療セミナー, 2019年1月, 東近江

尾崎良智

座長: 尾崎良智 演題: 「がん治療の新時代! これからのがん免疫療法」 演者: 滋賀医科大学臨床腫瘍学講座特任講師・寺本晃治  
第10回 東近江医療圏がん診療公開講座: この時代に知っておきたいがん診療—がんと免疫と哲学と—, 2019年2月,  
近江八幡

井上修平

開会の辞：井上修平 第2回東近江敗血症診療セミナー：【特別講演】「誰にPMX-DHPを施行すべきか？」福岡大学医学部救命救急医学講座講師・星野耕大

第2回 東近江敗血症診療セミナー，2019年2月，東近江

井上修平

「Opening Remarks」および「Closing Remarks」 特別講演：「地域医療構想の方向性と病院経営戦略」株式会社メディアチュア代表取締役：渡辺 優 ディスカッション：「今後の病院経営とその課題」質疑応答：井上修平

地域医療を考える会 in 東近江，2019年2月，東近江

苗村佑樹，尾崎良智，大内政嗣，井上修平

肺癌化学療法中に発症したPasteurella multocida菌血症の1例

第109回 日本肺癌学会関西支部学術集会，2019年2月，大阪

井上修平

開会の辞，表彰式

第13回 独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター院内研究発表会，2019年3月，独立行政法人国立病院機構東近江

大内政嗣，苗村佑樹，尾崎良智，井上修平

後縦隔ミューラー管嚢胞の切除例

第58回 近江呼吸器疾患研究会，2019年3月，京都

大内政嗣，井上修平，苗村佑樹，尾崎良智

根治的化学放射線治療後にICIを投与した2症例

肺癌治療について考える～EGFRTKI・ICIを中心に～，2019年3月，大津

井上修平

座長：第3部講演「その息切れは年齢のせいですか？」～肺の生活習慣病 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について～ 演者：滋賀医科大学医学部附属病院内科学講座(呼吸器内科) 教授：中野恭幸

滋賀医科大学地域医療教育研究拠点市民公開講座：第4回医療セミナー，2019年3月，大津

尾崎良智，井上修平，大内政嗣，苗村佑樹

抗PD-1抗体治療効果予測における好中球リンパ球比(NLR)，血小板リンパ球比(PLR)の有用性

第59回 日本肺癌学会学術集会，2018年11月，東京

大内政嗣，井上修平，尾崎良智，苗村佑樹

同一肺葉内に器質化肺炎が併存し，肺葉切除術後再燃した原発性肺腺癌の1例

第59回 日本肺癌学会学術集会，2018年11月，東京

井上修平

ランチョンセミナー1 座長：井上修平「VEGF阻害剤が治療効果を変える～ベバシズマブの新時代～」独立行政法人国立病院機構京都医療センター呼吸器内科部長・三尾直士

第72回 国立病院総合医学会，2018年11月，神戸

尾崎良智，井上修平，大内政嗣，苗村佑樹

肺癌手術における閉胸前胸腔洗浄細胞診の検討

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会，2018年5月，東京

大内政嗣，井上修平，尾崎良智，苗村佑樹，上田桂子

制御困難な肝性胸水を呈した横隔膜交通症に対する2手術例

第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会，2018年5月，東京

苗村佑樹, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 和田 広, 坂下拓人  
末梢肺病変に対する気管支鏡検査における3D画像解析システム(SYNAPSE VINCENT)導入効果についての検討  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 苗村佑樹  
ミノサイクリンによる薬剤性好酸球性肺炎の1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹, 和田 広, 坂下拓人, 上田桂子  
癌性心膜炎に対して局所麻酔・細径胸腔鏡下に心膜開窓を施行した1例  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

井上修平  
一般口演 呼吸器9(術後合併症・他) 座長: 上田和弘, 井上修平  
第61回 関西胸部外科学会学術集会, 2018年6月, 名古屋

井上修平  
座長: 一般演題「術後再発, 再発予防」  
第22回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2018年8月, 岡山

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹  
妊娠中に発生した自然気胸の3例  
第22回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2018年8月, 岡山

## 医療法人社団 日野記念病院 外科

---

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

東田宏明, 児玉泰一, 迫 裕孝, 仲 成幸, 花澤一芳  
体外処理を行う単孔式腹腔鏡下虫垂切除術  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 竹林克士, 九嶋亮治, 谷 眞至  
胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞様細胞の予後への影響  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳, 谷 眞至, 谷 徹  
新規エネルギーデバイス「アクロサージ(Acrosurg)」の甲状腺手術における有用性  
第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
当院の腹腔鏡下幽門側胃切除術後再建の工夫  
R307消化器癌セミナー, 2018年5月, 水口

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
ICG蛍光法による乳管腺葉区域切除を施行した血性乳頭分泌の1例  
第113回 滋賀県外科医会, 2018年6月, 大津

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳  
当院の横行結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除+D3郭清の工夫  
第25回 琵琶湖消化器外科懇親会, 2018年6月, 草津

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)の手術手技の変遷と工夫  
2018年滋賀ヘルニア研究会, 2018年7月, 大津

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)の工夫～導入からの手術手技の変遷～  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
当院の腹腔鏡下幽門側胃切除術後再建の工夫  
第114回 滋賀外科医会, 2018年11月, 大津

東田宏明, 児玉泰一, 迫 裕孝, 仲 成幸, 花澤一芳  
単孔式にこだわった腹腔鏡下虫垂切除術(当院での工夫)  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳  
当院の腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術の工夫と治療成績  
第26回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2018年12月, 瀬田

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳  
当院の横行結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除+D3郭清の工夫  
R307消化器癌セミナー—season II—, 2018年12月, 水口

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)の工夫  
第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

児玉泰一, 迫 裕孝, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳  
血性乳頭分泌を伴う乳管内乳頭腫に対し, ICG蛍光法を用いて乳管腺葉区域切除を施行した1例  
第16回 日本乳癌学会近畿地方会, 2018年12月, 大阪

児玉泰一, 東田宏明, 仲 成幸, 迫 裕孝, 花澤一芳  
大腸癌の経過中に認められた甲状腺転移の1例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年12月, 東京

## 医療法人晋真会 ベリタス病院 外科

### 【著書】

朝日信一, 南山啓吾, 宮城暢子, 坂野祐司, 本田富得, 河合 実, 瀬戸山 博, 目片英治  
がん性疼痛緩和パスによるチーム医療の見える化  
医薬ジャーナル 54(11): 133-169, 2018

### 【論文】

〈和文学術論文〉

瀬戸山 博, 目片英治

滋賀県東近江医療圏における急性期病院から発信するがん地域医療連携の試み  
滋賀医科大学雑誌 32(1): 1-5, 2019

瀬戸山 博

がん地域医療連携クリニカルパスにおける課題と今後のあり方  
日本クリニカルパス学会誌 20(4): 557-561, 2018

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継

大腸がんサルベージライン化学療法に関する考察 Salvage-line Chemotherapy on The Refractory Colorectal Carcinomas.  
第73回 日本消化器外科学会総会, 2018年7月, 鹿児島市

**社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 外科**

---

---

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

松永隆志, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水智治, 谷 総一郎, 飯田洋也, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道,  
森 治樹, 前平博充, 北村直美, 谷 眞至

急速な肝不全, 腎不全の進行を伴った 血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の1例  
第80回 日本臨床外科学会総会, 2018年11月, 東京

**社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 乳腺外科**

---

---

**【論文】**

〈和文学術論文〉

田中義人, 阿部 元, 寺本敦子, 竹井裕美子, 米田光里, 田上玲子

術前CTによるマイクロマーク留置位置の同定

乳癌の臨床 33(2): 175-179, 2018

田中義人, 阿部 元, 寺本敦子, 竹井裕美子, 山本大悟, 稲葉真由美, 楠本健司

Nipple Adenomaに対し, 皮下茎皮弁を用いて乳頭形成を行った1例

乳癌の臨床 33(4): 353-358, 2018

**【学会発表】**

〈国際学会〉

Abe H, Horiuchi T, Teramoto A, Tanaka Y, Takei Y, Nagahata T.

Thoracic interfascial nerve blocks versus paravertebral block for improving quality of recovery after breast cancer surgery: a randomized, double-blind, non-inferiority trial.

2018 San Antonio Breast Cancer Symposium, 2018 Dec, San Antonio

**三菱京都病院 呼吸器外科**

---

---

**【論文】**

〈英文学術論文〉

Motoishi M, Sawai S, Hori T, Yamashita N.

The preoperative HbA1c level is an independent prognostic factor for the postoperative survival after resection of non-small cell lung cancer in elderly patients.

Surg Today. 48(5): 517-524, 2018

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

元石 充, 堀 哲雄, 山下直己

高齢者非小細胞肺癌切除症例において術前HbA1c値は独立した予後因子である

第35回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2018年5月, 千葉



堀 哲雄, 平本秀二, 長島健吾, 菊池綾子, 元石 充, 吉岡 亮, 山下直己  
 当院における肺癌および転移性肺腫瘍の終末期症状と終末期治療の検討  
 第59回 日本肺癌学会学術集会学術集会, 2018年11月, 東京

## 独立行政法人国立病院機構 南京都病院 呼吸器外科

### 【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

大塩恭彦, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
 胸腔鏡手術での肺末梢小型肺癌の同定におけるICG蛍光内視鏡システムの応用  
 第118回 日本外科学会定期学術集会, 2018年4月, 東京

大塩麻友美, 朝倉庄志  
 肺非結核性抗酸菌症に対する外科治療例の検討  
 第35回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2108年5月, 千葉

大塩恭彦, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
 肺癌患者の血漿cfDNA濃度とCT値を利用した腫瘍仮想重量との関連についての検討  
 第35回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2108年5月, 千葉

大塩恭彦, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 片岡瑛子, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
 胸腔鏡手術時の病変同定におけるICG内視鏡の術中ナビゲーションとしての可能性  
 第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭吾, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
 肺腺癌における仮想腫瘍重量と臨床病理学的因子との関連についての検討  
 第71回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2018年10月, 東京

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭吾, 川口 庸, 大塩麻友美, 五十嵐知之, 花岡 淳  
 肺腺癌手術症例における血漿cfDNA濃度と仮想腫瘍重量との関連についての検討  
 第59回 日本肺癌学会学術集会, 2018年11月, 東京

大塩恭彦, 林 一喜, 白鳥琢也, 大塩麻友美, 花岡 淳  
 胸腔鏡下肺切除術におけるロボティック硬性鏡コントロールシステムSOLOassist IIの使用経験  
 第31回 日本内視鏡外科学会総会, 2018年12月, 福岡

## 医療法人社団緑成会 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科

### 【論文】

〈英文学術論文〉

Kanamori K, Oi M, Higashita R, Takahashi T, Hoshimoto K, Yashiro B, Yambe Y.  
 Development of Myocardial Ischemia after Pulmonary Embolism in Anomalous Aortic Origin of Right Coronary Artery.  
 American Journal of Cardiovascular and Thoracic Surgery, 2018

〈和文学術論文〉

大井正也, 石川 昇, 東田隆治, 川口 聡  
 Najutaステントグラフトのcollapseに対して上行置換術を施行した治験例  
 日本血管外科学会誌, 2018

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

東田隆治, 大井正也, 牧 昌利, 星本剛一, 金森健太  
WiFi分類からみえたこと：下肢切断リスクを反映するのはやはり虚血  
第10回 日本下肢救済・足病学会学術集会, 2018年7月, 札幌

東田隆治, 牧 昌利, 後藤由紀子  
OASIS細胞外マトリックスを用いた難治性潰瘍治療  
第10回 日本下肢救済・足病学会学術集会, 2018年7月, 札幌

---

---

医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 呼吸器外科

---

---

**【論文】**

〈英文学術論文〉

Okamoto K, Ichinose M, Hanaoka J.  
Traumatic hemothorax due to chance fracture requiring emergency surgical management: A report of two cases.  
SAGE Open Med Case Rep. 6: 1-4, 2018

Okamoto K, Ueda K, Ichinose M.  
Cardiac injury due to the rapid progress of the dislocation of rib fractures: A rare case that required urgent open reduction and internal rib fixation.  
Respir Med Case Rep. 27, 2019

〈和文学術論文〉

岡本圭伍, 一瀬増太郎  
EWS長期留置後に抜去困難に陥った1例  
気管支学 40(3): 232-235, 2018

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹, 上田桂子  
胸膜癒着療法と内視鏡的経鼻腭管ドレナージで膈切除術を回避できた膈管胸膜癒の1例  
日本呼吸器学会誌 7(4): 267-271, 2018

**【学会発表】**

〈全国学会・地方会・その他〉

一瀬増太郎, 上田桂子, 岡本圭伍, 味水 瞳, 森川 昇, 中西陽祐, 坂口 才, 土谷美知子, 長坂行雄  
高度気道狭窄に対し挿入した自己拡張型金属ステントの逸脱により, 起立性低血圧を生じた1例  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

上田桂子, 一瀬増太郎  
当科における肺癌術後合併症の検討  
第35回 日本呼吸器外科学会総会・学術集会, 2018年5月, 千葉

味水 瞳, 坂口 才, 森川 昇, 中西陽祐, 上田桂子, 土谷美知子, 一瀬増太郎, 長坂行雄  
当院における免疫チェックポイント阻害剤の使用経験 脳転移における治療選択  
第58回 日本呼吸器学会学術講演会, 2018年4月, 大阪

中西陽祐, 土谷美知子, 坂口 才, 味水 瞳, 森川 昇, 上田桂子, 一瀬増太郎, 長坂行雄  
当院自然気胸患者の経年的変化における後方視的検討  
第58回 日本呼吸器学会学術講演会, 2018年4月, 大阪

上田桂子, 一瀬増太郎, 森川 昇, 中西陽祐, 味水 瞳, 坂口 才, 土谷美知子, 長坂行雄  
当院における気道異物症例の検討  
第41回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2018年5月, 東京

---

---

# 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

---

---

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員

■ 広告掲載ご協力

# 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

令和元(2019)年1月～

〔理事 長〕 ・加 藤 弘 文

〔副 理 事 長〕 ・谷 徹

〔理 事〕 ・小 玉 正 智 ・谷 眞 至 (2019年度会長)  
 ・浅 井 徹 ・鈴木 友 彰  
 ・花 澤 一 芳 (会計・総務) ・平 野 正 満 (会計・総務)  
 ・来 見 良 誠 (教育・学術) ・井 上 修 平 (教育・学術)  
 ・遠 藤 善 裕 (広報) ・白 石 昭 一 郎 (広報)

〔監 事〕 ・寺 田 信 國 ・山 本 明

〔代 議 員〕 ・一 瀬 増 太 郎 ・梅 田 朋 子 ・江 口 豊  
 ・岡 藤 太 郎 ・尾 崎 良 智 ・木 下 武  
 ・澤 井 聡 ・塩 見 尚 礼 ・清 水 智 治  
 ・鈴 村 雄 治 ・園 田 寛 道 ・寺 本 晃 治  
 ・仲 成 幸 ・花 岡 淳 ・藤 野 昇 三  
 ・水 黒 知 行 ・村 田 聡 ・目 片 英 治

〔委 員 会 委 員〕

(会計・総務) ・大 塩 恭 彦 ・清 水 智 治  
 (選挙管理委員会) ・木 下 武 ・目 片 英 治 ・近 藤 康 生  
 (企画(教育・学術)) ・村 田 聡 ・賀 来 良 輔 ・河 合 由 紀  
 (広報) ・山 口 剛 ・木 下 武  
 (事務局) ・花 岡 淳 ・山 口 剛

名誉会員 ・小 玉 正 智 ・岡 田 慶 夫

# 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. 当法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他当法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

## 第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の5種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、及び希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人
- (4) 名誉会員 原則として理事長を務めた者の中から、理事会の議を経て推薦されたもの
- (5) 休会会員 正会員のうち、休会を希望するもの

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 正会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 正会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。なお、会員に関するその他の事項は、別に定める細則によるものとする。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、正会員につき法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

## 第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。

2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

3. 代議員が理事となった場合には、代議員を辞任するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

また、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない。当該代議員は、役員を選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

（補欠代議員の予選）

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
  - (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
  - (3) 同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
3. 第1項の補欠代議員の予選に係る議決が効力を有する期間は、当該議決後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

#### 第4章 社員総会

（招集等）

第20条 社員総会は、第3章に定める代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。
3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会があるものとし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。
4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。
5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。
6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。
7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

（権 限）

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について議決する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員責任の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

（議決権）

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

（定足数及び決議の方法）

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
  - (1) 会員の除名
  - (2) 監事の解任
  - (3) 役員等の責任の一部免除
  - (4) 定款の変更
  - (5) 解散
  - (6) その他法令で定められた事項

（書面表決等）

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。
3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

（社員総会議事録）

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

#### 第5章 役員等

（役員設置等）

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、2名以内を会長とする。
3. 前項の理事長を法人法上の代表理事とする。

（事務局及び職員）

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

（選任等）

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長及び会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務権限）

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、会長は、当法人の業務を分担執行する。
3. 事務局長は当法人の事務を執行する。
4. 理事長、会長及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

## 第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

3. 監事は理事会に出席し、意見を述べる事ができる。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長及び会長の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定められた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議についての利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

## 第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年12月1日から11月30日までの年1期とする。

(事業計画及び取予算)

第45条 当法人の事業計画及び取予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認(理事会の承認)を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 当法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、当法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

# 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2019年10月1日現在

赤穂市民病院  
医療法人医仁会 武田総合病院  
医療法人恭昭会 彦根中央病院  
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院  
医療法人弘正会 西京都病院  
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院  
医療法人社団昂会 日野記念病院  
医療法人社団昂会 湖東記念病院  
医療法人社団美松会 生田病院  
医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院  
医療法人仁生会 甲南病院  
医療法人総心会 長岡京病院  
医療法人東和会 第一東和会病院  
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院  
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院  
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院  
医療法人芙蓉会 南草津病院  
医療法人マキノ病院  
医療法人友仁会 友仁山崎病院  
医療法人よつば会 くろづ外科医院  
近江八幡市立総合医療センター  
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院  
公益財団法人 豊郷病院  
公立甲賀病院  
国民健康保険 小松市民病院  
社会医療法人誠光会 草津総合病院  
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院  
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院  
社会医療法人天神会 古賀病院 21  
社会医療法人天神会 新古賀病院  
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院  
特定医療法人社団御上会 野洲病院  
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター  
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター  
独立行政法人国立病院機構 南京都病院  
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院  
長浜市立湖北病院  
長浜赤十字病院  
三菱京都病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。  
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会



## 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 広告掲載ご協力

---

エドワーズライフサイエンス株式会社  
センチュリーメディカル株式会社  
ジョンソンエンドジョンソン株式会社エチコン事業部  
株式会社大塚製薬工場  
サノフィ株式会社  
帝人ファーマ株式会社  
小野薬品工業株式会社  
中外製薬株式会社  
ファイザー株式会社  
東レ・メディカル株式会社  
アステラス製薬株式会社  
大塚製薬株式会社  
エア・ウォーター・リンク株式会社  
株式会社ダテ・メディカルサービス  
アルフレッサ ファーマ株式会社  
旭化成ファーマ株式会社  
日本イーライリリー株式会社  
大鵬薬品工業株式会社  
エーザイ株式会社  
株式会社ツムラ  
日本製薬株式会社  
株式会社ジェイエムエス  
ノバルティス ファーマ株式会社  
科研製薬株式会社  
コヴィディエンジャパン  
一般社団法人 日本血液製剤機構  
株式会社富士印刷  
泉工医科工業株式会社

(申し込み順)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会同門会誌発行にあたり、多くの皆様からご協力をいただきました。  
ここに深く御礼申し上げます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

---

---

滋賀医科大学外科同門会 2019年度

発行日 2019年10月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内  
外科同門会事務局  
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
電話:077-548-2238 / 077-548-2244

---

---